



plotWAVE T30/T35

操作ガイド



著作権および商標

著作権

Copyright 2024 Canon Production Printing.

このマニュアルのいかなる部分も、Canon Production Printing の事前の書面による許可なしに、いかなる形態または手段であっても、電子的、手動、またはその他の方法でコピー、改変、複製、または転送することはできません。図やプリンタ出力画像はシミュレートされたものであり、各地域の市場で供給されている製品やサービスには適用されない場合があります。このマニュアルの内容は、特定の性質または仕様に関する保証としても、特定の用途への技術的性能または適合性に関する保証としても解釈しないでください。このマニュアルの内容は予告なくその時々に変更することがありますのでご了承ください。

CANON PRODUCTION PRINTING 社は、このマニュアルの内容の使用から生じる、いかなる直接的、間接的、または派生的な損害に対しても、損失または費用に対しても、一切の責任を負いません。

商標

Canon は Canon Inc. の登録商標であり、plotWAVE は Canon Production Printing Netherlands B.V の商標または登録商標です。

Adobe, Acrobat および PostScript は、米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

Microsoft および Windows は Microsoft グループの商標です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産であることを、ここに明記します。

データセキュリティ

はじめに

セキュリティとは、通信とデータを保護し、オンライン社会と経済の安全を維持することです。セキュリティはお客様の業務にとってきわめて重要であり、Canon Production Printing ではそのことを真摯に受け止めています。セキュリティは、弊社の製品開発プロセスの初期の段階に組み込まれるものです。弊社のハードウェアおよびソフトウェア製品は、業界のセキュリティ標準の作業方法に従って開発され、弊社の印刷製品および PRISMA ワークフローおよびアプリケーションソフトウェアを、サイバーセキュリティの脅威から保護するために必要な機能を備えています。

ポリシー/ガイドライン/ルール

Canon のセキュア開発 Life Cycle (SDLC) プロセスは、米国標準技術局 (NIST) や Open Web Application Security Project (別称 OWASP) と比較して、それ自体もモデル化される機敏な開発プロセスです。

これは、スプリントの動作を利用して、連続的な排紙と、機敏なプロセスで可能になる柔軟性を活かしています。

弊社のバックオフィスサポートプログラム (サービスツールおよびオンラインサービスの開発) は、ISO / IEC 27001 : 2013 の認定を受けています。

規制についての注記

弊社の製品、サービス、およびソリューションのセキュリティの詳細については、最寄りの Canon 代理店までお問い合わせいただくか、または <https://cpp.canon/security> をご参照ください。

ソースコード

はじめに

リストにあるオープンソースのコンポーネントは、それぞれ異なるライセンスにより管理されています。ライセンスの中には、ソースコードの提供に関する規定があるものもあります。

ポリシー / ガイドライン / 規則

該当するライセンス条項の下で利用可能なオープンソース コンポーネントのソースコードの機械読み取り可能なコピーの入手を希望される場合は、**opensource@cpp.canon** に電子メールを送信して、ソースコードのコピーを要求することができます。その場合、以下を明記してください。

1. お客様がライセンスを取得した Canon Production Printing のソフトウェアの名称とバージョン。
2. 上記で特定された Canon Production Printing のソフトウェアに含まれるオープンソース ソフトウェア モジュールのうち、お客様が合法的にソースコードの入手を希望されるものの名称とバージョン。

当社は、お客様がソースコードの機械読み取り可能なコピーを入手できる場所を提供するか、または、それぞれのオープンソース ソフトウェアコンポーネントの対応するソースコードの完全な機械読み取り可能なコピーを、ソフトウェアの交換に慣習的に使用できる当社が選択した媒体に、利用可能な状態でそのまま納品します。お客様は、ソースコードの配布のために発生した費用を支払うよう求められることがあります。その費用は、いかなる場合においても、ソースコードの配布を物理的に行うために発生した費用を超えないものとします。

規制についての注記

本件は、この情報を受け取られた方すべてが対象となります。

目次

第1章

はじめに.....	11
本書について.....	12
「plotWAVE T30/T35」.....	13
ユーザーについて.....	14
読者への注意事項.....	15
関連マニュアル.....	16

第2章

プリントシステムについて.....	19
プリントシステムの接続.....	20
作業エリア [設置面積].....	20
電源ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続.....	21
プリントシステムのスイッチ オン.....	22
ハードウェア.....	23
プリンタの主なコンポーネント (前面).....	23
プリンタの主なコンポーネント (左側).....	25
プリンタの主なコンポーネント (背面).....	26
用紙引き出し.....	27
ClearConnect 操作パネル.....	28
スキャナのコンポーネント (オプション).....	30
排紙先.....	32
Scanner Professional (オプション).....	34
Operator Attention Light (オプション).....	35
耐震対策.....	36
ClearConnect 操作パネルのワークフロー	37
ホーム画面.....	37
ジョブ キューおよびシステム メニュー.....	39
プリセット、テンプレート、および詳細設定.....	41
ジョブのプレビュー.....	43
クラウド.....	44

第3章

WebTools Express を使用したワークフローの定義.....	47
ご使用にあたって.....	48
WebTools Express.....	48
WebTools Express 用に別の言語を設定する.....	49
ユーザーの役割および権限.....	50
アクセス管理.....	51
権限のあるユーザーとしてログインする.....	52
セッション後にログアウトする.....	53
権限のあるユーザーのパスワード、またはパスワードの暗号化キーを変更する.....	54
ジョブの状態.....	55
システムモニター.....	56
システムを再起動またはシャットダウンする.....	58
Remote ON 機能.....	59
デフォルトの定義.....	60
WebTools Express のデフォルト設定について.....	60
設定を編集するには.....	61

設定を表示して確認	62
設定をファイルに保存	63
ファイルから設定を読み込み	64
工場出荷時のデフォルトを復元	65
プリント ジョブのデフォルト設定の指定	66
デフォルトのプリント保存先を設定	69
コピー ジョブのデフォルト設定の指定	70
スキャン ジョブのデフォルト設定の指定	71
Smart Inbox 設定の設定	72
Smart Inbox およびキューの概念	72
「Jobs (ジョブ)」 タブの「Smart Inbox」	73
Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox	75
Smart Inbox を閉じるか削除します。	78
ジョブ管理設定の構成	79
ネットワークおよびセキュリティ設定の構成	80
WebTools Express のネットワーク設定の構成	80
通知用メールサーバーの設定	81
Mozilla Firefox 用のセキュリティ設定を設定する	82
Google Chrome 用のセキュリティ設定を設定する	83
Microsoft Edge 用のセキュリティ設定を設定する	84
リンク速度およびデュプレックス モードの設定	85
ユーザー認証の有効化	86
アクセス コントロールの有効化	87
IPsec を有効にする	88
アクセス コントロールと IPsec の設定	89
電子断裁機能の有効化または無効化	90
電子断裁アルゴリズムの選択	91
上書きパスの回数の指定	92
リモート セキュリティ	93
証明書リクエストを生成する	94
CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のインポート	96
CA 署名の証明書のインポート: 中間証明書のインポート	97
CA 署名の証明書のインポート	98
CA 署名の証明書のインポート: ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。	99
証明書認証に関する情報を見つける	100
プリセットおよびスタンプの指定	101
プリセットについて知っておくべきこと	101
デフォルトのコピー プリセットの設定	102
カスタムのコピー プリセットの構成	103
デフォルトのプリント プリセットの設定	104
カスタムのプリント プリセットの構成	105
操作パネルでのカスタムのプリセットの使用	106
スタンプの作成	107
テンプレートの設定	108
スキャン テンプレート	108
新規テンプレートの作成	109
すべてのテンプレートの削除	110
テンプレートのエクスポート	111
テンプレートのインポート	112
テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元	113
スキャン テンプレートを有効または無効にする	114
場所の設定	115
場所の設定	115
USB の有効化または無効化	116
ホーム フォルダの有効化および編集	117
PlanWell Collaborate の有効化 (オプション)	118
外部の場所の作成	119
デフォルトの外部の場所の設定	121
FTP での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)	122

SMB での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後).....	124
WebDAV での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後).....	126
プリンタ設定の構成.....	128
操作パネルの設定を行う.....	128
地域設定の指定.....	129
ユーザー セッション タイムアウトの設定.....	130
作業時間の設定.....	131
スリープ モードの設定.....	132
用紙要求タイムアウトの設定.....	133
用紙の種類の構成.....	134
用紙サイズの構成.....	135
ペン設定の構成.....	136
プリント品質およびプリント生産性の最適化.....	137
PDF の透明の平板化の設定.....	137
PDF のワイプアウト修正の設定.....	138
PDF の刷り重ねの設定.....	139
ロング プロット モードの設定.....	140
自動ロール切り替えの設定.....	141
スプールしきい値の設定.....	142
回転モードの設定.....	143
アライメント モードを設定する.....	144
モバイル プリントおよびスキャンの構成.....	145
Publisher Express.....	145
モバイル接続用の WebTools Express 設定の指定.....	147
クイックレスポンスカードを生成します.....	148
モバイル デバイスを Publisher Express に接続する.....	149

第4章

プリントシステムの使用.....	151
原稿を挿入する方法.....	152
原稿を自動挿入するには.....	153
プリント ジョブ.....	154
デフォルトのプリント ジョブを実行する.....	154
ダイレクト プリント.....	156
パスワードプリント.....	157
USB キーからのプリント.....	159
操作パネルでのプリント プリセット.....	160
プリント ジョブのための詳細設定.....	161
コピー ジョブ.....	166
デフォルトのコピー ジョブを実行する.....	166
操作パネルでのコピー プリセット.....	167
コピー ジョブのイメージ プリセット.....	168
コピー ジョブの詳細設定.....	169
コピー ジョブの推奨設定.....	177
原稿の種類.....	178
ハーフ サイズ コピーを作成する.....	179
コピーを作成して余白を追加する.....	180
コピーを作成して余白を削除する.....	182
原稿の特定の領域のコピーを作成する.....	183
コピーを作成して原稿の特定の領域を削除する.....	184
コピーを作成して別のサイズにスケールする.....	185
濃い原稿のコピーの作成 (青焼き).....	186
強調表示されたカラーが含まれた原稿のコピーの作成.....	187
カット紙へのコピーの作成.....	188
スタンプ付きのコピーを作成する.....	189
セットごとのコピー.....	190
スキャン ジョブ.....	191
デフォルトのスキャン ジョブを実行する.....	191
操作パネルでのスキャン テンプレート.....	192

スキャン ジョブの詳細設定.....	193
スキャン ジョブの推奨設定.....	199
原稿の種類.....	201
ファイルの種類.....	203
スキャンを作成して余白を削除する.....	205
USB キーへのスキャン.....	206
ホーム フォルダへのスキャン.....	207
モバイル デバイスにスキャン済みドキュメントを保存する.....	208
プリント ジョブ - ジョブ送信ツール.....	209
Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する.....	209
Smart Inbox を使用してプリント ジョブを送信する.....	211
PRISMAproduce Tech を使用してプリント ジョブを送信する.....	212
Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリント ジョブを送信する.....	213
Driver Express for Adobe® Postscript® 3™を使用してプリント ジョブを送信する.....	215
Publisher Mobile を使用してプリント ジョブを送信する.....	216
モバイル デバイスからのプリント.....	218
FTP を使用してプリント ジョブを送信する.....	220
LPR を使用してプリント ジョブを送信する.....	221
ホーム フォルダを使用してプリント ジョブを送信する.....	222
クラウドを使用してプリント ジョブを送信する.....	223
プリント ジョブ送信のトラブルシューティング.....	224
アクティブなジョブの一時停止、再開または停止.....	225
システム設定のクリア.....	226

第5章

プリントシステムのメンテナンス.....227

システムの更新.....	228
ソフトウェアを更新する.....	228
操作パネルでのシステム ソフトウェアの更新.....	229
WebTools Express 経由でシステム・ソフトウェアをアップデート.....	230
WebTools Express 経由でシステム・ソフトウェアのパッチをインストール.....	231
WebTools Express 経由でオペレーティング・システムのアップデートを手動でインストールしま す.....	232
PRISMAservice からのオペレーティング・システム・アップデートの設定、ダウンロード、インス トール.....	233
プリントシステムの移動.....	235
プリントシステムのスイッチをオフにする.....	235
ネットワーク ケーブルおよび電源ケーブルの取り外し.....	237
プリントシステムの移動および再調整.....	238
電源ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続.....	244
プリントシステムのスイッチ オン.....	245
用紙の交換.....	246
ロール紙の取り外し.....	246
ロール紙をパッケージから取り出す.....	249
ロール紙の装着.....	251
ロール紙の装着 (位置 2).....	255
用紙の種類.....	259
用紙サイズ.....	261
トナーの補充.....	263
トナーの補充.....	263
残余トナー コンテナの交換.....	266
スキャナのメンテナンス.....	268
スキャナのクリーニング.....	268
スキャナの調整.....	271

第6章

ライセンス管理.....273

ライセンス管理について.....	274
ライセンスを確認する.....	275

現在アクティブなライセンスの保存.....	276
新しいライセンス ファイルの取得.....	277
新しいライセンスをアクティベート.....	278

第7章

アカウント管理.....	279
アカウント管理について.....	280
WebTools Express でアカウント管理を設定.....	281
アカウント ワークフロー.....	282
プリンタでのワークフロー.....	282

第8章

問題の解決.....	283
ジョブに関する問題を解決するには.....	284
スキャナで原稿の詰まりを解消するには.....	285
ヒーター セクションの紙詰まりを取り除く.....	286
用紙バイパス セクションの紙詰まりを取り除く.....	288
ロール フィード セクションの紙詰まりを取り除くには.....	290
イベント メッセージ.....	291
デモ プリントの作成.....	294
テスト プリントの作成.....	295
プリント濃度チャートをプリントする.....	296
漏電ブレーカーの確認.....	297

第9章

サポート.....	299
カウンタ履歴.....	300
エラーの場合の設定.....	301
監査ログ.....	302
リモート サービス: プロキシの設定.....	303
リモート サービス: 接続の確認.....	304
リモート サービス: リモート アシスタンスの許可.....	305
製品のダウンロードとサポート.....	306

第1章

はじめに

本書について

本書は、世界中の市場向けに作成されています。本書には、お住まいの地域の Canon 販売会社またはディーラーがサポートしていないアクセサリやライセンス機能に関連する情報が含まれている場合があります。

Language (言語)

元の指示の英語への翻訳.

「plotWAVE T30/T35

はじめに

plotWAVE T30/T35 は、マルチタッチ操作パネルとオプションのカラー スキャナを備えた、白黒でオールインワン形式のワイド フォーマットによるプリント、コピー、およびスキャンのシステムです。

plotWAVE T30/T35 のワークフロー



プロセス	操作	参照
システムを使用する前に	プリンタの接続	プリント システムの接続 (20 ページ)
	設定の定義と構成	WebTools Express を使用したワークフローの定義 (47 ページ)
日常的な使用	コピー、プリント、およびスキャン ジョブ用のプリンタの使用	プリント ジョブ (154 ページ) コピー ジョブ (166 ページ) スキャン ジョブ (191 ページ)
メンテナンスとサポート	システムのメンテナンス	プリント システムのメンテナンス (227 ページ)
	問題を解決するためのサポートの利用	問題の解決 (283 ページ) サポート (299 ページ)

ユーザーについて

はじめに

WebTools Express の設定値を設定および管理することによって、plotWAVE T30/T35 のパフォーマンスを最適化することができます。

WebTools Express のすべての設定を表示できますが、設定の値を変更する場合にはメッセージが表示されます。このメッセージには、設定がパスワード保護されていることが表示されます。設定を変更するには、パスワードを使用してログインする必要があります。



重要

すべてのパスワードの取り扱いおよび保存に十分な注意を払ってください。パスワードを忘れた場合は、サービス技術者がパスワードをリセットできますが、これはサービス技術者の権限が有効になっている場合に限られます([セキュリティ] - [設定] - [サービスの許可] - [サービス技術者にパスワードのリセットを許可する])。そうではない場合、システム ソフトウェアを再インストールする必要があります。



メモ

システムの日常的な使用においては、パスワードは必要ありません。

ユーザーの役割および権限の概要

次の表に、ユーザーの役割とそれらの役割に属する権限を示します。

ユーザーの役割	説明
[キー オペレータ]	システムの通常の使用以外に、キー オペレータは日常的なメンテナンスも担当します。 WebTools Express で特定のキー オペレータ設定の値を変更するには、キー オペレータとしてログインする必要があります。
[システム管理者]	システム管理者は、カスタマの IT インフラストラクチャへのシステムの統合を担当します。 WebTools Express で特定のシステム管理者の値を変更するには、システム管理者としてログインする必要があります。
[パワー ユーザー]	パワーユーザーは、サービス設定を除く、WebTools Express のすべての機能にアクセスする権限があります。

[サービス]の役割は主に、プリンタのインストールとサービスに関する設定値の設定に使用します。

読者への注意事項

安全のシンボル

本製品を使用する前に、必ず本製品に付属する安全に関する情報を読み、理解していることを確認してください。安全に関する情報は製品ページの <https://downloads.cpp.canon> をご覧ください。また、製品に記載されている警告や指示事項に必ず従ってください。

このマニュアルでは、危険や注意事項を示すために以下の安全のシンボルを使用しています。

マーク	シンボルの種類	意味
	警告	取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
	注意	取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	重要	取り扱い上厳守していただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機器、ソフトウェア、データ、用紙、または物理的損害を防ぐために、これらの項目を注意深くお読みください。
	メモ	操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

関連マニュアル

はじめに

本書は、マニュアル セットの一部分です。 次の表に、関連マニュアルの概要を示します。



メモ

最新のマニュアルについては、インターネットで ダウンロード ページをご覧ください。プリンタに関するすべての情報を入手してください。

使用可能なマニュアル

マニュアル	提供場所
ユーザー マニュアル - 操作ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。多言語の PDF ファイル型式
オンライン ヘルプ - WebTools Express	アプリケーションからアクセス可能 多言語で利用可能
ユーザー マニュアル - 安全ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。多言語の PDF ファイル型式
plotWAVE-colorWAVE Connectivity Manual for Windows - Administration guide	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。英語の PDF ファイルで提供しております。
plotWAVE-colorWAVE Systems Security - Administration guide	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。英語の PDF ファイルで提供しております。

使用可能なマニュアル Driver Select for Microsoft® Windows®

マニュアル	提供場所
ユーザー ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。PDF ファイルを各言語で提供しております。
オンライン ヘルプ	アプリケーションに組み込まれています。各言語で提供されます。

使用可能なマニュアル Driver Express for Adobe® Postscript® 3™

マニュアル	提供場所
インストール ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。PDF ファイルを各言語で提供しております。
オンライン ヘルプ	アプリケーションに組み込まれています。各言語で提供されます。

使用可能なマニュアル PRISMAproduce Tech

マニュアル	提供場所
ユーザー ガイド	ダウンロード Web サイトの製品名の下にあります (https://downloads.cpp.canon)。多言語の PDF ファイル型式
オンライン ヘルプ	アプリケーションからアクセス可能 多言語で利用可能

第2章

プリント システムについて

プリント システムの接続

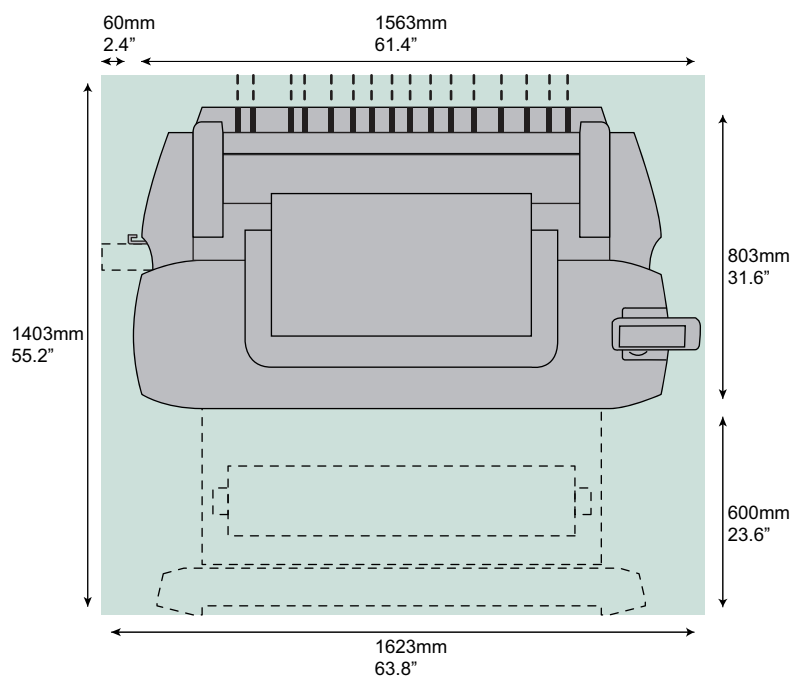
作業エリア [設置面積]

(オプションのスキヤナの有無に関わらず) プリント システムには、以下の図に示すように特定の設置面積/作業エリアが必要です。



メモ

このエリアは、ユーザーに必要なスペース (左側と前面側) を含んでいません。



電源ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続

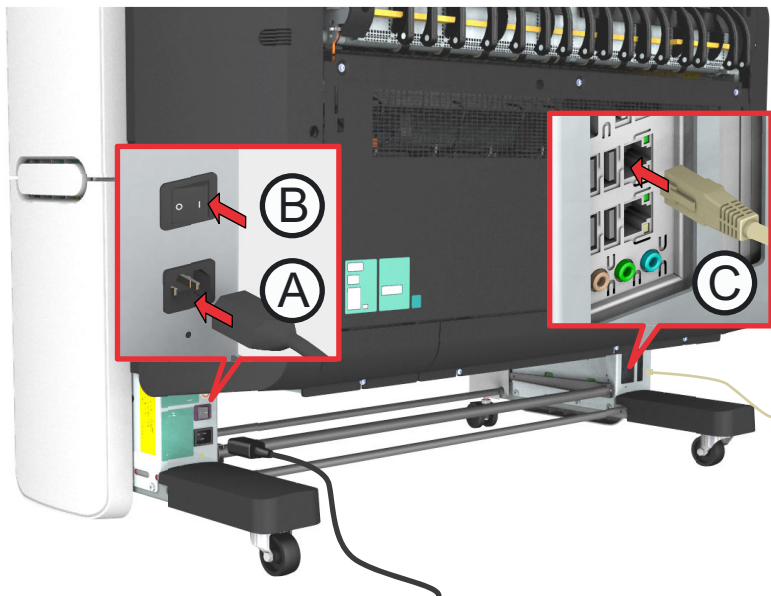
手順



重要

電源スイッチ (B) が「オフ」になっていることを確認してください。

1. 主電源ケーブルをプリンタ (A)の左背面にある電源接続部に差し込みます。



2. 電源ケーブルのもう一方の端をコンセントに接続します。
3. ネットワークケーブルを社内ネットワークに接続し、プリンター右背面の上部(RJ45)接続ポート (C)に接続して、プリンターを社内ネットワークに接続します。

プリント システムのスイッチ オン

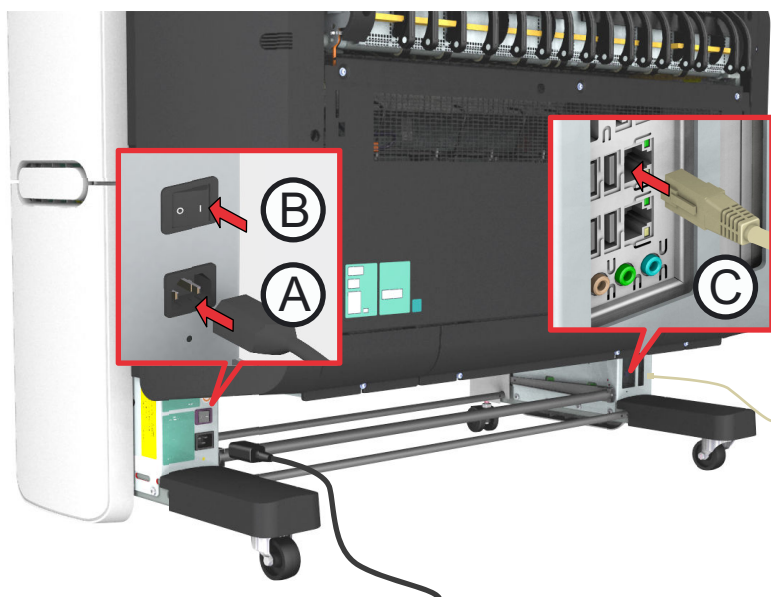


重要

- 電源ケーブル(A) が接続されていることを確認します。
- ネットワーク ケーブル (C) が接続されていることを確認します。

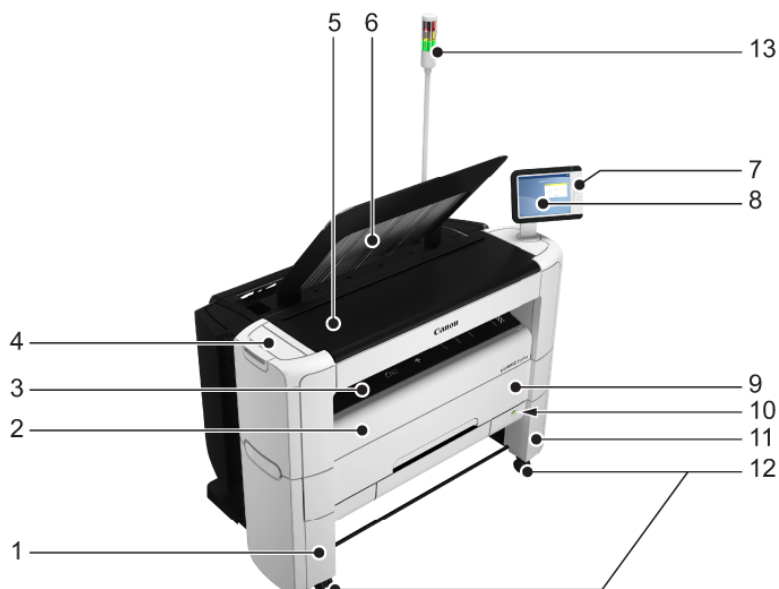
手順

1. プリンタの背面左側にある電源スイッチをオンにします。(B)



ハードウェア

プリンタの主なコンポーネント (前面)



コンポーネント - 機能表

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[下側左前面カバー]	プリンタを移動する際はこのカバーを取り外します。
2	[下側前面カバー]	前面にあり、エラー復旧時に使用します。
3	[用紙バイパス]	幅 36 インチまでのカット紙を手差しします。
4	[トナー収納部]	トナーを補充するための収納部。
5	[プリンタ上部カバー]	プリンタのみのバージョンで使用可能。
6	[上部排紙トレイ]	プリントされたシートを収容する排紙トレイ。
7	USB ポート	プリント元またはスキャン先として USB 大容量記憶装置を使用するための USB コネクタ。
8	ClearConnect マルチタッチ操作パネル	ClearConnect 操作パネルを使用すると、コピー、スキャン、プリントのジョブを開始し、システムおよびジョブ ステータスをモニタリングすることができます。
9	[用紙引き出し]	ロール紙 1 および/または 2 が格納される用紙引き出し。
10	[オン/オフ ボタン]	プリンタを起動またはシャットダウンするためのボタン。
11 / B	[下側右前面カバー]	前面に位置し、プリンタの水平調整に使用します。
12	[キャスター]	ブレーキ付きのキャスター。

番号	コンポーネント	説明/機能
13	[オペレーター警告灯]	プリンターの状態を知らせるランプ

プリンタの主なコンポーネント (左側)

図



コンポーネント - 機能表

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[残余トナー収納部]	廃トナー コンテナにアクセスします。

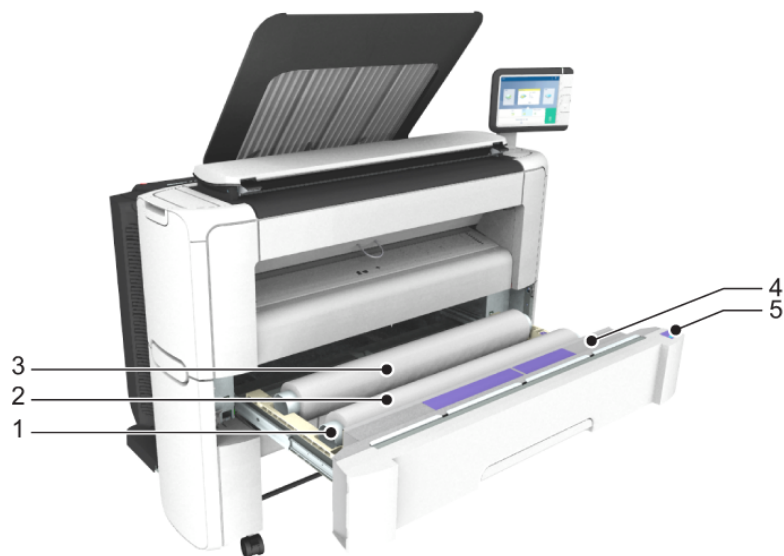
プリンタの主なコンポーネント (背面)



コンポーネント - 機能表

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[電源スイッチ]	主電源のオン/オフを切り替えます。 電源スイッチの上にあるステッカーにプリンタのシリアル番号が記載されています。
2	[上側背面カバー]	紙詰まりが発生した場合にヒーター セクションにアクセスするには、[紙詰まり除去ハンドル] を使用して [上側背面カバー] を開きます。
3	[紙詰まり除去ハンドル]	ヒーター セクションで紙詰まりの場合に、このハンドルを使用して用紙にアクセスします。

用紙引き出し



コンポーネント - 機能表

番号	コンポーネント	説明/機能
1	[ロール紙ホルダー]	ロール紙を装着します。
2	[ロール紙] 1	最初の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。
3	[ロール紙] 2	2 番目の位置のロール紙ホルダーに装着された用紙。  メモ スキャナ調整シートは、ロール 2 の後ろにあります。
4	[ロール ローディング ステーション]	用紙引き出しの正面カバーの後ろに用意された用紙受けであり、用紙が装てんしやすくなります。
5	[クリーン カット ボタン]	このボタンを使用して、新しいロール紙または損傷したロール紙の先端をクリーン カットします。

ClearConnect 操作パネル

はじめに

ClearConnect は、プリンタのマルチタッチ操作パネルです。



No (いいえ)	コンポーネント	機能
1	[ステータス ライト]	プリンタのステータスに関するフィードバックを表すライト。 - 緑のライトは、プリンタがスキャン中またはプリント中であることを示します。 - 緑色の点滅は、プリンタが移行状態にあることを示します（起動、シャットダウン、スリープ、起動、更新/インストール）。 - オレンジ色のランプはノンブロッキングエラーを示します。例えば、トナー切れ間近の場合や、プリンターが一時停止しそうな場合。 - オレンジ色の点滅は、コントローラの更新 / インストールが進行中であることを示します。 - 赤のライトは、エラーが発生したか、プリンタ キューが一時停止したことを示します。 - ライトが消灯しているときは、システムは準備完了であるか、シャットダウンしていることを示します。 プリンタのステータスに関するより詳細な情報は、ClearConnect ユーザーパネルに表示されます。
2.	[スリープ ボタン]	ボタン: - プリンタのスリープ モードを解除します。 - 機能を完全に活用するために、プリンタのスリープ モードを解除します。
3.	[USB ポート]	USB キーの挿入: - USB キーから直接にファイルを印刷します。 - USB キーに直接にスキャン ファイルを保存します。 データ転送中、ポートの緑ランプが点滅し始めます。

No (いいえ)	コンポーネント	機能
4.	[停止ボタン]	ボタン、赤のライトが点灯: • スキャン ジョブを直ちに中断します。 • 印刷中のページの印刷後、印刷ジョブを停止します。
5.	[ホーム ボタン]	ボタン: • ユーザーパネルのホーム画面に戻ります。 • ボタンを 2 回押して設定をデフォルトに戻します。
6.	[緑色のボタン] (タッチ)	以下を行うための操作パネル画面の動的なタイルです。 • ユーザーパネルでスキャンジョブ、プリントジョブ、コピージョブを開始します。

スキャナのコンポーネント (オプション)



メモ

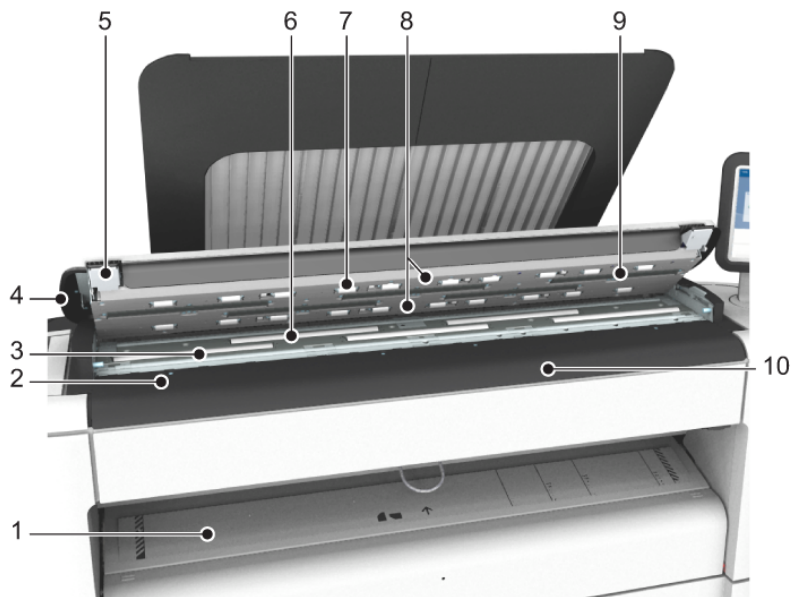
Scanner Express 用のスキャナ調整シートは、ロール 2 の後ろの用紙引き出しにあります。

スキャナのコンポーネント (上カバーは閉じた状態)



	コンポーネント	説明/機能
1	[上部カバー]	スキャナを保護します。
2	[原稿フィード テーブル]	[原稿フィード テーブル] を使用して、原稿をスキャナに挿入します (表面が上)。
3	[オープン レバー]	[オープン レバー]を使用して上部カバーを開きます。
4	[原稿排紙]	スキャン済み原稿が排紙されます。
5	[出力図面巻き込み防止プロテクタ]	出力がスキャナに再給紙されるのを防ぎます。

スキャナのコンポーネント (上カバーは開いた状態)



	コンポーネント	説明/機能
1	[原稿排紙]	スキャン済み原稿が排紙されます。
2	[原稿サイズ定規]	この定規を使用して原稿の長さを測定します。
3	[原稿フィード ローラー]	原稿の搬送に使用されるローラー。
4	[上部カバー]	スキャナの電源を切ります。
5	[オープン レバー]	オープン レバーを使用して、スキャナの上カバーを開きます。
6	[原稿サポート ローラー]	原稿ガイド用のローラー。
7	[スキャナ上部カバー ローラー]	上部カバーに搭載された原稿ガイド用のローラー。
8	[原稿センサー]	原稿検出用のセンサー。
9	[透明コンタクト プレート]	イメージ センサーのカバー。
10	[原稿フィード テーブル]	原稿フィード テーブルを使用して、(表向きに) 原稿をスキャナに給紙します。

排紙先

はじめに

プリンタには、プリント出力を収容するための上部排紙トレイが付属しています。

排紙先

WebTools Express 内および操作パネル上の [すべての設定を表示] では、プリント出力の排紙先を定義することができます。

- [上部排紙トレイ] を選択して普通紙またはトランスペアレント紙を使用すると、プリント出力は、デフォルトで Top Delivery Tray にフェイスダウンで排紙されます。別の種類の用紙を使用すると、プリント出力は常にプリンタの背面に排紙されます。

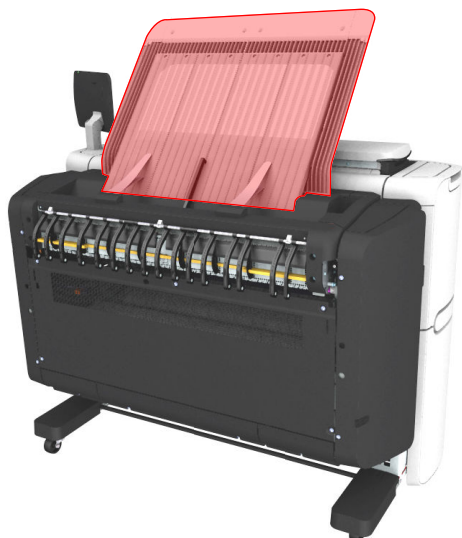
Top Delivery Tray は最大 100 枚まで収容できます。センサーによって排紙トレイがいっぱいであることが検出されると、プリンタはプリントを停止します。メッセージ [上部排紙トレイが満杯です。プリント出力を取り除いてください。] が操作パネルに表示されます。用紙を取り除き、プリントを続行します。

- [背面出力] を選択すると、デフォルトではプリンタの背面にプリント出力が排紙されます。この場合、次の仕上げオプションを使用して、プリンタを拡張することができます。

仕上げオプション

Stacker Select	図
Stacker Select とは、プリンタの背面に接続される平らなトレイです。スタッカには、最大 D/A1 サイズが 400 枚 (75 g / 90 g) のプリント出力を収容することができます。 Stacker Select については、マニュアルがウェブサイトからダウンロードできます (http://downloads.cpp.canon)。	

用紙は上部排紙トレイで使用できます。



用紙の名前	Top Delivery Tray との互換性
Paper 60 g	はい
[普通紙 64g]	はい
[普通紙 75g]	はい
[普通紙 75-80g]	はい
[再生普通紙 80g]	はい
[普通紙 90-110g]	はい
[トレ [®] 75g]	はい
[トレ [®] 90g]	はい

用紙

用紙の名前	[上部排紙トレイ] との互換性
[フィルム3.5mil]	いいえ、[背面出力] に排紙
[フィルム4.5mil]	いいえ、[背面出力] に排紙
[トランスルーセント]	いいえ、[背面出力] に排紙
[ペラム]	いいえ、[背面出力] に排紙

他の用紙

Scanner Professional (オプション)

はじめに

プリンタはスタンドアロン スキャナの Scanner Professional 付きで提供される場合があります。



Scanner Professional II



メモ

- スキャナのインストールおよびシステムの構成は、サービス技術者が行う必要があります。
- 詳細については、<http://downloads.cpp.canon> をご覧になり、ご使用の製品を選択してください。

Operator Attention Light (オプション)

プリンタは、プリンタ上部に注意灯が装備された状態で、提供される場合があります。

この注意灯は、操作パネルでのステータス ライトと同様に、プリンタのステータスに関するフィードバックを示します。

- 緑のライトは、プリンタがスキャン中またはプリント中であることを示します。
- 緑色の点滅は、プリンタが移行状態にあることを示します（起動、シャットダウン、スリープ、起動、更新/インストール）。
- オレンジ色のランプはノンブロッキングエラーを示します。例えば、トナー切れ間近の場合や、プリンターが一時停止しそうな場合。
- オレンジ色の点滅は、コントローラの更新 / インストールが進行中であることを示します。
- 赤のライトは、エラーが発生したか、プリンタ キューが一時停止したことを示します。
- ライトが消灯しているときは、システムは準備完了であるか、シャットダウンしていることを示します。

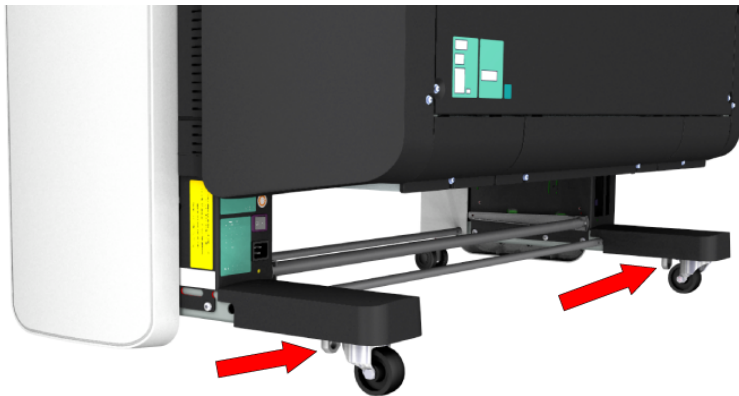
プリンタのステータスに関するより詳細な情報は、ClearConnect ユーザーパネルに表示されます。



メモ

- アテンション・ライトは設定不要で、エンジン作動中に接続できます（再起動不要）。

耐震対策



独立型プリンタは地震の際に移動する場合があります、それにより人が負傷したり、出口が塞がれたりします。用意された耐震対策リングを用いて、プリンタを建物に取り付けて、プリンタを最初に設置した場所に安全に固定することができます。

このリングは、プリンタの据え付けの際に、取り付けることができます。

ClearConnect 操作パネルのワークフロー

ホーム画面

はじめに

ClearConnect 操作パネルのデフォルト画面は、ホーム画面です。

ホーム画面から、ジョブを管理したり、システム メニューを入力したりできます。

ホーム画面



番号	コンポーネント	機能
1	[動的バー] と [アクティブ ジョブ]。	動的なバーでは、システム ステータス (ウォーミングアップ、クリーニングなど) や、アクティブなジョブがある場合はそのジョブを表示できます。 • アクティブなジョブをタップすると、ジョブ キューが待機中のジョブのリストとともに表示されます。 • アクティブなジョブをタップすると、一時停止タイルが表示され、これを使用してプリント処理を一時停止することができます。
2.	[システム メニュー]	動的なバーでは、システム メニューにアクセスできます。 • システム メニューのサムネイルをタップすると、システムとプリンタのセットアップの設定に関する動的な表示が含まれた新しいウィンドウが開きます。

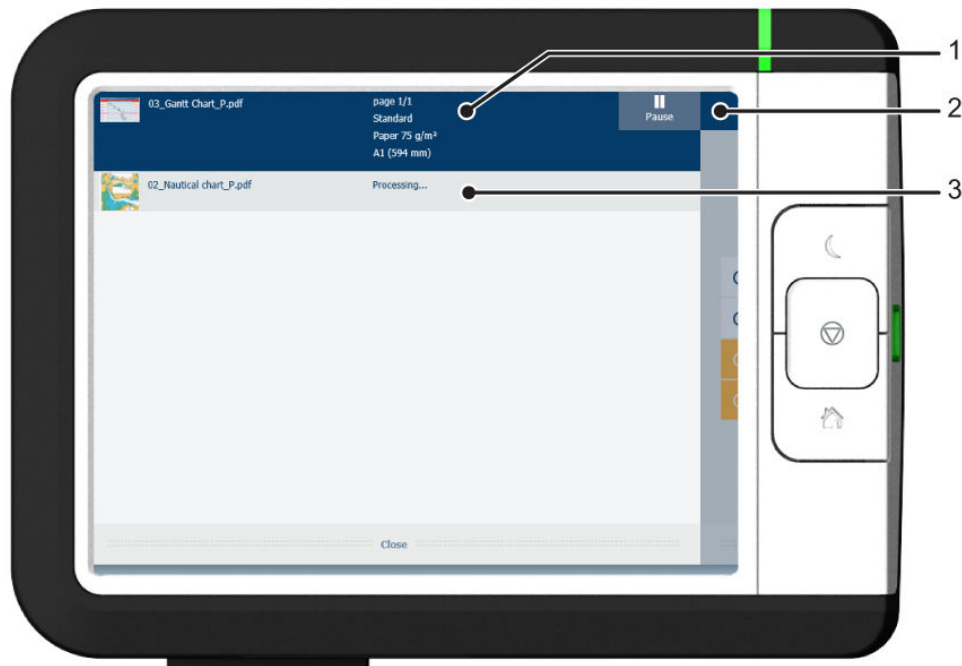
番号	コンポーネント	機能
3.	[コピー タイル] [スキャン タイル] [プリント タイル]	これらの動的なタイルは、コピー、スキャンおよびプリントのジョブに役立ちます。ジョブに合った適切なタイルを選択します。 • タイルをタップして Smart Access を使うと、すぐに仕事を始めることができます。 • デフォルトでプリント タイルが選択されていますが、スキャナに原稿を挿入するとコピー タイルが選択されます。原稿および USB キーを挿入するとスキャン タイルが選択されます。 • さらに多くの設定を指定するには、タイルを 2 回タップしてプリセットまたは設定が表示された新しいウィンドウを開くことができます。 Express Webtools では、任意のタイルを非表示/非表示解除して、そのワークフローを有効/無効にすることができます。
4.	Smart Access	ダイナミックな Smart Access は、プリント、コピー、スキャンのジョブに特化して変化し、ジョブを素早く開始するのに役立ちます。
5.	[ライブ スキャン ビュー]	ライブスキャンビューが Smart Access に表示される。 このビューは、Smart Access をスライドしながら、ドキュメントの幅とアライメントを表示します。
6.	[緑色のボタン]	グリーン ボタンは動的であり、ディスプレイの右下隅ですべての画面に表示されます。 • ボタンが緑の場合、ジョブを処理するプリンタの準備が整っています。 • ボタンがグレイの場合、ジョブを処理するプリンタの準備は整っていません。

ジョブキューおよびシステムメニュー

はじめに

ダイナミック・バーは、ユーザー・パネル・ディスプレイのホーム画面の上部にあります。動的なバーは、ジョブキューのあるジョブステータス、プリンタステータス、およびシステムメニューで構成されます。

アクティブなジョブおよびジョブキュー



番号	コンポーネント	機能
1	ジョブとプリンタステータス	ジョブおよびプリントシステムに関する情報を表示します。 - アクティブなジョブのジョブ情報などが含まれます。 - プリンタステータス (印刷中、トナー残量低下など)。
2.	システムメニュー	システムメニューにアクセスするには、システムのサムネイルをタップします。
3.	ジョブキュー	ジョブキューウィンドウを開くには、アクティブなジョブをタップします。 - ジョブ設定をタップすると、リストアップされたすべてのジョブが表示され、それらにアクセスできます。 - リストをスワイプすると、すべての求人が表示されます。 - リストされたジョブを上下に移動します。

「システム」メニュー



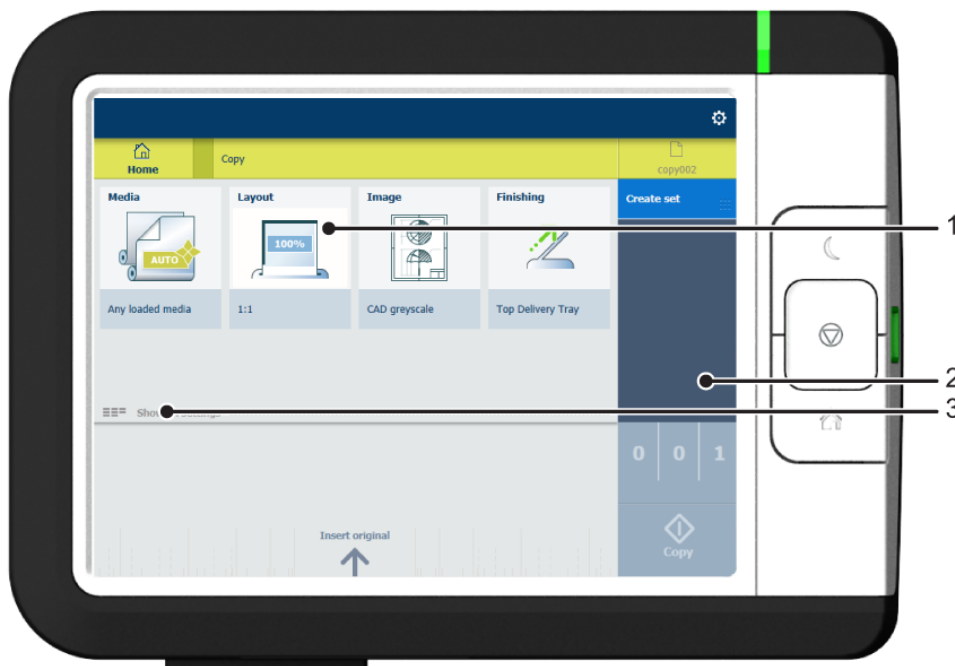
No (いいえ)	コンポーネント	機能
1	プリント システム と用紙	• プリンタ内に取り付けられた用紙が表示されます。 • 用紙の設定を変更するには、引き出しをタップします。 • ウィザードが表示され、用紙を変更したりトナーを補充したりするのに役立ちます。
2.	[設定メニュー]	[設定メニュー] はプリンタに関する一般的な情報を提供します。リスト内で以下にアクセスすることができます。 • 第 1 言語と第 2 言語の切り替え • [カウンタ] • [プリントのテスト] • [仕上げ装置] • [プリント濃度] • [システムのクリア] • [スキャナ] • [ネットワーク設定] • [セキュリティ] • [システムの更新] • [について]

プリセット、テンプレート、および詳細設定

はじめに

プリセットとテンプレートは、迅速かつ容易にジョブを送信するために役立ちます。詳細設定はジョブの設定を微調整するのに役立ち、すべての設定に対するアクセスを提供します。

ホーム画面でコピー タイルをタップすると、コピーのプリセットおよび詳細設定が含まれたウィンドウが開きます。スキャン タイルをタップすると、スマート アクセス内にテンプレートが表示されます。スキャン タイルをもう一度タップすると、詳細設定が含まれたウィンドウが開きます。プリント タイルをタップして、リストに表示されたジョブの設定をタップすると、プリントのプリセットおよび詳細設定が含まれたウィンドウが表示されます。



番号	コンポーネント	機能
1.	[プリセット タイル]	プリセット タイルは、ジョブのデフォルト設定を表示します。 - プリセットは、[用紙] や [レイアウト] などのカテゴリに分けられます。 - プリセット タイルをタップすると、選択可能な他のプリセットの簡単なリストに対するすばやいアクセスを提供します。
2.	[ジョブ ペイン]	[ジョブ ペイン] は、ジョブを管理するのに役立ちます。 - ジョブに関する情報が提供されます。 - セットの処理。 - ジョブの削除。 - プリセット/設定のウィンドウと文書のプレビューが表示されたウィンドウを切り替えるには、タイルをタップします (Smart Inbox のジョブのみ)。 - グリーン ボタンでジョブを開始します。

番号	コンポーネント	機能
3.	[すべての設定を表示] (詳細設定)	[すべての設定を表示] をタップすると、すべての詳細設定が含まれたリストが開きます。 スキャンの場合、詳細設定はあらかじめ表示されています。 • 詳細設定は、タイルとしてカテゴリ化されて表示されます。 • タイルをタップすると、設定を微調整できます。

ジョブのプレビュー

はじめに

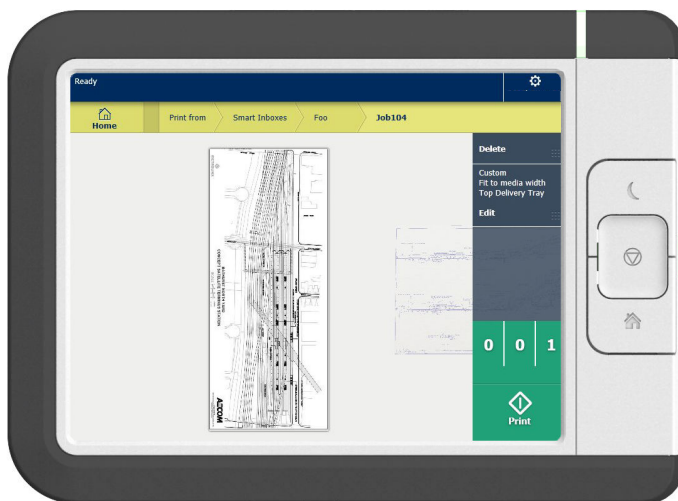
マルチタッチ操作パネルを使用すると、ジョブの詳細なプレビューが提供されます。プレビュー サムネイルをタッチしてプレビュー ウィンドウにアクセスします。



メモ

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。

ジョブのプレビュー



コンポーネント	機能
ジョブのプレビュー	詳細を表示するには、イメージをパンすることができます。 1つの場所の一部であるさまざまなジョブ ファイルの間を切り替えることができます。他のジョブ ファイルを表示するには、左か右にスワイプします。 プリセット ウィンドウを開くには、ジョブ ペイン内で編集タイルをタップします。 プレビュー ウィンドウに戻るには、プリセット ウィンドウ内で表示タイルをタップします。  メモ 複数ページのジョブがある場合は、最初のページしか表示できません。

クラウド

はじめに

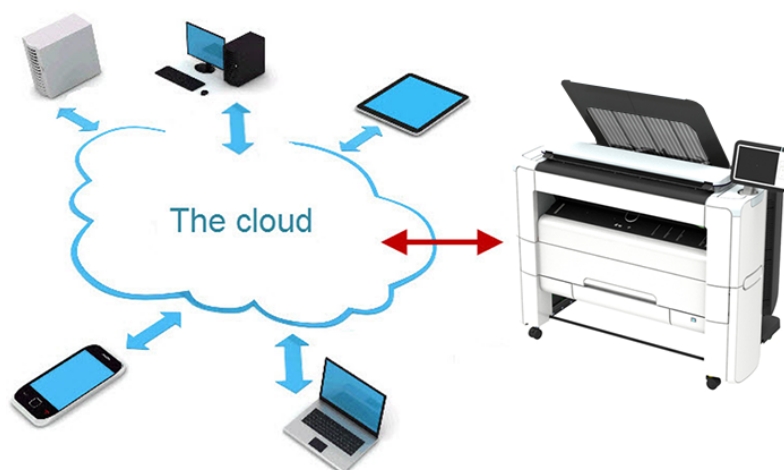
マルチタッチ操作パネルは、さまざまな場所をプリント元およびスキャン先とする機会をユーザーに提供します。このような場所の 1 つはクラウドです。

WebDAV 経由でクラウドを入力して、それをネットワークドライブとして使用できます。この方法によって、任意のクラウドアプリケーションにアクセスすることができます。



メモ

- Microsoft Office 365 Sharepoint Online および OneDrive はサポートされていません。
- クラウドを外部の場所として設定する方法の詳細については [外部の場所の作成 \(119 ページ\)](#) を参照してください。
- なお、WebDAV はクラウドロケーション作成時に選択されたタイプです。印刷ジョブにクラウドを使用する方法の詳細については、[クラウドを使用してプリントジョブを送信する \(223 ページ\)](#) を参照してください。



クラウドの概念

クラウドは、ファイルの送信先として使用する仮想ネットワークドライブとして見なすことができますが、ファイルの保存と共有の場所としても見なすことができます。

一般的なクラウドアプリケーションには、SharePoint や HTTP URL 経由のアプリケーションなどがあるが、企業独自のプライベートクラウドや社内クラウドを利用することもできます。

plotWAVE T30/T35 でクラウドを使うのはとても簡単です：

手順	説明	経由
接続	指定したクラウドアプリケーションとプリンタの間に接続を確立します。 これを実行するには、WebDAV 経由で WebTools Express 内に外部の場所を作成します。	WebTools Express

手順	説明	経由
プリント ジョブの場合:	ローカルでクラウド アプリケーションを開きます。	PC またはモバイル デバイス
	クラウド内でプリントするファイルを追加して保存します。 あるいは、クラウド内でプリンタにファイルを送信します。	PC またはモバイル デバイス
	プリント タイルの Smart Access 内で、場所としてクラウド アプリケーションを開きます。	操作パネル
	プリントするファイルを選択します。	操作パネル
	グリーン ボタンをタップします。	操作パネル
スキャン ジョブの場合:	原稿を挿入して、スキャン タイルを選択します。	操作パネル
	Smart Access で、クラウドが保存先として設定されているテンプレートを選択します。	操作パネル
	グリーン ボタンをタップします。	操作パネル
	PC またはモバイル デバイス上でクラウドを開き、スキャン済みファイルをそこから検索します。	PC またはモバイル デバイス

第 3 章

WebTools Express を使用したワークフローの定義

ご使用にあたって

WebTools Express

はじめに

WebTools Express は、プリンタ上で稼働するアプリケーションです。ご使用のコンピュータまたはモバイル デバイス上で WebTools Express のホームページを開くには、最新のインターネット ブラウザ (Google Chrome、Microsoft Edge、または Mozilla Firefox) を使用してください。

定義

次を実行するために、WebTools Express を使用できます:

- プリント、コピー ジョブ、およびスキャン ジョブを管理します。
- Publisher Express を使用したプリンタにプリント ジョブを送信します。
- このアプリケーションを使用して設定にアクセスし、プリント システムの構成およびプリファレンスを管理することができます。

WebTools Express 内で設定を変更すると、事前定義された 3 つのユーザー ロールのいずれかを使用してログインする必要があります。詳細については、[ユーザーの役割および権限 \(50 ページ\)](#) を参照してください。

- プリント システムのステータスをモニタリングします。

WebTools Express アクセス方法

WebTools Express へのアクセス方法:

- ワークステーションの Web ブラウザに、ホスト名としてプリンタの製品名、例えば `http://plotWAVEXXXX` を入力します。
または
- ワークステーションの Web ブラウザに、プリンタの IP アドレス、例えば `http://123.123.23.123` を入力します。



メモ

WebTools Express が表示されない場合、ネットワーク管理者に問い合わせてネットワーク パラメータを確認します。プリンタのネットワーク設定がネットワークインフラに登録されているか確認します。

WebTools Express 用に別の言語を設定する

はじめに

使用するインターネット ブラウザの言語設定によって、WebTools Express の言語が定義されます。

別の言語を設定

インターネット ブラウザで WebTools Express の言語設定を変更できます。お使いのインターネットブラウザによって、言語を変更するにはいくつかの手順を踏む必要があります。詳しくは、お使いのブラウザで該当するヘルプ情報を参照してください。対応しているインターネットブラウザは以下の通り：Google Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefox。

次の言語がサポートされています: オランダ語、英語 (英国)、ドイツ語、フランス語、英語 (米国)、スペイン語、デンマーク語、イタリア語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語、ポルトガル語、ポーランド語、ハンガリー語、チェコ語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、ロシア語、韓国語。



メモ

- 言語設定は、ユーザー パネルの言語には反映されません。ユーザーパネルでは、[第 1 言語] と [第 2 言語]のどちらかを選ぶことができます。WebTools Express の地域設定で [第 1 言語] および [第 2 言語] の値を定義することができます。
- 選択した言語がサポートされていない場合、WebTools Express のデフォルト言語は英語 (米国) です。

ユーザーの役割および権限

はじめに

WebTools Express のすべての設定を表示できますが、設定を編集する場合にはメッセージが表示されます。このメッセージには、設定がパスワード保護されていることが表示されます。設定を変更するには、パスワードを使用してログインする必要があります。



重要

すべてのパスワードの取り扱いおよび保存に十分な注意を払ってください。パスワードを忘れた場合は、サービス技術者がキー オペレータ、システム管理者、パワーユーザーのパスワードをリセットできますが、これはサービス技術者の権限が有効になっている場合に限られます。そうではない場合、装置を再インストールする必要があります。



メモ

- [ユーザー認証] 設定を有効にした場合、権限が異なる場合があります。詳細については、[ユーザー認証の有効化 \(86 ページ\)](#) を参照してください。
- システムの日常的な使用においては、パスワードは必要ありません。

ユーザーの役割および権限の概要

次の表に、ユーザーの役割とそれらの役割に属する権限を示します。

ユーザーの役割	説明
[キー オペレータ]	システムの通常の使用以外に、キー オペレータは日常的なメンテナンスも担当します。 キー オペレータは、WebTools Express の [プリファレンス] タブですべてのデフォルト設定を変更する権限があります。
[システム管理者]	システム管理者は、カスタマの IT インフラストラクチャへのシステムの統合を担当します。 システム管理者は、WebTools Express の [構成] タブですべての設定を変更する権限があります。
[パワー ユーザー]	パワーユーザーは、WebTools Express のすべての機能にアクセスする権限があります。パワーユーザーは、キー オペレータとシステム管理者の役割を兼ね備えています。

アクセス管理

はじめに

アクセス管理はプリンタに標準で装備されており、ユーザー認証オプションで有効・無効にすることができます。アクセス管理は、機密情報や慎重に扱うべきプリント ジョブを不正なアクセスから保護する目的で設計されています。ジョブにはそのジョブの所有者のみがアクセスできます。

安全なプリントおよびスキャン

ユーザー認証を有効にすると、

- ジョブの所有者が送信した慎重に扱う必要のあるプリント ジョブは、ジョブ所有者がシステム操作パネルで認証し、印刷のためにリリースするまで印刷されません。
- プリント ジョブはプリンタに保存され、ジョブ所有者以外はそのジョブにアクセスできません。
- コピーおよびスキャン作業は、ユーザーがシステム操作パネルで認証した後にのみ、可能になります。

次の 3 種類の方法がユーザー認証に用いられます：

- ユーザー名およびパスワード：
プリンタ操作パネルでは、ユーザー名およびパスワードが必要です。
- スマート カード：
有効なスマート カードをスマート カード リーダーに挿入します (プリンタの USB ポートに接続)。
- 非接触型カード：
有効な非接触型カードを、非接触型カード リーダーの近くでしっかりと保持します (USB ソケットに接続)。

これらの認証方法は、Microsoft Active Directory を使用した Windows ベースの環境を対象としたものです。

ホーム フォルダをスキャン先およびプリント元とする

ホーム フォルダをスキャン先およびプリント元とするオプションは、ユーザー名とパスワード認証方法により、使用することができます。プリンタ操作パネルで認証を入力した後、Microsoft Active Directory でご自分のアカウントに設定したように、ネットワーク上のホーム ディレクトリにファイルをスキャンする (あるいはファイルからプリントする) ことができます。認証により LDAP プロトコルを介して、ホーム ディレクトリにアクセスすることができます。ホームをスキャン先にするオプションには、ワークステーション上でご自身のアカウントの認証を行った後、ホーム フォルダにあるスキャンを取得することのみ可能です。



メモ

ホーム フォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な、自分用の安全な外部の場所です。

権限のあるユーザーとしてログインする

特定の設定を変更するには、権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。3つのユーザーの役割があります (システム管理者、キー オペレーターおよびパワーユーザー)。これらの役割には、特定の設定のグループを編集する権限があります。セッションを開始する前にログインする必要はありません。特別な操作を実行する場合、ログイン画面のみが表示されます。



重要

[セキュリティ] - [設定] - [ユーザ アクセス構成] セクションの WebTools Express でローカルアカウントを無効にし、ネットワーク認証を有効にすることができます。ネットワーク認証が有効な場合、Active Directory のユーザー名は、ユーザー・ロール (システム管理者、キー・オペレーター、またはパワー・ユーザー) にマッピングされます。Active Directory の認証情報でログインすると、ユーザーは再ログインすることなく、WebTools Express のユーザー・ロールに対応するすべての設定を変更する権限が与えられます。

ネットワーク認証の詳細については、<https://downloads.cpp.canon> の plotWAVE-colorWAVE Systems Security - Administration guide を参照してください。

ログイン後



メモ

- 1 度ログインすると、ブラウザ セッションが終了するまでログイン状態が持続します。30 分以上操作を実行しないと、セッションの有効期限が切れ、再度ログインする必要があります。
- セキュリティを確保するため、3つのアクセス モード (キー オペレーター、システム管理者、パワーユーザー) のパスワードを定期的に変更することをお勧めします。

ローカルアカウントのためには、これを WebTools Express で実行することができます。

ネットワーク認証が有効な場合、これは IT パスワード ポリシーにより扱われます。

手順

1. 編集する設定の値をクリックします。ログイン ウィンドウが開きます。
2. ドロップダウン リストからユーザーの役割を選択します。
3. パスワードを入力します。
4. [OK] をクリックして、入力内容を確認します。

セッション後にログアウトする

目的

設定の変更が終了したら、ログアウトすることをお勧めします。

手順

1. 画面**右上**角のログアウト ハイパーリンクをクリックします。
または
2. インターネット ブラウザのウィンドウを閉じます。

権限のあるユーザーのパスワード、またはパスワードの暗号化キーを変更する

使用する場合

セキュリティを確保するため、3つのアクセスモード(キーオペレータ、システム管理者、パワーユーザー)のパスワードを定期的に変更することをお勧めします。

ローカルアカウントのためには、これを WebTools Express で実行することができます。

ネットワーク認証が有効な場合、これは IT パスワード ポリシーにより扱われます。

[パスワードの暗号化キー]

このキーは、デバイスに保存されたすべてのパスワードを安全に暗号化するために使用されています。このキーを知らずに、サードパーティが保存されたパスワードの暗号を解読することは不可能です。システムのインストール、アンインストール、またはアップグレードを実行した後は、システムデフォルトパスワードの暗号化キーを変更することをお勧めします。

この設定は、パスワードと同じセクションにあります。



重要

すべてのパスワードの取り扱いおよび保存に十分な注意を払ってください。パスワードを忘れた場合は、サービス技術者がキーオペレータ、システム管理者、パワーユーザーのパスワードをリセットできますが、これはサービス技術者の権限が有効になっている場合に限られます。([セキュリティ] - [設定] - [サービスの許可] - [サービス技術者にパスワードのリセットを許可する] - [はい])。そうではない場合、装置を再インストールする必要があります。

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. 変更する設定に応じて、[パスワード] セクションで、[ローカル キー オペレーターのパスワード]、[ローカル システム管理者のパスワード]、[ローカル パワー ユーザーのパスワード]、または [パスワードの暗号化キー] を選択します。新しいウィンドウが開きます。
3. 以下のようにログインします。
 - キーオペレータのパスワードを変更するには、キーオペレータ。キーオペレータのデフォルトのパスワードは「KeyOp」です。
 - システム管理者のパスワードを変更するには、システム管理者。システム管理者のデフォルトのパスワードは「SysAdm」です。
 - すべてのパスワードを変更するには、パワーユーザー。パワーユーザーのデフォルトのパスワードは「PowUsr」です。
 - パスワードの暗号化キーを変更するには、システム管理者またはパワー ユーザーです。



メモ

パスワードとパスワードの暗号化キーでは、大文字と小文字を区別してください。次の範囲の文字のみを使用できます:

A-Z (アルファベット大文字)	a-z (アルファベット小文字)
0-9	_ - ~ ! ? @ # \$ % ^ * + = , . : ; / [] () { }

日本語および中国語の文字またはキリル文字は使用できません。

4. 確認のため、新しい設定を2回入力します。入力は表示されません。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ジョブの状態

はじめに

ジョブが Smart Inbox またはジョブ キューに格納されている場合、ジョブ名の前にあるアイコンによって、ジョブの状態に関する情報が表示されます。

Smart Inbox に格納されたジョブの状態の概要

状態	アイコン	説明
受信中		Smart Inbox でジョブ データを受信中であることを表します。
新規		Smart Inbox に新しいジョブがあることを表します。
キュー済み		ジョブがキューにコピーされ、プリント待ちであることを表します。
プリント済み		ジョブがプリントされたことを表します。
注意が必要		一般的なエラー メッセージ。
アカウント データがありません		ジョブのアカウント データがない場合に表示されます。

ジョブ キューに格納されたジョブの状態の概要

状態	アイコン	説明
受信中		キューでジョブ データを受信中であることを表します。
処理中		キューでジョブ データを処理中であることを表します。
プリントできます		ジョブのプリント準備ができたことを表します。
スケジュール済み		ジョブがプリント待ちであることを表します。
プリント		ジョブが現在プリント中であることを表します。
注意が必要		一般的なエラー メッセージ。

システムモニター

はじめに

システム モニタを開いて、プリント システムの現在のステータスの概要を取得することができます。画面左下隅にある「システム」タブをクリックすると、システム モニターが開きます。

システム ステータス (たとえば、[プリント中:]) が WebTools Express のシステムモニター部の右上に表示されます。

右側にシステムモニターが表示されます：

- 使用可能なトナー残量。
- 利用可能なメディア

システムの状態の概要

状態	アイコン	説明
[ユーザーによる操作が必要です]		ユーザーは、プリンタに移動し、操作パネルに表示される指示に従うよう求められます。
[システム メモリがフルです]		システム メモリがフルのためプリントできない場合に表示されるステータス メッセージ。
[トナー切れ]		トナー切れのためプリントできない場合に表示されるステータス メッセージ。
[スリープ中...]		省エネルギー状態: プリンタがスリープ中のため、一部の機能は使用できない状態です。
[初期化中...]		システムソフトウェアの初期化中の状態。
[プリンター一時停止]		システムによってプリント キューが一時停止されていますが、その他のすべての機能にアクセスすることができます。
[処理中...]		システムはデータを受信または処理しています。
[プリントできます]		アクティブなジョブおよび待機中のジョブがない状態です。受信されたジョブのプリントを開始するために、ユーザーの操作は必要ありません。
[プリント中:] <job-name>		プリント ジョブがアクティブな状態です。
[処理中:] <job-name>		システムはジョブ データを処理しています。
[受信中:] <job-name>		システムはジョブ データを受信しています。
[プリント品質の最適化中。お待ちください...]		システムは印刷品質を最適化するための設定を行っています。
'Media indication' (用紙表示)		各ロールのロール用紙およびロール幅の表示。

状態	アイコン	説明
[ユーザーによる操作が必要です]		一般的なエラー メッセージ。

状態	アイコン	説明
[スキャナはビジーです]		スキャナはアクティブな状態です。
[スキャナは使用可能です]		スキャナはスキャン ジョブを開始する準備ができています。

スキャナの状態

アイコン	説明
	トナーに問題はありません
	トナーの残量が少ないか、トナーが空です。

トナーの状態

アイコン	説明
アイコンなし	[Remote Service] は無効または有効になっていて、Canon に接続されています。
	[Remote Service] が有効なのに、Canon に接続できません。
	システムへのリモート アシスタンスが有効になっており、現在、接続を受け入れています。

リモート サービスの状態

アイコン	説明
アイコンなし	電子断裁が無効です。
	電子断裁が有効またはビジーです。 ツールチップに追加情報が表示されます。

電子断裁の状態

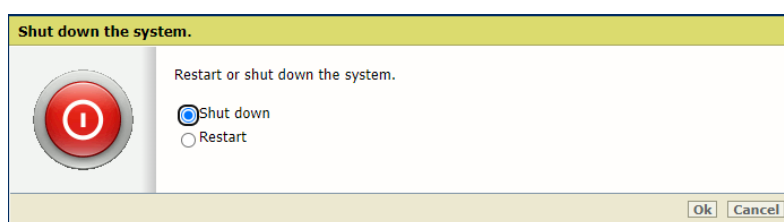
システムを再起動またはシャットダウンする

はじめに

この手順では、システム管理者としてログインする必要があります。

システムのシャットダウン

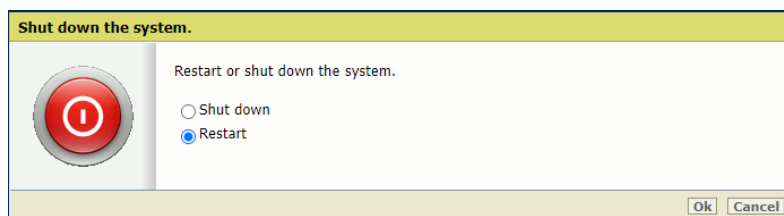
1. リモートで印刷システムをシャットダウンするには、WebTools Express のサポートタブの右上にある [シャット ダウン] をクリックします。
別のウィンドウが開きます。



2. [シャット ダウン] を選択します。
3. 「OK」 をクリックします。

システムを再起動します。

1. 印刷システムを再起動するには、WebTools Express のサポートタブの右上にある [シャット ダウン] をクリックします。
別のウィンドウが開きます。



2. [再起動] を選択します。
3. 「OK」 をクリックします。

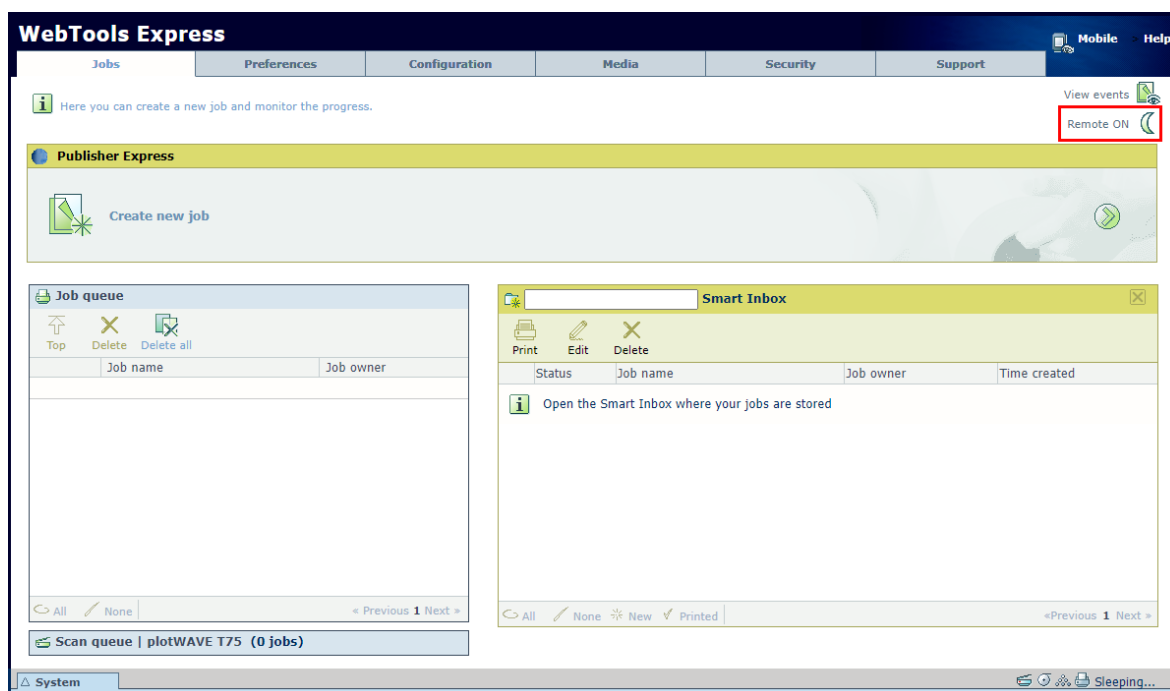
Remote ON 機能

はじめに

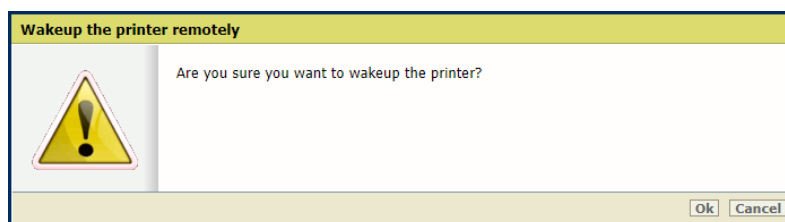
プリンターがスリープモードになっている場合、リモートでスリープを解除できます。こうすることで、プリンターに到着した時点で直ぐにプリンタで印刷できます。

手順

1. Webtools Express を開きます。
2. 画面右上の [Remote ON] アイコンをクリックしてください。



3. [Ok]をクリックして確定します。



プリンタの印刷準備が整いました。

デフォルトの定義

WebTools Express のデフォルト設定について

定義

プリンタにジョブを送信する前に、次の点に注意してください。

WebTools Express で定義される値は、一般的なシステム動作のためのデフォルト値です。プリンタドライバまたはジョブ送信ツールで、いくつかのジョブ設定を定義することができます。プリンタドライバやジョブ送信ツールで定義した設定は、WebTools Express で定義した設定よりも常に優先的に使用されます。

設定を編集するには

はじめに

WebTools Express では、プリント システムをカスタマイズする設定を指定できます。



メモ

- 設定または設定グループを編集するには、権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。
- 設定を変更した後、システムの再起動が必要になる場合があります。

手順

1. 編集する設定を参照します。例: [プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [地域設定]。
2. 1 つの設定を編集するには、設定の値を直接クリックします。
または
グループ内で複数の設定を編集するには、設定グループ バーの [編集] をクリックして、すべての設定が含まれたウィンドウにアクセスします。
3. 設定を変更します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

設定を表示して確認

はじめに

WebTools Express では、設定を表示して確認できます。工場出荷時のデフォルト値から変更された設定も確認できます。

手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [コンフィギュレーションの表示] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. 設定のリストをスクロールします。1 列目に設定、2 列目に値が表示されます。「*」は、現在の設定値が工場出荷時のデフォルト値と異なることを表します。



メモ

ブラウザ標準のプリント機能を使用して情報をプリントすることができます。

設定をファイルに保存

はじめに

WebTools Express で設定した設定および値をファイルに保存します。

同じ種類の別のプリンタに設定を簡単に複製するには、設定をファイルに保存します。



メモ

- 設定ファイルには、すべての設定が保存されるわけではありません。ネットワーク設定は他のプリンターに転送できないため、ファイルから除外されます。許可されたユーザーのパスワードと外部ロケーションのパスワードは、セキュリティ上の理由からファイルから除外されます。また、ライセンス情報もファイルには含まれません。
- この手順には、キー オペレータ、システム管理者、またはパワーユーザーとしてログインする必要があります。読み込まれる設定は、ログイン プロファイルによって異なります。ユーザー ログインに対応する設定のみが読み込まれます。

手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. タブの右上にある [コンフィギュレーションの保存] をクリック。ウィンドウが開きます。
3. ネットワーク上でファイルを保存する場所を参照します。
4. settings<hostname of printer><date>.xml ファイルを保存します。ファイル名は固定されていません。必要に応じて名前を変更することができます。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックしてファイルを保存せずにウィンドウを閉じます。

ファイルから設定を読み込み

はじめに

WebTools Express 用の設定および値をファイルから読み込みます。同じ種類の別のプリンタに設定を簡単に複製するには、設定をファイルから読み込みます。



メモ

- 設定ファイルには、すべての設定が保存されるわけではありません。ネットワーク設定は別のプリンタに転送することができないため、ネットワーク設定はファイルから除外されます。セキュリティを確保するため、外部の場所に対する権限のあるユーザーとパスワードはファイルから除外されます。また、ライセンス情報もファイルには含まれません。
- この手順には、キー オペレータ、システム管理者、またはパワーユーザーとしてログインする必要があります。読み込まれる設定は、ログイン プロファイルによって異なります。ユーザー ログインに対応する設定のみが読み込まれます。

手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [コンフィギュレーションの復元] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. ネットワーク上の場所を参照し、設定ファイルを選択します。
4. [OK] をクリックして設定ファイルを読み込むか、[キャンセル] をクリックして設定ファイルを読み込まずにウィンドウを閉じます。
再起動を求めるダイアログが表示される場合があります。

結果

設定ファイルに保存された設定の値により、現在の値が上書きされます。接続に関する問題の発生を防ぎ、パスワードの整合性を確保するため、システムのネットワーク設定およびパスワードは読み込まれません。

工場出荷時のデフォルトを復元

はじめに

場合によっては、初期設定の復元が必要になることがあります。WebTools Express では、工場出荷時のデフォルト設定を復元できます。



メモ

キー オペレータの設定を復元するだけの場合は、キー オペレータとしてログインします。システム管理者の設定を復元するだけの場合は、システム管理者としてログインします。すべての出荷時デフォルト設定を復元するには、パワー ユーザーとしてログインする必要があります。

手順

1. [設定] タブまたは [プリファレンス] タブを開きます。
2. 画面の右上隅にある [デフォルトの復元] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3. [OK] をクリックして工場出荷時のデフォルト設定を復元するか、[キャンセル] をクリックして工場出荷時のデフォルト設定を復元せずにウィンドウを閉じます。

プリントジョブのデフォルト設定の指定

定義

WebTools Express では、プリントジョブ設定のデフォルト値を指定できます。ドキュメント用にプリントジョブのデフォルト設定を最適化すると、最良の結果が実現されます。

プリントジョブ設定は、[プリファレンス] - [プリントジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、最も重要なプリントジョブのデフォルト設定について簡単に説明します。プリントジョブのデフォルト設定では、ユーザパネルで表示されるプリントプリセットも定義できます。



メモ

- プリンタドライバまたはジョブ送信ツールでプリントジョブ設定を定義する場合、これらの値は WebTools Express で定義されたデフォルト値よりも常に優先されます。
- [プリファレンス] - [プリントジョブのデフォルト] タブで、プリントプリセットの設定も指定できます。プリセットに指定する設定のみが、マルチタッチユーザパネルのプリントタイルに表示されます。プリントプリセットの詳細については、[デフォルトのプリントプリセットの設定 \(104 ページ\)](#) を参照してください。

[プリントジョブのデフォルト] - [基本] - の設定の概要

[プリファレンス] - [プリントジョブのデフォルト] タブを開きます。「[基本]」に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[セットの部数]	ジョブをプリントする回数のデフォルト値を入力します。
[丁合い]	• 出力をセットごとにソートするには (123 - 123)、[オン (セットごとにソート)] を選択します。 • 出力をページごとにソートするには (11 - 22 - 33)、[オフ (ページごとにソート)] を選択します。
[プリント排紙]	• 出力のデフォルト排紙先を上部排紙トレイに指定するには、[上部排紙トレイ (TDT)] を選択します。 • 出力のデフォルト排紙先をプリンタの背面に指定するには、[背面出力] を選択します。

[プリントジョブのデフォルト] - [シート] - の設定の概要

[プリファレンス] - [プリントジョブのデフォルト] タブを開きます。「[シート]」に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[用紙ソース]	プリンタで使用されているデフォルト用紙ソースを選択します。 - プリント ジョブに基づいて用紙を自動的に選択するには、「[自動]」を選択します。 - カット シートを挿入するには、「[手差し]」を選択します。 - デフォルトで使用するリストから特定の用紙ソースを選択します。 プリンタ ユーザ パネルのシステム 画面に、どの用紙が取り付けられているかが表示されます。  メモ 用紙ソースが「[自動]」に設定されている場合は、用紙選択ポリシー設定のみを指定できます。
[用紙選択ポリシー]	- 正確なサイズが使用できない場合に、プリント サイズよりも大きい用紙ロールの使用をプリンタに許可するには、「[自動で次に大きいサイズ]」を選択します。 - プリントの用紙サイズに正確に一致する用紙ロールのみの使用をプリンタに許可するには、「[自動で完全一致]」を選択します。正確なサイズの用紙ロールを使用できない場合、用紙要求がポップアップ表示されます。
[カット方式]	- プリントを定型用紙サイズ (DIN、ANSI など) にカットするには、「[標準]」を選択します。 - プリントをイメージの終わりでカットするには、「[シンクロ]」を選択します。 - プリントを特定の長さでカットするには、「[カスタム]」 (数値) を選択します。
[カスタム プリント長]	プリント ジョブのカットの長さを入力します。
[先端余白の追加]	値を入力した場合、プリンタによって、出力の上部に指定された長さの余白が追加されます。
[後端余白の追加]	値を入力した場合、プリンタによって、出力の下部に指定された長さの余白が追加されます。

[プリント ジョブのデフォルト]-[レイアウト]-の設定の概要

[プリファレンス]-[プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。「[レイアウト]」に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[スケール]	- イメージを用紙サイズに合わせて拡大するには、[自動で用紙サイズに合わせてスケール]を選択します。 - 原稿より 1 サイズ小さなフォーマットにイメージを縮小するには、[イメージが用紙より大きい場合に自動で縮小]を選択します。 - 独自の拡大/縮小のパーセンテージを入力するには (拡大/縮小なしの場合は 100 パーセント)、[カスタム スケール倍率]を選択します。
[ミラー]	垂直軸 (用紙の移動方向) にそってイメージをミラー処理するには、[オン]を選択します。

設定	説明
[回転]	イメージを反時計回りに回転させるには、任意のオプションを選択します。 高速にプリントするには、[長いエッジが先] を選択します。用紙の移動が少なくなるため、より生産的にプリントすることができます。 最も効率的な方法で用紙を使用するには、[自動用紙節約] を選択します。 詳細については、回転モードの設定（143 ページ） を参照してください。
[アラインメント]	用紙のどの部分にイメージをそろえるのかを定義するには、任意のオプションを選択します。 詳細については、アラインメント モードを設定する（144 ページ） を参照してください。
[横シフト]	選択されたアラインメントの位置で、水平方向にシフトさせる距離を定義します。
[縦シフト]	選択されたアラインメントの位置で、垂直方向にイメージをシフトさせる距離を定義します。

[プリント ジョブのデフォルト]-[イメージ] 設定の概要

[プリファレンス]-[プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。[イメージ] に移動し、右上角で「編集」をクリックします。

設定	説明
[プリント品質]	• [標準] はデフォルト値です。 • 線画図面用には [線/テキスト] を選択します。ラインがシャープになります。 • 大きなフォト用には [写真] を選択します。大きなグレー領域用に、プリントされた出力が最適化されます。

デフォルトのプリント保存先を設定

はじめに

WebTools Express でデフォルトのプリント保存先を設定することができます。プリント ジョブの保存先がジョブ チケット内で指定されていない場合やジョブチケットがない場合は、ジョブはデフォルトの保存先に送信されます。2つのデフォルトのプリント保存先から選択できます。

- ジョブは自動的にプリントされ、Smart Inbox に保存されます。
- ジョブが Smart Inbox に送信されるので、これをローカルに開始する必要があります。



メモ

[プリント ジョブの宛先を無効にする] 設定が [いいえ、ジョブ チケットで指定されたとおり] に指定されている場合、デフォルトのプリント保存先を設定することができます。この設定は、[プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] にあります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを選択します。
2. [編集] セクションの [ジョブ管理] をクリックするか、[プリント ジョブのデフォルトの宛先] 設定をクリックします。
3. [キューと Smart Inbox の両方] または [Smart Inbox のみ] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

これで任意のプリント保存先がデフォルトになりました。他の設定を指定しない場合、すべてのプリント ジョブがこの保存先に送信されます。

コピー ジョブのデフォルト設定の指定

WebTools Express では、コピー ジョブ設定のデフォルト値を設定できます。ドキュメント用にコピー ジョブのデフォルト設定を最適化すると、最良の結果が実現されます。

コピー ジョブ設定は、[プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、全般的なコピー ジョブ設定について簡単に説明します。



メモ

[プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブで、コピー プリセットの設定も指定できます。プリセットに指定する設定のみが、マルチタッチ ユーザ パネルのコピー タイルに表示されます。コピー プリセットの詳細については、[デフォルトのコピー プリセットの設定 \(102 ページ\)](#) を参照してください。

[コピー ジョブのデフォルト] - [全般的なコピー ジョブ設定] の概要

[プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] の設定タブを開きます。[全般的なコピー ジョブ設定] の右上隅の「編集」をクリックします。

設定	説明
[コピーの生産性モード (「ライン/テキスト」のみ)]	- デフォルトの速度には [標準] を選択します。 - 最適化された速度には [生産的] を選択します。原稿はより高速にスキャンされます。
[用紙選択ポリシー]	- 大きなサイズ of 用紙を使用したプリントを継続するには、[次に大きいサイズ] を選択します。 - 指定された用紙サイズが使用可能な場合にのみプリントを継続するには、[実寸] を選択します。
[コピー ジョブ名内の ### の開始値]	コピー ファイルの名前内の # (ハッシュ) を置き換える数字を入力します。数字が増えます。
[Smart Inbox へのコピーのファイル名]	Smart Inbox へのコピーの保存に使用するコピー ファイル名を入力します。コピー ファイル名に 1 つまたは複数の # (ハッシュ) が含まれる場合、# (ハッシュ) は昇順の数字で置き換えられます。

スキャンジョブのデフォルト設定の指定

WebTools Express では、スキャンジョブ設定のデフォルト値を設定できます。ドキュメント用にスキャンジョブのデフォルト設定を最適化すると、最良の結果が実現されます。

スキャンジョブ設定は、[プリファレンス] - [スキャンジョブのデフォルト] タブにグループ化されています。以下では、全般的なスキャンジョブ設定について簡単に説明します。



メモ

スキャンジョブのデフォルトで定義されたファイル拡張子は、Smart Inbox から変更することはできません。

[スキャンジョブのデフォルト] - [全般的なスキャンジョブ設定] の概要

[プリファレンス] - [スキャンジョブのデフォルト] タブを開きます。[全般的なスキャンジョブ設定] セクションの右上角の「編集」をクリックします。

設定	説明
[スキャン to PDF 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は PDF へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: pdf)。
[スキャン to TIFF 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は TIFF へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: tif)。
[スキャン to JPEG 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は JPEG へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: jpg)。
[スキャン to CALS 用のファイル拡張子]	任意のテキスト文字列を入力します。文字列は CALS へのスキャンのファイル拡張子です (デフォルト: cal)。
[スキャン配信再試行の間隔]	リモートの場所にスキャンが送信される際にスキャンの送信が失敗すると、ここで設定した時間の後にプリンタがリトライします。

Smart Inbox 設定の設定

Smart Inbox およびキューの概念

定義

Smart Inbox はカスタマイズされたジョブ管理に使用できます。Smart Inbox は、ジョブのプリント元、ジョブの保存先、およびジョブのスキャン先として使用できる、個人のメール ボックスとして機能します。処理待機中のジョブは、キュー内に表示されます。

コンセプト	用途
キュー	- ジョブを可能な限り速やかにプリントする。 - プリンタ進行状況のフィードバックの取得 - 要求のキャンセル。 - 優先順位の変更 (ローカル)。
スマート インボックス	- システムにジョブを送信する。 - 出所の異なる文書のセットをまとめる - 様々なスマート受信トレイで文書を整理し、簡単に仕事を取り出すことができます。 - プリンタに送信済みのジョブをリプリントまたは設定を変更する

Smart Inbox とキューのコンセプト

ジョブを Smart Inbox に入れる

Smart Inboxes を使用してジョブを管理できます。WebTools Express でジョブ タブを開くと、Smart Inbox セクションに Smart Inboxes の概要が表示されます。1 つまたは複数の Smart Inbox 名を定義することで、ジョブを簡単に整理し、アクセスすることができます。詳細については、[「Jobs \(ジョブ\)」 タブの「Smart Inbox」 \(73 ページ\)](#) および [Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(75 ページ\)](#) を参照してください。

プリンタドライバアプリケーションまたはジョブ送信機で、印刷したい特定の Smart Inbox を選択することができます。ジョブが Smart Inbox に保持されている場合、ユーザ パネルまたは WebTools Express から手動でプリント ジョブを開始できます。

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。

[プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] では、権限の決定、Smart Inbox の設定、さらに一般的なジョブ管理の設定を行うことができます。詳細については、[ジョブ管理設定の構成 \(79 ページ\)](#) を参照してください。

「Jobs (ジョブ)」タブの「Smart Inbox」

はじめに

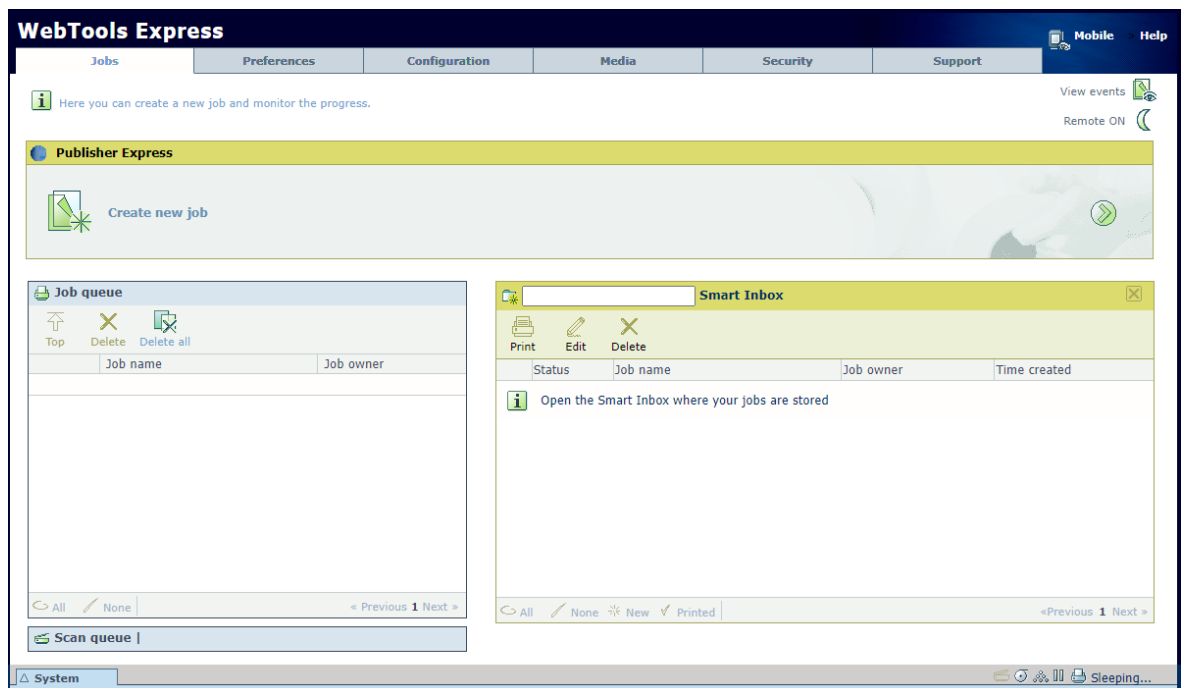
「Jobs (ジョブ)」タブでは、ジョブを作成したり、キューや「Smart Inbox」内でジョブを管理したりできます。



メモ

[ユーザー認証] 設定を有効にした場合、「Jobs (ジョブ)」タブでの権限や表示が異なる可能性があります。

「ジョブ」タブ



「Publisher Express」セクションで、新しいジョブを作成します。

新しいジョブを送信する際は、[新しいジョブの作成] をクリックします。新しいウィンドウが開きます。ここでいくつかの基本的なジョブ設定を定義したり、プリントするファイルを参照したりできます。

キュー セクションでは、ジョブをモニタリングします。

ジョブ キューおよびスキャン キューでは、プリントを待機しているジョブまたは送信を待機しているスキャンの概要を取得できます。キュー セクションの先頭にリストで表示されたオプションを使用すると、選択したジョブをキューの先頭へ移動したり、ジョブを削除したり、ジョブの送信をリトライしたり、スキャンしたジョブを特定の場所へ送信したりできます。[すべて削除] をクリックすると、キューからすべてのジョブが削除されます。



メモ

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。

Smart Inbox セクション内でジョブを制御します。

Smart Inbox を作成し、Smart Inbox セクションで開くことができます。詳細については、[Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(75 ページ\)](#) を参照してください。

システム上のすべての Smart Inboxes の概要が表示されます。「[スマート インボックスを開く]」をクリックします。白いスペース部分をクリックし、リストから Smart Inbox 名を選択します。下に Smart Inbox が表示されます。

「Smart Inbox」でジョブに対してアクションを実行します。Smart Inbox でジョブを選択すると、Smart Inbox セクションの上部にリストされたオプションを使用して、ジョブの印刷、編集、送信、保存、削除を行うことができます。



メモ

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。



メモ

選択されたジョブによって、使用可能なアクションは異なります。

システム上のすべてのジョブの概要が表示されます。[プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] - [すべての Smart Inbox ジョブについてビューを表示] 設定を有効にした場合、1 つの概要にすべてのジョブを表示できます。

Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox

はじめに

Smart Inbox はプリント元、スキャン先、または保存先の個人用フォルダとして使用します。「WebTools Express」では、次の場所で Smart Inbox を作成できます。

- 「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクション
- 「[ジョブ]」タブ - 「Publisher Express」セクション
- 「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクション



メモ

- 3つある方法のうちどの方法を使って作成するかによって、Smart Inbox の動作は異なる場合があります。
- ユーザー認証を有効にした場合、Smart Inbox 権限は異なる場合があります。

「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクションで Smart Inbox を作成



メモ

- 「Smart Inbox」セクションで作成された Smart Inboxes は、空の時は個人ブラウザにのみ表示されます。特定の Smart Inbox にジョブがある場合、Smart Inbox は操作パネルおよび他のブラウザセッションにも表示されるようになります。
- 「Smart Inbox」セクションで作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox が空になると、操作パネルおよび非個人ブラウザセッションでは表示されなくなります。

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを選択します。
2.	[Smart Inbox を開きます] をクリックします。
3.	空白のフィールドをクリックすると、ドロップダウン リストが開き、システムで使用可能な Smart Inboxes が表示されます。
4.	新しい Smart Inbox の名前を入力して <Enter> を押すか、リストから対象の Smart Inbox を選択します。
5.	Smart Inbox セクションに Smart Inbox が表示されるようになります。

「[ジョブ]」タブ - 「Publisher Express」セクションで Smart Inbox を作成

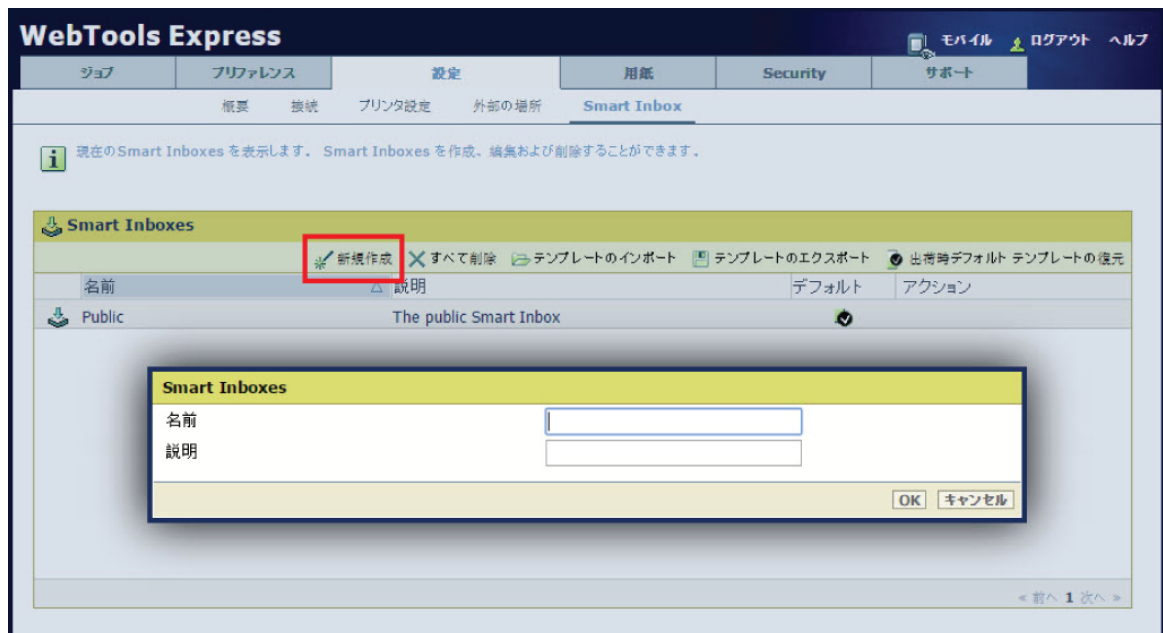


メモ

- この手順では、Smart Inbox を作成するだけでなく、ジョブがプリンタに送信されます。
- Publisher Express で作成された Smart Inboxes は、空の時は個人ブラウザにのみ表示されます。特定の Smart Inbox にジョブがある場合、Smart Inbox は操作パネルおよび他のブラウザセッションにも表示されるようになります。
- 「Publisher Express」で作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox が空になると、操作パネルおよび非個人ブラウザセッションでは表示されなくなります。

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを選択します。
2.	Publisher Express セクションで [新しいジョブの作成] をクリックします。
3.	[ワークフロー] セクションで Smart Inbox フィールドをクリックします。1 つまたは複数のジョブが含まれた Smart Inboxes が表示されたドロップダウン リストが開きます。
4.	新しい Smart Inbox の名前を入力して、<Enter> を押します。
5.	「[OK]」をクリックすると、新しい Smart Inbox を経由してプリント ジョブをプリンタに送信します。
6.	Smart Inbox が「Smart Inbox」セクションおよび操作パネルに表示されるようになります。

「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクションで Smart Inbox を作成



メモ

「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクションで作成された Smart Inboxes は永続的ではありません。Smart Inbox は空の場合でも、操作パネル上およびブラウザ セッション中で使用可能になります。

手順	アクション
1.	[設定] - [Smart Inbox] タブを開きます。
2.	[新規作成] をクリックします。ウィンドウが開きます。
3.	ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。この名前はユーザ パネルに表示されます。
4.	「[説明]」を入力します
5.	「OK」をクリックして確定します。

Smart Inbox を閉じるか削除します。

はじめに

「WebTools Express」で、Smart Inbox を閉じたり削除したりすることができます。

- 「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクション
- 「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクション



メモ

- Smart Inbox を削除した場合、Smart Inbox のみが表示されなくなり、スマート インボックス内のジョブは削除されません。Smart Inbox からジョブを完全に削除するには、Smart Inbox でジョブを選択して [削除] をクリックします。
- デフォルトの「公開」の Smart Inbox は削除できず、常に表示されます。

「[ジョブ]」タブ - 「Smart Inbox」セクションで Smart Inbox を閉じます

手順	アクション
1.	[ジョブ] タブを開きます。
2.	[Smart Inbox] バーの右側で [X] ボタンをクリックします。

「[設定]」タブ - 「[Smart Inbox]」セクションで Smart Inbox を削除します

手順	アクション
1.	[設定] - [Smart Inbox] タブを開きます。
2.	削除する Smart Inbox を選択します。
3.	[アクション] の下の右側で、X をクリックします。 すべての Smart Inboxes を一度に削除するには、右上角で [すべて削除] をクリックします。

ジョブ管理設定の構成

はじめに

ジョブまたは Smart Inboxes に対して実行できる権限やアクションを管理したい場合に、[ジョブ管理] 設定を構成することができます。

注意：

- 個々の設定名の上をクリックすると、各設定の完全な説明を読むことができます。
- [ユーザー認証] 設定を有効にした場合、権限および使用できる設定が異なる場合があります。詳細については、[ユーザー認証の有効化（86 ページ）](#) を参照してください。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. 「[ジョブ管理]」セクションで「[編集]」をクリックするか、特定の設定を選択します。
3. 値を変更し、好みの設定を作成します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ネットワークおよびセキュリティ設定の構成

WebTools Express のネットワーク設定の構成

はじめに

一部のネットワーク設定は、システムのインストール時に構成されます。より多くのネットワーク設定を定義したい場合は、[設定] タブで行うことができます。



メモ

ネットワーク設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE Connectivity Manual for Windows を参照してください。

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [ネットワーク アダプタ] セクションの右上隅の [編集]、または [ネットワーク アダプタ：IPv4] セクション、あるいは [ネットワーク アダプタ：IPv6] セクションをクリックします。ここでは、ひとつのウィンドウでグループのすべての設定を編集することができます。
または

3. ひとつの設定のみを編集するには、リスト内でひとつの設定をクリックします。



メモ

ひとつの設定を編集すると、ツールチップに設定についての簡単な説明が表示されます。

4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

通知用メールサーバーの設定

はじめに

E メールアドレスは、セキュリティアップデートが利用可能になったときに通知 E メールを送信するために使用されます。

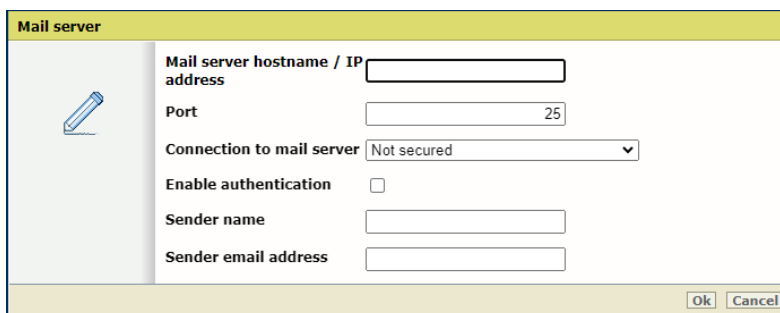
始める前に

着手する前に、以下の情報を収集してください。情報が手許に無い場合、IT 管理者にお問い合わせください。

- メールサーバーのホスト名または IP アドレス
- メールサーバーに使用しているポート
- メールサーバーの接続タイプ：セキュリティの有無
- メール受信に使用するメールアドレス
- 認証は必要ですか？はい」の場合、どのようなユーザー名とパスワードを設定する必要がありますか？

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [メール サーバー] セクションの [編集] をクリックします。
ウィンドウが開きます。

A screenshot of a 'Mail server' configuration dialog box. The dialog has a title bar 'Mail server' and a pencil icon on the left. It contains several input fields: 'Mail server hostname / IP address' (text box), 'Port' (text box with '25' entered), 'Connection to mail server' (dropdown menu with 'Not secured' selected), 'Enable authentication' (checkbox, unchecked), 'Sender name' (text box), and 'Sender email address' (text box). At the bottom right are 'Ok' and 'Cancel' buttons.

3. [メール サーバーのホスト名 / IP アドレス] フィールドにメールサーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。
4. 必要に応じて [ポート] フィールドのポート番号を変更します。通常、SMTP プロトコルは TCP 25 です。
5. [メール サーバーへの接続] フィールドで接続のタイプを選択します。
接続のタイプが不明の場合、IT 管理者にお問い合わせください。
6. メールサーバーとの認証を有効にするには、[認証を有効にする] を選択します。
7. メールの送信者として表示される名前を [送信者名] フィールドに入力します。
8. 送信者の電子メールとして表示される電子メールアドレスを [送信者メールアドレス] フィールドに入力します。多くの場合、認証が有効になっている場合、「送信者メールアドレス」は「ユーザー名」と同じか、「ユーザー名」のメールアドレスでなければなりません。
9. [OK] をクリックします。

Mozilla Firefox 用のセキュリティ設定を設定する

はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



メモ

すべてのクッキーをブロックしないでください。ブロック可能なものは、クロスサイト、ソーシャルメディア トラッカー、見ていないサイトからのクッキー、およびすべてのサードパーティ クッキーです。

手順

手順	アクション	値
1	Firefox の選択 / オプション / プライバシー & セキュリティ	
2	Enhanced Tracking Protection (強化されたトラッキング防止機能：標準、厳格、カスタム) 「カスタム」の場合、クッキーのブロックは「すべてのクッキー」に設定されてはいけません。	

Google Chrome 用のセキュリティ設定を設定する

はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



メモ

Cookie を有効にする必要があります (サードパーティ クッキーのブロックは許可されています)。

手順

手順	処置	値
1	Chrome の選択 / 設定 / プライバシー & セキュリティ	
2	サイトの設定	
	第三者クッキー	クッキーデータの保存と読み込みがサイトで許可 (サードパーティ クッキーのブロックは許可されています)
	JavaScript	JavaScript の使用を許可します
	画像	サイトでの画像表示を許可します

Microsoft Edge 用のセキュリティ設定を設定する

はじめに

インターネット ブラウザを使用して、WebTools Express のホームページを開くことができます。使用するインターネット ブラウザによっては、以下に示すように、ブラウザ セキュリティ設定を「低」に設定します。



メモ

すべてのクッキーをブロックしないでください。サードパーティ クッキーのみ、ブロックすることができます。

手順

手順	処置	値
1	Edge/設定/Cookie とサイトのアクセス許可を選択します。	
2	保存したカラーとデータ / クッキーとサイトデータ サイトによるクッキーデータの保存と読み取りを許可します。サードパーティ クッキーのみ、ブロックすることができます。	

リンク速度およびデュプレックス モードの設定

はじめに

WebTools Express を使用して、ネットワーク アダプタの送信速度およびデュプレックス モードを設定します。

始める前に



メモ

ネットワーク カードの種類によって、選択可能な値のリストが異なります。

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [ネットワーク アダプタ] セクションの [編集] をクリックするか、[リンク速度と双方向モード] 設定をクリックします。
3. 値を選択します。[自動検出] がデフォルトです。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ユーザー認証の有効化

はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にできます。

ユーザー認証を有効にすると、

- ユーザーはシステムにアクセスする際に認証を受ける必要があります。
- ユーザーが見ることができるのは自分のジョブだけです。
- コントローラ上にローカルに保存されたスキャン済みのファイルは、取得できなくなります。
- 「[ダイレクト プリント]」が無効化されます。
- さまざまな [ジョブ管理] 設定が無効化されます。
- さまざまな Smart Inbox 権限が無効化されます。
- さまざまな [その他のネットワーク インターフェース] 設定が無効化されます。



メモ

ユーザー認証についての詳細および無効化された設定の完全なリストについては、plotWAVE-colorWAVE『Systems Security』マニュアルを参照してください。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. 「[ユーザー アクセス モード]」 セクションで「[ユーザー認証]」設定をクリックします。
3. 「[ユーザー認証]」設定を変更して、認証を必須にします。
 - [ユーザー名とパスワード]: ユーザーはシステムにアクセスする際にドメインを選択し、資格情報 (ユーザー名およびパスワード) を入力する必要があります



メモ

- 「Domains (ドメイン)」タブで少なくとも 1 つのドメインを構成する必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
- ユーザー認証を「[ユーザー名とパスワード]」に設定し、ドメインを構成した場合、IT 部門により可能であれば、「[Home フォルダ]」も外部の場所として使用可能になります。
- [スマート カード]: ユーザーはシステムにアクセスする際にスマート カードを使用する必要があります。



メモ

- 「Trusted certificates (信頼される認証)」タブで少なくとも 1 つのルート認証をアップロードする必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
- [非接触型カード]: ユーザーはシステムにアクセスする際に非接触型カードを使用する必要があります。



メモ

- 「Domains (ドメイン)」タブで少なくとも 1 つのドメインを構成する必要があります。詳細は、セキュリティ マニュアルを参照してください。
 - [ユーザー名およびパスワード、またはスマートカード]: ユーザーはシステムにアクセスする際にユーザー名およびパスワードを入力するか、またはスマート カードを使用する必要があります。
 - [ユーザー名およびパスワード、または非接触型カード]: ユーザーはシステムにアクセスする際にユーザー名およびパスワードを入力するか、または非接触型カードを使用する必要があります。
4. 「OK」をクリックして確定します。

アクセスコントロールの有効化

はじめに

プリンタへのアクセスをコントロールする場合、WebTools Express でアクセス コントロールを有効にする必要があります。アクセス コントロールを有効にすると、お客様のネットワークを介したプリンタとの通信が許可される、最大 5 つのホストを選択することができます。このホストの数については、柔軟な構成が可能です。

各ホストに対して、このホストからシステムへの通信を IPsec. によって暗号化する必要があるのかどうかを判断することができます。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [アクセス コントロール] セクションで [アクセス コントロール] 設定をクリックします。
3. [アクセス コントロール] 設定を [無効] から [有効] に変更します ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. 「OK」をクリックして確定します。

IPsec を有効にする

はじめに

IPsec により暗号化するためのプリンタとの通信が必要な場合、IPsec を有効にします。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [アクセス コントロール] セクションで、[IPsec] 設定をクリックします。
3. [IPsec] 設定を [無効] から [有効] へと変更します。ボックスをチェックして、設定を有効にします。
4. 「OK」をクリックして確定します。

アクセスコントロールと IPsec の設定

はじめに

アクセスコントロールが有効な場合、アクセスコントロールの設定を編集することができます。

[アクセスコントロール] と IPsec の設定

[セキュリティ] - [設定] - [アクセスコントロール] で、5つのステーションのそれぞれに以下の設定を設定できます。

設定	説明
[アクセスコントロールステーション 1]	このホストのプリンタとの通信を有効または無効にします。
[アクセスコントロールステーション 1:IPv4 アドレス]	ホストの IPv4 アドレスでプリンタと通信ができます。 この設定は、Network-adapter>IP-type が IPv4 に設定されている場合に表示されます。
[アクセスコントロールステーション 1:IPv6 アドレス]	ホストの IPv6 アドレスでプリンタと通信ができます。 この設定は、Network-adapter>IP-type が IPv6 に設定されている場合に表示されます。
[IPsec ステーション 1]	IPsec の有効化または無効化。IPsec はセキュリティ プロトコルであり、ホストとプリンタの間の通信を暗号化します。
[IPsec ステーション 1:事前共有キー]	このホストの暗号化キーが IPsec を介して接続されています。空の場合、デフォルトの共有鍵が使用されます。

IPsec の場合、以下の設定を指定できます。

設定	説明
[IPsec デフォルトの事前共有キー]	これは IPsec を介して接続されたホストの暗号化のためのデフォルト キーです。このキーは、事前共有キーが特定されていないすべてのステーションを保留にします。
[IPsec 認証方法]	IPsec 認証タイプの選択: 「[事前共有キー]」、「[証明書]」または「[事前共有キーによる証明書]」。
[IPsec 証明書の署名アルゴリズム]	IPsec 署名アルゴリズムの選択: RSA、ECDSA P256 または ECDSA P384。 この設定は、IPsec 認証方法が証明書も使用する場合にのみ表示されます。
[IPsec 証明書のタイプ]	証明書タイプの選択: ルートまたは中間。 この設定は、IPsec 認証方法が証明書も使用する場合にのみ表示されます。
[IPsec 証明書]	編集不可。デフォルトとして「証明書がない」、またはある場合、証明書の共通名。 この設定は、IPsec 認証方法が証明書も使用する場合にのみ表示されます。



メモ

これらの設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE Systems Security マニュアルを参照してください。

電子断裁機能の有効化または無効化

はじめに

電子断裁機能により、システムからジョブを安全に消去することができます。これにより、削除済みのジョブを不正に復旧することができなくなります。電子断裁機能が有効の場合、電子断裁アルゴリズムを選択することができます。WebTools Express で電子断裁機能を有効にすることができます。工場出荷時のデフォルトでは、電子断裁機能は無効になっています。



メモ

これらの設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE『Systems Security』マニュアルを参照してください。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] セクションで [電子断裁] フィールドをクリックします。
3. [有効] または [無効] を選択します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。



メモ

電子断裁が有効の場合、ジョブの処理にかかる時間が長くなる場合があります。

4. 確認して、「OK」をクリックします。

電子断裁アルゴリズムの選択

はじめに

電子断裁機能により、システムからジョブを安全に消去することができます。これにより、削除済みのジョブに不正にアクセスすることができなくなります。

次のいずれかのアルゴリズムを選択することができます。

- [Gutmann]。
システム上のすべてのジョブが 35 回の上書きパスで消去されます。
- [DoD 5220.22-M]。
システム上のすべてのジョブが 3 回の上書きパスで消去されます。
- [カスタム] では、上書きパスを手動で定義することができます。

工場出荷時のデフォルト設定は [DoD 5220.22-M] です。



メモ

セキュリティ ポリシーの要件である場合にのみ、上書きパスの回数に 1 を超える数字を設定します。パスの回数を増やすと、パフォーマンスに影響することがあります。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] セクションの右上角の [編集] をクリックします。
3. [電子断裁アルゴリズム] に適した方法を選択します。
4. 「OK」をクリックして確定します。

上書きパスの回数の指定

はじめに

e-シュレッダー機能は、システムからジョブを消去することができます。これにより、権限のない人が削除されたジョブにアクセスすることを防ぎます。必要な上書きパスの回数を手動で入力することができます。1 ～ 35 の任意の数字を入力することができます。工場出荷時のデフォルトは 1 です。



メモ

- 上書きパスの回数を 1 より多く設定するのは、セキュリティー・ポリシーで義務付けられている場合だけにしてください。パスの回数を増やすと、パフォーマンスに影響することがあります。
- パスの回数が多くなればなるほど時間がかかることに注意してください。

始める前に

[電子断裁] が有効化されていることを確認します。詳細については、「[電子断裁機能の有効化または無効化 \(90 ページ\)](#)」を参照してください。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [電子断裁] で [電子断裁アルゴリズム] をクリックして [カスタム] を選択します。
3. [電子断裁] で [電子断裁カスタム パス数] をクリックします。
4. 目的の上書きパスの回数を入力します。
5. 「OK」 をクリックして確定します。

リモート セキュリティ

はじめに

デフォルトでは、HTTPS の使用に提供される最初の証明書は、自身が署名した証明書です。

完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。WebTools Express では、ユーザー自身が証明書リクエストを生成したり、その後認証機関から受け取った CA 署名の証明書のインポートをすることができます。

証明書を使用する際は、プリントを送信するクライアントのステーションがコントローラの ID をチェックできます。

リモート セキュリティ: 認証

- デフォルトでは、Canon は Canon 自身が署名した証明書を提供します。この証明書は、クライアントとコントローラの間においてプリント データの暗号化を提供します。これは簡単に使用できます。この自己署名された証明書は認証機関によって署名されていないため、HTTPS プロトコルを初めて使用する際に、Web ブラウザに「証明書エラー」メッセージが表示されます。
- お客様のセキュリティ ポリシーによって推奨される場合、管理者は認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。これを実行する方法の詳細については、[証明書リクエストを生成する \(94 ページ\)](#) および [CA 署名の証明書のインポート: ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。 \(99 ページ\)](#) を参照してください。

証明書リクエストを生成する

はじめに

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書リクエストを生成するには、次の手順を実行してください。

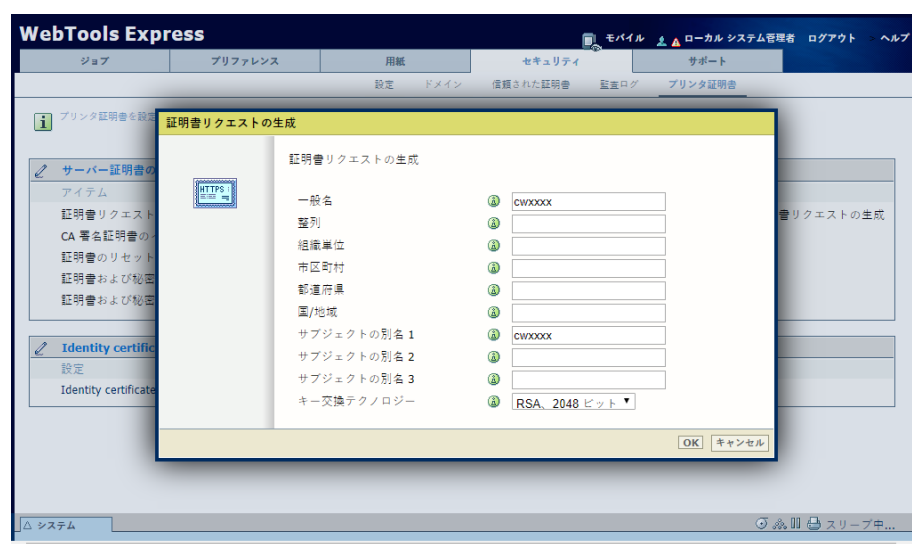


メモ

まず最初に、証明書リクエストにどの値が必要なのか、IT 部門に確認してください。これらの設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE『Systems Security』マニュアルを参照してください。

手順

1. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
2. [証明書リクエストの生成] をクリックします。ウィンドウが開きます。



3. 必要な設定を行います。完全修飾ドメイン名または IP アドレスおよび追加情報を入力します。
4. [OK] をクリックして保存します。
Web サーバーが証明書リクエストを生成します。リクエストの内容が表示されます (プレーン テキスト)。
例 (偽のリクエスト):
-----BEGIN NEW CERTIFICATE REQUEST-----
MIIBvDCCASQAwwfDELMakGA1UEBMCRIIxDDAKBgNVBAgTA0IERjEQMA4GA1UEBxMHQ1JFVEVJ
TDEBEGA1UEChMKMT2NIIFBMVCBTQTEMMAoGA1UECxMDU05TMSowKAYDVQQDEyF0ZHM3MDAtNz
Qw
LnNucy5vY2VjcmVOWlsLm9jZS5uZWgZ8wDQYJKoZIhvcNAQEBBQADgY0AMIGJAoGBAJ2NKQMd
HjiDZ1khzTJTORxHqjKl3AtE3PXqRsiHouTH5JTceYtaBjCnxCJ4pGKY5iKN8KJiJuZG8PHxY7o
W/+zpvxN2VtX7TcyTAvyCThUwL+cqo75tvODo5HMCUa2sLdl8GO9WMLpgZkxH5KzliO+Lcl4
yQbqhENynywSOC2ObXCq3yksF74+XIO0swhoA2yfDp4T+LuF3wxys8IUH3ZhhkOYg==
-----END NEW CERTIFICATE REQUEST-----
5. [ファイルへ保存] をクリックしてリクエストの内容を .csr ファイル内に保存します (デフォルト名は 'req.csr')。

6. このリクエストの内容を認証機関に送信します。

CA 署名の証明書のインポート: ルート証明書のインポート

はじめに

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

CA 署名の証明書をインポートするには、次を実行してください。

- **ルート証明書をインポート。**
- 中間証明書のインポート
- CA 署名の証明書のインポート
- ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。



メモ

これらの設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE『Systems Security』マニュアルを参照してください。

手順

1. WebTools Express を開きます
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書タイプで [ルート証明書] を選択します。
5. ルート証明書ファイルを参照し、「開く」をクリックします。



メモ

ルート証明書は、Web サーバー証明書リスト内にすでに存在している場合があります。

6. 検証して、インポートを確定します。
7. メッセージ [証明書は正常にインポートされました。] がポップアップしたら、[中間証明書]のインポートに進みます。
8. [OK] をクリックして保存します。

CA 署名の証明書のインポート: 中間証明書のインポート

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下が必要となります。

- ルート証明書のインポート
- **中間証明書をインポートします。**
- CA 署名の証明書のインポート
- ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

手順

1. WebTools Express を開きます。
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書タイプで [中間証明書] を選択します。
5. 中間証明書ファイルを参照し、[Open (開く)] をクリックします。
6. メッセージ [証明書は正常にインポートされました。] が開いたら、メインページに戻って [CA 署名証明書] をインポートします。

CA 署名の証明書のインポート

HTTPS、802.1X または IPsec を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下が必要となります。

- ルート証明書のインポート
- 中間証明書のインポート
- **CA 署名の証明書のインポート**
- ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

手順

1. WebTools Express を開きます。
2. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
3. [CA 署名証明書のインポート] をクリックします。ウィンドウが開きます。
4. 証明書タイプで [CA 署名証明書] を選択します。
5. [Yes (はい)] を選択して、Java ルート証明書に対する証明書を有効にし、[Open (開く)] をクリックします。
6. メッセージ [証明書は正常にインポートされました。] が表示されたら、コントローラを再起動します。
これで証明書はサーバーにインストールされました。
ルート証明書を確認し、(必要であれば) ワークステーションのウェブブラウザにもインポートします。
これにより、ワークステーションとサーバーの間の全データ ワークフローが安全になります。

CA 署名の証明書のインポート: ユーザー・ワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

HTTPS を介して完全に信頼された承認を実現するには、認証機関によって提供される証明書をリクエストしてインポートできます (CA 署名の証明書)。

証明書をインポートする場合、以下の手順に従う必要があります。

- 中間証明書のインポート
- 中間証明書のインポート
- CA 署名の証明書のインポート
- ユーザーワークステーションでルート証明書を確認し、インポートします。

すべての手順を完了し、証明書を正常にインポートします。

手順

1. 各ワークステーションで、Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザの「証明書」オプションを開きます。
Edge の場合: 「設定」 > 「プライバシー、検索、およびサービス」 > 「証明書の管理」に進みます。
3. ルート証明書が「信頼されたルート証明機関」リストにすでに表示されているかどうかを確認します。
4. リストにない場合は、ルート証明書をインポートします。

証明書認証に関する情報を見つける

はじめに

証明書がアップロードされたら、証明書の詳細を表示することができます。

手順

1. [セキュリティ] - [プリンタ証明書] タブを開きます。
証明書がアップロードされたら、以下の詳細を [証明書認証] セクションで見ることができます。

設定	説明
[証明書認証の存在]	証明書認証ファイルがコントローラ上に存在するかどうかを表示
[有効開始日]	有効期間の開始日を表示
[有効終了日]	有効期間の終了日を表示
[HTTPS に対して有効]	認証機関による HTTPS のために署名済み
[IPsec に対して有効]	認証機関による IPsec のために署名済み
[共通名]	プリンタのコモンネーム (FQDN、ホスト名、または IP アドレス)
[キー交換テクノロジー]	使用されている署名アルゴリズム

プリセットおよびスタンプの指定

プリセットについて知っておくべきこと

はじめに

プリセットは事前定義された設定で、ユーザー パネルで選択するとプリントまたはコピー ジョブを簡単に実行できます。プリセットの概念は、グリーン ボタン アプローチをサポートしています。デフォルトのプリセットが操作パネルで自動的に選択されるため、グリーン ボタンを押すだけで、事前定義された設定でジョブを開始できます。

ユーザ パネルのプリセット

ユーザー パネルでコピー タイルをタップすると、プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。プリント タイルをタップして、リストに表示されたジョブの設定をタップすると、プリントのプリセットが表示されます。

プリセットのカテゴリごとに、デフォルトのプリセットがプリセット タイルとして表示されます。デフォルトのタイルをタップすると、他の利用可能なプリセットが表示されます。

WebTools Express でのプリセットの設定

「WebTools Express」では、プリントまたはコピーのプリセットの設定を指定できます。設定は一回行うだけで、ユーザー パネルにプリセットとして表示されます。

プリセット	説明
デフォルトのプリセット	デフォルトのプリセットは、グリーン ボタン アプローチをサポートしています。設定を指定しない場合、プリンタはプリントまたはコピー ジョブにデフォルトのプリセットを使用します。WebTools Express でデフォルトのプリセットを設定できます。
カスタム プリセット	カスタマイズした設定を使用したい場合は、WebTools Express でカスタム プリセットを設定できます。操作パネルでカスタム プリセットを利用可能にするか、またはデフォルトのプリセットに設定します。

デフォルトのコピー プリセットの設定

はじめに

プリセットを使用して、コピー ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

コピーは 4 つのプリセット カテゴリを備えています。[用紙]、[レイアウト]、[イメージ]、および [仕上げ] です。それぞれのカテゴリに対して、WebTools Express で 1 つのデフォルト プリセットを設定できます。デフォルト プリセットは、ユーザ パネルでグリーンボタンを押すと、自動的に使用されます。



メモ

ツールチップでは、設定に関する簡単な説明をいつでも検索できます。

手順

1. [プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [操作パネル構成:コピー用のデフォルトのプリセット] で、たとえば [デフォルトのレイアウト プリセット] など、変更するプリセットのカテゴリを選択します。
3. たとえば [定型ハーフ サイズ] など、デフォルトのプリセットとして使用する設定を選択します。カスタム プリセットをデフォルトにしたい場合は、[カスタム] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」 ボタンを押します。

カスタムのコピー プリセットの構成

はじめに

プリセットを使用して、コピー ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

デフォルト プリセット以外の事前定義された設定を使用する場合、WebTools Express でカスタム プリセットを構成できます。プリセット カテゴリごとに 1 つのカスタム プリセットを構成できます。[用紙]、[レイアウト]、または [イメージ] です。カスタム プリセットはユーザ パネルで使用可能になり、デフォルト プリセットとして設定できるようになります。

手順

1. [プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. たとえば [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] など、カスタムのプリセットを含めるプリセットのカテゴリを選択して [編集] をクリックします。
3. [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] 設定の隣にあるボックスをチェックしてプリセットを有効化し、ユーザ パネルで使用可能にします。
4. ユーザ パネルでプリセットに使用される名前および説明を入力します。
5. カスタムのプリセットに使用する設定を選択します。たとえば、[原稿の種類] を [白黒反転原稿] に設定し、[背景補正機能] を [オン] に設定することを選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」ボタンを押します。カスタム プリセットをデフォルト プリセットにしたい場合は、「[デフォルトのコピー プリセットの設定 \(102 ページ\)](#)」の手順に従います。

デフォルトのプリント プリセットの設定

はじめに

プリセットを使用して、USB または外部の場所からのプリント ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

プリントは 4 つのプリセット カテゴリを備えています。[用紙]、[レイアウト]、[イメージ]、および [仕上げ] です。それぞれのカテゴリに対して、WebTools Express で 1 つのデフォルト プリセットを設定できます。デフォルト プリセットは、ユーザ パネルでグリーンボタンを押すと、自動的に使用されます。



メモ

ツールチップでは、設定に関する簡単な説明をいつでも検索できます。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [操作パネル構成:プリント用のデフォルトのプリセット] で、たとえば [デフォルトのレイアウト プリセット] など、変更するプリセットのカテゴリを選択します。
3. たとえば [定型ハーフ サイズ] など、デフォルトのプリセットとして使用する設定を選択します。
[カスタム] を選択してカスタムのプリセットをデフォルトに設定します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」 ボタンを押します。

カスタムのプリント プリセットの構成

はじめに

プリセットを使用して、プリント ジョブに必要な設定を事前定義することができます。

デフォルト プリセット以外の事前定義された設定を使用する場合、WebTools Express でカスタム プリセットを構成できます。プリセット カテゴリごとに 1 つのカスタム プリセットを構成できます。[用紙]、[レイアウト]、または [イメージ] です。カスタム プリセットはユーザ パネルで使用可能になり、デフォルト プリセットとして設定できるようになります。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. たとえば [プリント用のカスタムのイメージ プリセット] など、カスタムのプリセットを含めるプリセットのカテゴリを選択して [編集] をクリックします。
3. [プリント用のカスタムのイメージ プリセット] 設定の隣にあるボックスをチェックしてプリセットを有効化し、ユーザ パネルで使用可能にします。
4. ユーザ パネルでプリセットに使用される名前および説明を入力します。
5. カスタムのプリセットに使用する設定を選択します。たとえば、[ミラー] を [オン] に設定することを選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

終わった後に

ユーザ パネルで自分のプリセットが有効かどうかを確認するには、ユーザ パネルのホーム画面で「Home (ホーム)」ボタンを押します。カスタム プリセットをデフォルト プリセットにしたい場合は、「[デフォルトのプリント プリセットの設定 \(104 ページ\)](#)」の手順に従います。

操作パネルでのカスタムのプリセットの使用

はじめに

カスタムのプリセットを作成する場合、プリセットを操作パネルで使用できるように設定できます。

始める前に

最初カスタムのプリセットを作成します。詳細については、「[カスタムのコピー プリセットの作成 \(103 ページ\)](#)」または「[カスタムのプリント プリセットの作成 \(105 ページ\)](#)」を参照してください。

手順

1. [プリファレンス] タブを開きます。
2. カスタムのプリセットに応じて、「[コピー ジョブのデフォルト]」または「[プリント ジョブのデフォルト]」タブを選択します。
3. 目的のカスタム プリセット カテゴリから、カスタムのプリセット設定を選択します。
たとえば、[コピー用のカスタムのイメージ プリセット] から [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] 設定を選択します。
4. ボックスをオンにして設定を有効にし、[OK] をクリックします。
カスタム プリセットが操作パネルに表示され、ローカルから選択できるようになりました。

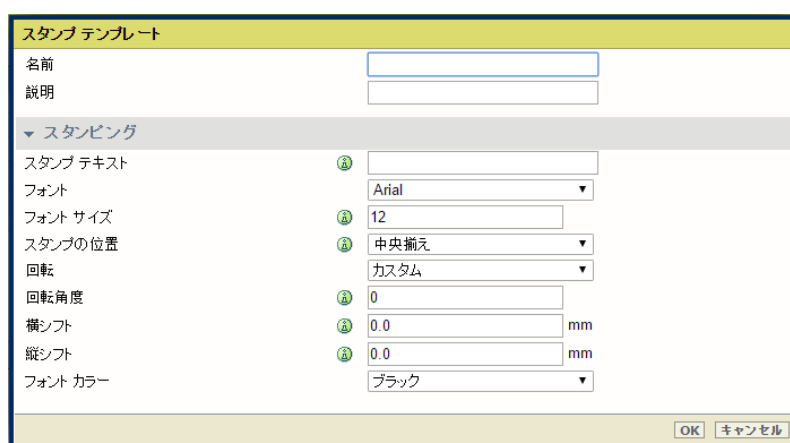
スタンプの作成

はじめに

WebTools Express の [コピー ジョブのデフォルト] のカスタム プリセット セクションで、スタンプ機能を有効にすることができます。[スタンピング] タブで、独自の事前定義されたスタンプを作成できます。

手順

1. [プリファレンス] - [スタンピング] タブを開きます。
2. 右上隅の [新規作成] をクリックします。



3. ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。
4. スタンプの [説明] を入力します。
5. スタンプに表示される [スタンプ テキスト] を入力します。テキストを入力する場合、[フォント] および [フォント サイズ] も選択します。
6. 原稿上で [スタンプの位置] を選択します。
7. 原稿上でスタンプを回転させる場合、[回転] および [回転角度] を選択します。
8. [横シフト] および [縦シフト] をミリメートル単位で入力し、ステップ 5 で選択した位置を指定します。
9. [フォント カラー] を選択します。



メモ

大部分の設定はオプションであるため、不要な場合はすべての設定を入力する必要はありません。

結果

スタンプが作成されます。[プリファレンス] - [コピー ジョブのデフォルト] - [コピー用のカスタムのイメージ プリセット] - [スタンピング] でスタンプを有効化して、ユーザ パネルで使えるようになります。

詳細については、「[カスタムのコピー プリセットの定義 \(103 ページ\)](#)」を参照してください。

テンプレートの設定

スキャン テンプレート

はじめに

テンプレートとは、自分で構成できる事前定義された設定のグループです。ユーザー パネルでテンプレートを選択すると、最適化された設定で簡単にジョブを送信できます。

[プリファレンス] タブの WebTools Express で、スキャンに関するテンプレートを作成できます。さまざまなテンプレートを作成し、有効または無効にして、そのうちの 1 つをデフォルトとして選択できます。

一般的テンプレート操作

テンプレートに対して一般的に実行できる操作がいくつかあります。次の操作を実行できます:

- [新規テンプレートの作成 \(109 ページ\)](#)
- [すべてのテンプレートの削除 \(110 ページ\)](#)
- [テンプレートのエクスポート \(111 ページ\)](#)
- [テンプレートのインポート \(112 ページ\)](#)
- [テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元 \(113 ページ\)](#)
- [スキャン テンプレートを有効または無効にする \(114 ページ\)](#)

テンプレートごとの操作

この次に、テンプレートごとに操作を実行できます。 リスト上のテンプレートにマウス ポインターを合わせると、使用可能な操作が表示されます。

アイコン	説明
	「[テンプレートの編集]」、設定または保存先を変更する 工場インストールされたスキャン テンプレートを変更することもできます。
	「[テンプレートのコピー]」、新しいテンプレートを作成する
	「[テンプレートの削除]」、特定の 1 つのテンプレートを削除する  メモ • 工場インストールされたスキャン テンプレートを削除した場合、工場出荷時のデフォルト設定を復元することで回復できます。詳細については、工場出荷時のデフォルトを復元 (65 ページ) を参照してください。 • 一部の保存先 (外部の場所と Smart Inbox) は、スキャンテンプレートでスキャン保存先として設定されている場合、削除できません。
	「[このテンプレートをデフォルト テンプレートとして設定します]」、選択されたテンプレートをデフォルトに設定する

新規テンプレートの作成

はじめに

「WebTools Express」で新しいテンプレートを作成します。



メモ

- 構成によって、使用可能な設定の数が異なる場合があります。
- 選択した内容によって、表示される設定の数が異なる場合があります。
- ユーザーパネル上のスキャンテンプレートはアルファベット順に並んでいますので、ご注意ください。テンプレートの配列を変更したい場合は、名前の前の番号 (01、02、03 など) の昇順に配列することをお勧めします。
- 操作パネルで「Home (ホーム)」ボタンをクリックし、スキャンテンプレートを更新します。

手順

1. スキャンテンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[新規作成]」をクリックします。
3. ユーザーが認識可能な [名前] を入力します。
4. 使用される設定の説明として [説明] を入力します。
5. 目的の設定を選択します。テンプレートエディタでは、すべての設定について、簡単な説明を表示するツールチップを使用することができます。
6. [OK] をクリックしてテンプレートを保存するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

すべてのテンプレートの削除

はじめに

「WebTools Express」を使用して、すべてのテンプレートを一度に削除することができます。

手順

1. スキャン テンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[すべて削除]」をクリックします。
3. 画面にメッセージ [すべてのテンプレートを削除しますか?] が表示されます。
4. [OK] をクリックしてすべてのテンプレートを削除するか、[キャンセル] をクリックして削除をキャンセルします。

テンプレートのエクスポート

はじめに

WebTools Express を使用して、テンプレートをエクスポートすることができます。

エクスポートは、zip ファイルとして保存されます。zip ファイルには、使用可能なすべてのテンプレートが含まれます。

手順

1. スキャン テンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[すべてエクスポート]」をクリックします。
3. [保存] をクリックしてエクスポートを zip ファイルとして保存するか、[キャンセル] をクリックしてエクスポートを中止します。

テンプレートのインポート

はじめに

WebTools Express を使用して、テンプレートをインポートすることができます。

以前に [テンプレートのエクスポート] 手順で作成した、テンプレートを含む zip ファイルを使用します。

手順

1. スキャン テンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」タブを選択します。
2. 右側の「[インポート]」をクリックします。
3. 既存のテンプレートを上書きするには、[既存のテンプレートを上書きする] チェックボックスを選択します。チェックボックスを選択しない場合、重複するテンプレートをインポートすると連番が付けられます。
4. 「参照」をクリックして、[zip ファイルの場所を選択します]。
5. [OK] をクリックしてすべてのテンプレートをインポートするか、[キャンセル] をクリックしてインポートをキャンセルします。

テンプレートの工場出荷時のデフォルトの復元

はじめに

WebTools Express を使用して、すべてのテンプレートの工場出荷時のデフォルトを復元することができます。

カスタム テンプレートは変更されません。

手順

1. スキャン テンプレートには、「WebTools Express」で「[プリファレンス]」 - 「[スキャン]」 タブを選択します。
2. 右側の「[工場出荷時のデフォルト値の復元]」をクリックします。
3. 画面にメッセージ [出荷時デフォルト テンプレートをすべて復元しますか?] が表示されます。
4. [OK] をクリックしてテンプレートを復元するか、[キャンセル] をクリックして復元を中止します。

スキャンテンプレートを有効または無効にする

はじめに

スキャンテンプレートを有効または無効にできます。テンプレートを有効にすると、ユーザーパネルで使用可能になります。

手順

1. 「[プリファレンス]」 - 「Scan (スキャン)」タブを開きます。
2. 「Actions (アクション)」で、優先テンプレートの隣にある [テンプレートの編集] アイコンをクリックします。テンプレートウィンドウが開きます。
3. 「[ファイル]」の下で、「[ユーザパネルに表示]」設定を「[はい]」または「[いいえ]」に設定します。
4. 「OK」をクリックして、入力内容を確認します。

結果

「[はい]」を選択すると、「Smart Access」の操作パネルでテンプレートが使用可能になります。



メモ

デフォルトのスキャンテンプレートは、無効になっている場合でも、常に操作パネルの Smart Access で利用できます。

場所の設定

場所の設定

はじめに

ユーザー パネルには、スキャン先とプリント元の場所のリストがあります。

格納を目的としてこの場所にスキャン済みファイルを送信するか、この場所にファイルを保存してそれらをプリンタに送信します。

外部の場所は、WebTools Express の [設定] - [外部の場所] タブで定義できます。

場所の種類

様々な場所の種類をスキャン先およびプリント元として設定できます。

場所の種類	場所の種類の説明
Smart Inbox	この場所を選択する場合、個人の Smart Inbox からプリントすることができます。あるいは、選択した Smart Inbox にスキャン済みファイルが送信されます。
[USB]	この場所を選択する場合、ユーザー パネルに挿入した USB 大容量ストレージデバイスをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[FTP]	この場所を選択する場合、FTP 経由のリモート ワークステーション上の共有フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[SMB]	この場所を選択する場合、SMB 経由のリモート ワークステーション上の共有フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。
[WebDAV]	この場所の種類を選択する場合、WebDAV 経由でクラウドを入力して、ネットワーク ドライブとして使用できます。
[Home フォルダ]	この場所の種類を選択する場合、自分のワークステーション上のパーソナルホーム フォルダをプリント元またはスキャン先として設定できます。  メモ ホーム フォルダは、「[ユーザー名とパスワード]」で「[ユーザー認証]」が有効になっている場合にのみ使用できます。 ホーム フォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成される必要があります。
[PlanWell® Collaborate] (オプション)	この場所を選択する場合、PlanWell Collaborate クラウド サービスをプリント元またはスキャン先として設定できます。

USBの有効化または無効化

はじめに

場所として USB を使用する場合、まず USB の設定を指定する必要があります。WebTools Express で設定を指定できます。

図



手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [USB]を選択し、[アクション]の下にある [編集] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. [有効な機能] では、USB で使いたい機能を選択できます。
 - USB からのプリントと USB へのスキャンを有効にする場合は、[プリント元およびスキャン先]を選択します。
 - USB からの印刷のみを有効にしたい場合は、[プリント元のみ] を選択します。
 - USB へのスキャンのみを有効にしたい場合は、[スキャン先のみ] を選択してください。
 - USB 機能を無効にしたい場合は、[なし] を選択します。
4. [メタデータの保存] を [はい] または [いいえ]に設定します。
 [はい] の意味：この場所に送られたスキャンファイルには、メタデータが提供された場合、メタデータファイルが添付されます。メタデータファイルの名前は、スキャンファイル名の後に '.xml'が続きます。例えば、scan001.pdf には scan001.pdf.xml のメタデータファイルが添付されます。メタデータは、スキャンファイルとユーザーをリンクする自動ワークフローで使用できます。
5. [OK] をクリックし、USB の設定を外部に保存します。

結果

USB を有効にして、ユーザ パネルに USB キーを挿入すると、外部の USB の場所をユーザ パネルを経由して、または WebTools Express で使用できます。

USB を無効にすると、USB を外部の場所として使用できません。

ホームフォルダの有効化および編集

はじめに

場所としてホームフォルダを使用する場合、まずユーザー認証を有効にする必要があります。すると、外部の場所リストにホームフォルダが表示されます。ホームフォルダが表示されると、機能を設定できるようになります。



メモ

ホームフォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な自分用の安全な外部の場所です。資格情報 ([ユーザー名とパスワード]) を使ってユーザーパネルからログインすると、自分のホームフォルダのみが表示されます。ホームフォルダをスキャン先に指定すると、ファイルはネットワーク上の自分用の場所へ送信されます。典型的な構成では、ファイルはワークステーション上のホームドライブの下にあります。

始める前に

まず、[ユーザー認証] の値を選択して [ユーザー名とパスワード] 設定を有効化したことを確認します。詳細については、[ユーザー認証の有効化 \(86 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [Home フォルダ] を選択し、[アクション] の下にある [編集] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. [有効な機能] では、ホームフォルダに使用する機能を選択できます。
 - ホームフォルダからの印刷とホームフォルダへのスキャンを有効にする場合は、[プリント元およびスキャン先] を選択します。
 - ホームフォルダからの印刷のみを有効にする場合は、[プリント元のみ] を選択します。
 - ホームフォルダへのスキャンのみを有効にする場合は、[スキャン先のみ] を選択します。
 - ホームフォルダを外部の場所として無効にしたい場合は、[なし] を選択します。
4. [メタデータの保存] を [はい] または [いいえ] に設定します。
[はい] の意味：この場所に送られたスキャンファイルには、メタデータが提供された場合、メタデータファイルが添付されます。メタデータファイルの名前は、スキャンファイル名の後に '.xml' が続きます。例えば、scan001.pdf には scan001.pdf.xml のメタデータファイルが添付されます。
メタデータは、スキャンファイルとユーザーをリンクする自動ワークフローで使用できます。
5. [OK] をクリックすると、ホームフォルダーの設定を外部に保存できます。

PlanWell Collaborate の有効化 (オプション)

はじめに

PlanWell Collaborate (ARC クラウドのサポート) 用のライセンスをインストール済みの場合は、[設定] タブでこの外部の場所を有効化できます。

手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを開きます。
2. [PlanWell® Collaborate]を選択し、[アクション]の下にある [編集] アイコンをクリックします。ウィンドウが開きます。
3. 「[プロキシ設定を使用する]」のチェック ボックスをチェックします。ローカル ネットワーク上で場所を構成した場合、ボックスのチェックを外して、プロキシの設定を使わないようにしなければならない場合があります。
4. [有効な機能] では、PlanWell Collaborate で使いたい機能を選ぶことができます。
 - PlanWell Collaborate にスキャンする場合は、[プリント元およびスキャン先]を選択します。
 - PlanWell Collaborate からの印刷のみを有効にする場合は、[プリント元のみ]を選択します。
 - PlanWell Collaborate へのスキャンのみを有効にする場合は、[スキャン先のみ]を選択してください。
 - PlanWell Collaborate を外部ロケーションとして無効にしたい場合は、[なし]を選択します。
5. [メタデータの保存] を [はい] または [いいえ]に設定します。
[はい] の意味：この場所に送られたスキャンファイルには、メタデータが提供された場合、メタデータファイルが添付されます。メタデータファイルの名前は、スキャンファイル名の後に '.xml'が続きます。例えば、scan001.pdf には scan001.pdf.xml のメタデータファイルが添付されます。
メタデータは、スキャンファイルとユーザーをリンクする自動ワークフローで使用できます。
6. [OK] をクリックし、PlanWell Collaborate の設定を外部保存します。

外部の場所の作成

はじめに

WebTools Express で独自の FTP, SMB, WebDAV, の外部の場所を作成できます。



メモ

ネットワーク設定の詳細については、plotWAVE-colorWAVE Connectivity Manual for Windows を参照してください。

始める前に



メモ

- [SMB] プロトコルを有効にしていることを確認してください。
- [FTP] - [設定] タブで、[接続] を有効にしていることを確認してください。
- [WebDAV] の URL がブロックされていないことを確認してください。
- この手順には、システム管理者としてログインする必要があります。

手順

1. [設定] - [外部の場所] タブ を選択します。
2. 右上の [新規作成] をクリックします。

3. ユーザーが認識できる [名前] を入力します。この名前はユーザ パネルに表示されます。
4. 使用する設定の [説明] を入力します。
5. 外部ロケーションの [種類] を選択します：[FTP]、[SMB]または[WebDAV]。
6. [パス]を入力します。外部の場所へのフォルダ パスまたは URL です。
 - [FTP]の場合は、hostname[/path]（例：myhost/mydirectory/scantofile）という構文を使います。
 - [SMB]には構文を使います：\\ホスト名\共有名[/パス] (例: \\myhost\mysharedirectory\scantofile)。
 - [WebDAV]には、完全な HTTP URL を使用します（例：http://example.webdav.org:8080/repository/）。
7. [WebDAV]の場合は、[プロキシ設定を使用する] を [はい] または [いいえ]に設定します。インターネットアクセス用に設定されたプロキシ設定を使用します。ローカルネットワーク上の場所を設定する場合は、この設定を無効にする必要があるかもしれません。

8. [認証情報] で、ユーザーが外部ロケーションにアクセスするためにログインする必要があるかどうかを選択します。
 - ユーザーパネルでログインさせる場合は、[ユーザ パネルでログインするようユーザに指示します] を選択します。
ユーザーがユーザ パネルで外部の場所へのアクセスを試行すると、ログインが表示されます。
 - ここで認証情報を設定する場合は、[自動ログインには以下の認証情報を使用します:] を選択します。
ユーザーが外部の場所へのアクセスを試行する際に、ユーザ パネルへのログインを要求されることはありません。
9. [自動ログインには以下の認証情報を使用します:] を選択した場合は、ユーザー名とパスワードを入力してください。
 - [ユーザー名] は外部ロケーションへのアクセスを与えます。ユーザーは、外部の場所について少なくとも読み込みおよび書き込み権限を持つ必要があります。SMB 宛先の場合は、以下のフォーマットでなければなりません：ローカル ユーザー名: 「IPaddress」または「hostname」。ドメイン ユーザー名: "domainusername"。
 - ユーザー名に属する [パスワード] を入力します。
10. [有効な機能]を選択します。プリント ジョブまたはスキャン ジョブの選択された場所へのアクセスを有効または無効にします。
11. [メタデータの保存] を [はい] または [いいえ]に設定します。
[はい] とは：この場所に送られたスキャンファイルには、メタデータが提供された場合、メタデータファイルが添付されます。メタデータファイルの名前は、スキャンファイル名の後に '.xml'が続きます。例えば、scan001.pdf には scan001.pdf.xml のメタデータファイルが添付されます。
メタデータは、スキャンファイルとユーザーをリンクする自動ワークフローで使用できます。



メモ

uniFLOW [メタデータの保存] へのスキャンの場合、[はい]に設定する必要があります。

12. [OK] をクリックして外部の場所を保存します。



メモ

システムは外部ロケーションを検証し、検証に失敗した場合はエラーメッセージを表示します。
エラーの場合、"Save "をクリックしてエラーのある外部ロケーションを保存するか、"Change "をクリックしてエントリーを変更することができます。

結果

操作パネルおよび WebTools Express から外部の場所を使用することができます。

デフォルトの外部の場所の設定

はじめに

デフォルトの場所として外部の場所を設定することができます。ジョブに対して特定の外部の場所を選択しないと、デフォルトの場所が使用されます。

手順

1. [設定] - [外部の場所] タブを選択します。
2. [外部の場所] でデフォルトとして設定する外部の場所を選択します。
3. [アクション] でチェックボックス アイコンをクリックします。

FTP での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

FTP 外部ロケーションの作成に失敗したことを示すエラーメッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
リモートのユーザー名またはパスワードが間違っています。	リモート ユーザー名とパスワードを確認します。 ユーザー名とパスワードが正しい場合は、外部の場所の名前の構文も確認します。 - リモート ホスト ユーザーの場合: <hostname>\<username>または<IP_address>\<username> - ドメイン ユーザーの場合: <domainname>\<username> パスを確認します。
リモート ホスト名を解決できません。	- ホスト名が正しく、有効であることを確認します。 - プリンタが顧客のネットワークに接続されていることを確認します。 - Express WebTools でプリンタのネットワーク設定を確認します: プライマリ DNS サフィックス、優先 DNS サーバー、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ - DNS サーバーがホスト名を IPv4 アドレスに解決できることをシステム管理者に確認します - 前述のいずれのチェックを実行しても問題が解決されない場合は、ホスト名の代わりにリモート ホストの IPv4 アドレスを入力します。
パスが存在しないか間違っています。	パスの構文が次の規則に従っていることを確認します: - hostname/share[/folder/...] または、 <IP_address>/share[/folder/...]。
リモート ホストが見つかりません。	- ホスト名または IP アドレスが正しく入力されていることを確認します。 - リモート ホストが稼動しており、ネットワークに接続されていることを確認します。
リモート ホストにアクセスすることができません。	- リモート ホストで FTP プロトコルが有効になっていることを確認します。 - 顧客ネットワーク セキュリティ ポリシー (ファイアウォール/スイッチ) により FTP ポートが許可されていることを確認します。 - FTP 送信先: FTP サーバーがポート 21 を使用していることを確認します。
外部の場所をテストすることができません。リモート サーバーへの接続が最大数に達しています。	外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。

エラー メッセージ	実行する作業
タイムアウト時間が経過したため、リモート保存先のテストが中止されました。	FTP サーバー ワークステーション上のファイアウォールが「FTP パッシブ モード」接続を妨げていないか確認します。  メモ FTP パッシブモード接続の詳細については、plotWAVE-colorWAVE Systems Security のマニュアルを参照してください。 FileZilla サーバーを使った例。 FileZilla Server のインストール後、エラー メッセージが表示されることがあります。Windows ファイアウォール経由で FileZilla Server アプリケーションを許可するには、次の手順に従います。 1. Windows ファイアウォールのウィンドウを開きます。 2. Windows Defender ファイアウォールを通してアプリまたは機能を許可する」をクリックします。 3. 別のアプリを許可する...」 ボタンをクリックします。 アプリの追加」 というウィンドウが表示されます。  メモ リストから「FileZilla Server Interface」を選択しないでください。 4. 「参照...」 ボタンをクリックします。 5. FileZilla Server (normally C:\Program Files\FileZilla Server\) をインストールしたディレクトリーを見つけます。 6. 「FileZilla server.exe」をダブル クリックまたは選択します。 7. 「Open」 をクリックします。 アプリの追加」 ウィンドウが再び表示されます。 8. FileZilla server.exe」を選択します。 9. 「追加」 をクリックします。 Windows ファイアウォールの許可されたアプリのウィンドウが再度表示されます。 FileZilla server.exe」が「許可されたアプリと機能」 リストに追加されていることを確認します。 「プライベート」、「パブリック」、または「ドメイン」のいずれかにチェックマークが付いていることを確認します (アクセスするネットワークの種類によって異なる)。 10. 「OK」 をクリックして、Windows ファイアウォールのウィンドウを閉じます。
指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。	• 保存先フォルダへのパスが正しく入力されていることを確認します。 • 保存先フォルダがリモート ホストに存在していることを確認します。
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	スキャン to ファイルの場合は、リモート共有でリモート ユーザーが「書き込み」権限を所持していることを確認します。
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で、「スキャン to」操作の空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません。内部エラーが発生しました。	システムを再起動し、リトライします。

SMB での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

SMB 外部ロケーションの作成に失敗したことを示すエラーメッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
ユーザー名またはパスワードが間違っています。	- リモート ユーザー名とパスワードを確認します。ユーザー名とパスワードが正しい場合は、外部の場所の名前の構文も確認します。 - リモート ホスト ユーザーの場合: <hostname>\<username> または <IP_address>\<username> - ドメイン ユーザーの場合: <domainname>\<username>
リモート ホスト名を解決できません。	- ホスト名が正しく、有効であることを確認します。 - プリンタが顧客のネットワークに接続されていることを確認します。 - WebTools Express でプリンタのネットワーク設定を確認してください: プライマリ DNS サフィックス、優先 DNS サーバー、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイ - DNS サーバーがホスト名を IPv4 アドレスに解決できることをシステム管理者に確認します - 前述のいずれのチェックを実行しても問題が解決されない場合は、ホスト名の代わりにリモート ホストの IPv4 アドレスを入力します。
パスが存在しないか間違っています。	パスの構文が次の規則に従っていることを確認します: \\hostname\share[\folder\...]または \\<IP_address>\share[\folder\...]
リモート ホストが見つかりません。	- ホスト名または IP アドレスが正しく入力されていることを確認します。 - リモート ホストが稼動しており、ネットワークに接続されていることを確認します。
リモート ホストにアクセスすることができません。	- リモート ホストで SMB プロトコルが有効になっていることを確認します。 - ファイアウォールで SMB ポートが許可されていることを確認します。 (TCP ポート 139 と 445、UDP ポート 137 と 138)。 - 保存先ワークステーションで NetBIOS over TCP/IP が有効になっていることを確認します。 (Windows 環境: ネットワークと共有センター - アダプターの設定の変更でネットワーク接続を右クリック - プロパティ - IP V4- プロパティ - 全般 - 詳細設定 - WINS)
リモートサーバーが最大接続数に達したため、リモート接続先をテストできません。	外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。

エラー メッセージ	実行する作業
指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。	- 共有が正しく入力され、リモートホストに共有が存在することを確認します。 - 保存先フォルダへのパスが正しく入力されていることを確認してください。 - 宛先フォルダがリモートホストに存在することを確認します。
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	スキャン to ファイルの場合は、リモート共有でリモート ユーザーが「書き込み」権限を所持していることを確認します。
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で、「スキャン to」操作用の空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません。内部エラーが発生しました。	- フィールドに入力された構文が正しいことを確認してください。 \ 記号が使われています (/ 記号ではない)。 - システムを再起動し、リトライします。
内部エラーが発生したため、リモート宛先テストを実行できません。	システムを再起動し、リトライします。

WebDAV での外部の場所の作成に関するトラブルシューティング (エラー メッセージの表示後)

WebDAV 外部ロケーションの作成に失敗したことを示すエラーメッセージが表示されます。

問題を解決するには、エラー メッセージに従って、次の表で提案される検証プロセスを実行します。

エラー メッセージ	実行する作業
プロキシ認証が必要です。プロキシの設定を確認してください。	- プロキシが必要か否かを確認します。 - プロキシの設定を確認します。
リモート ホスト名を解決できません。	プロキシが必要か否かを確認します。
指定されたパスまたは URL がリモート ホストに存在しないか、フォルダ名の綴りが間違っています。	- パスが存在することを確認します。 - WebDAV サーバーでインターネット アクセスが不要な場合は (ローカル ネットワーク)、「プロキシ設定」機能のチェックをオフにしてください。 - WebDAV external location external location の構文を確認してください。これがクラウドの WebDAV の構文に従っていることを確認します。  重要 Box.com」クラウドでは、WebDAV の構文が変更されました。本ガイドの 2014-02 版より、構文は以下の通りです。 https://dav.box.com。この新しい構文を使ってください。これは以前のものを置き換えます https://apps.box.com/dav。
パスが存在しないか間違っています。	パスおよび URL 構文を確認します。パスに不正な文字が存在するか、URL が間違っています。
ユーザー名またはパスワードが間違っています。	- リモート ユーザー名とパスワードを確認します。 - ユーザー名とパスワードが正しい場合は、パスの構文も確認します。
外部の場所をテストすることができません。リモート サーバーへの接続が最大数に達しています。	外部の場所のサーバーへの接続が最大数に達しています。システム管理者に問い合わせるか、後で再試行してください。
指定されたユーザー アカウントには、この場所への「書き込み」権限がありません。	- スキャン to ファイルの場合は、リモート ホスト上でリモート ユーザーが「書き込み」権限を所持しているか否かを確認します。 - WebDAV の外部の場所の構文を確認します。  メモ http:// を https:// で置き換えます。 - 認証プロトコルをチェックします。SharePoint は様々な認証プロトコルをサポートしています。WebTools Express はベーシック、ダイジェスト、NTLM (ウィンドウズ統合認証) をサポートしています。フォームベースの認証など、その他の認証方法はサポートされていません。 - SharePoint への接続が構成されている場合は、SharePoint のバージョンを確認します。Office 365 SharePoint Online の場合も、このエラーメッセージが表示されることがあります。Office 365 SharePoint Online には対応していません。

エラー メッセージ	実行する作業
外部の場所が一杯で空き容量がありません。	外部の場所で空き容量を確保します。
外部の場所のテストを実行できません。内部エラーが発生しました。	- パス設定で入力した URL の構文を確認します。 - WebDAV サーバーでインターネット アクセスが不要な場合は (ローカル ネットワーク)、「プロキシ設定」のチェックがオフになっていることを確認します。 - システムを再起動し、リトライします。

プリンタ設定の構成

操作パネルの設定を行う

はじめに

操作パネルのタイルで、コピー、スキャン、プリントの各ジョブを実行することができます。Express Webtools では、任意のタイルを表示または非表示にして、そのワークフローを無効化または有効化することができます。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [操作パネルの設定] セクションで [編集] をクリックします。
3. 非表示にするタイルの設定を有効にします。
例) [コピーボタンを非表示にする] を [有効] に設定すると、プリンタの操作パネルにあるコピーボタンが非表示になります。
4. 表示するタイルの設定を無効にします。
例) [プリントボタンを非表示にする] を [無効] に設定すると、プリンタの操作パネルにあるプリント ボタンを再表示します。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

結果

操作パネルには、非表示になっていないタイルのみが表示されます。



メモ

プリント タイルを非表示の場合でも、USB からの印刷は可能です。USB からの印刷を防ぐには、USB を無効にする必要があります。詳細については、[USB の有効化または無効化（116 ページ）](#) を参照してください。

地域設定の指定

目的

地域設定は、プリンタのインストール時に構成されます。初期構成を変更する場合、[地域設定] で変更することができます。

次の順序で、プリンタの地域設定を定義します。

- ユーザ パネルの [第 1 言語] および [第 2 言語]。

- [測定単位]

- [タイム ゾーン]

[タイム ゾーン]を変更した場合、[現在の日付と時間] を設定する前に、まずシステムを再起動する必要があります。

- [現在の日付と時間]

- [時刻フォーマット]



メモ

[測定単位] を変更するたびに、コントローラによって mm およびインチ単位間で値が再計算されます。この設定を頻繁に変更すると、四捨五入の際の丸め誤差により、計算値が若干変化する可能性があります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [地域設定] セクションの [編集] をクリックするか、編集する設定の値をクリックします ([第 1 言語] など)。
3. 設定を変更します。次のいずれかを選択できます。
 - 米国で一般的に使用される設定
 - 米国以外で一般的に使用される設定
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ユーザー セッション タイムアウトの設定

はじめに

操作パネルは、自動的に「ホーム」画面およびそのデフォルト構成に戻ります。ユーザー セッションに制限時間を設定できます。

使用する場合

プリンタの生産性を低下させない適切なタイムアウト時間を指定します。

手順

1. [セキュリティ] - [設定] タブを開きます。
2. [ユーザ アクセス構成] セクションの [編集] をクリックするか、[ユーザー セッション タイムアウト] 設定をクリックします。
3. タイムアウト時間を入力します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

作業時間の設定

はじめに

プリンタの作業時間を WebTools Express で設定できます。

プリンタを自動的にウェイクアップさせるには、最初に [自動オン] を有効にします。[最初の作業日] 設定を使用して作業日を指定します。たとえば、「月曜日」となり、[最後の作業日] 設定では「金曜日」などとなります。また、[起動タイム] および [作業日の終了の時刻] 設定でウェイクアップ時間とシャットダウン時間を設定します。たとえば、「06:30」や「19:00」となります。

この方法では、設定した日付と時刻にプリンタの電源が自動的にオン/オフされます。



メモ

たとえ [自動オン] が無効であったとしても、[作業日の終了の時刻] 設定は有効で、プリンタの電源を設定時間に自動的に切ります (省電力規制のため、プリンタは 24 時間に一度はシャットダウンする必要があります)。



メモ

設定された作業時間以外にプリンタの電源を手動で入れた場合、プリンタは選択された[スリープモード]に切り替わるまでの時間]期間が経過した後、スリープモードに入らず、自動的に電源が切れます。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションで [編集] をクリックします。
3. [自動オン] 設定を [有効] に設定します。
4. [起動タイム]、[作業日の終了の時刻]、[最初の作業日] および [最後の作業日] 設定を任意に設定します。
5. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

結果

これで、プリンタは自動的にウェイクアップするようになり、設定した日の設定した時間帯の間はアクティブになります。

スリープモードの設定

はじめに

プリンタには省電力モードが用意されており、プリンタが一定時間アイドル状態になると使用できるようになります。タイマーの設定により、不要な電力消費を防ぎます。プリンタの電源がオフになり、プリンタの消費電力が最小になります。コントローラの電源はオンのままです。スリープモードからウェイクアップする際、プリンタにはウォームアップの時間がほぼ必要ありません。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[スリープモードに切り替わるまでの時間] 設定をクリックします。
3. 新しい値を入力します。30 分がデフォルトです。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。



メモ

- ウィンドウに選択可能な最小値と最大値が表示されます。
- プリンタがスリープモードの場合、いくつかの方法でシステムを有効にすることができます。
 - プリント ジョブを送信する
 - ユーザ パネルでウェイク アップ ボタンを押す
 - 用紙引き出しを開く
 - スキャナに原稿を挿入する
 - USB デバイスを差し込む

用紙要求タイムアウトの設定

はじめに

プリンタで使用できない用紙が要求された場合、ユーザ パネルに用紙要求が含まれたメッセージが表示されます。

- [用紙要求タイムアウト]設定が無効になっている場合、問題が解消されるまで、ユーザ パネルに用紙要求が表示されたままになります。
- [用紙要求タイムアウト]設定が有効になっている場合 (デフォルト)、用紙要求タイムアウト値を秒単位で入力できます。用紙要求タイムアウト期間中に用紙要求が解消されなかった場合、[用紙要求タイムアウト後のアクション]設定に基づいて、プリンタによってジョブ キューからジョブが削除されるか、ジョブが注意状態になります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [編集] セクションの [プリンタのプロパティ] をクリックするか、[用紙要求タイムアウト] 設定をクリックします。
3. 設定を有効にする場合、時間も入力しなくてはなりません。設定を無効にする場合、時間は調整できません。
4. [用紙要求タイムアウト後のアクション] 設定をクリックします。
5. 「[ジョブを注意状態にします]」または「[ジョブを削除します]」を選択します。
6. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

用紙の種類構成

はじめに

プリンタにはさまざまな種類の用紙を取り付けることができます。「WebTools Express」では、用紙の種類を示して、プリンタが認識できるようにしたり、デフォルトとして設定したりできます。

手順

1. [用紙] - [用紙タイプ] タブを開きます。
2. 「[インストール済みの用紙タイプ]」に、サポートされている用紙の種類の一覧が表示されます。用紙の種類を有効または無効にして、環境に合わせてシステムを微調整することができます。
3. 用紙の種類の前にあるボックスをチェックします。右側にある「[有効化]」、「[無効化]」、または「[デフォルト]」を選択します。



メモ

現在プリンタに取り付けられている用紙の種類を無効にすることはできません。

用紙サイズの構成

はじめに

プリンタには様々な用紙サイズを取り付けることができます。WebTools Express では、用紙サイズを示して、プリンタが認識できるようにすることができます。

手順

1. [用紙] - [用紙サイズ] タブを開きます。
2. [サポートされる用紙サイズ] に、サポートされている用紙サイズの一覧が表示されます。
用紙サイズを有効または無効にして、環境に合わせてシステムを微調整することができます。
3. 用紙サイズの前にあるボックスをチェックします。 リストの先頭にある「[有効化]」または「[無効化]」を選択します。



メモ

現在プリンタに取り付けられている用紙サイズを無効にすることはできません。

ペン設定の構成

はじめに

ペン設定は、図面の作成に使用するアプリケーションで定義できます。アプリケーションでペン設定が定義されていない場合、WebTools Express でデフォルトのペン設定を構成できます。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. ペン番号のリストを確認していきます。
3. 変更するペン番号の値をクリックします。
ペン設定のウィンドウが開きます。このペンのカラー、幅およびパターンを設定できます。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

プリント品質およびプリント生産性の最適化

PDF の透明の平板化の設定

はじめに

WebTools Express では、プリント前に PDF ドキュメント内の透明情報を平板化するための設定を選択できます。この設定は、透明情報が含まれる PDF ドキュメントにのみ使用されます。

以下の値のいずれかを選択できます。

- [クオリティ]
プリント品質が最も重要な場合、この値を選択します。処理速度が低下し、必要なメモリ容量が増えます。
- [速度]
プリント品質よりも PDF 処理のパフォーマンスが重要な場合、この値を選択します。大規模で複雑な PDF ファイルが高速に処理され、少ないメモリが使用されます。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [PDF 汎用] セクションの [編集] をクリックするか、[透明の均一化] 設定をクリックします。
3. [クオリティ] または [速度] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

PDF のワイプアウト修正の設定

はじめに

PDF の [ワイプアウト補正] 設定を使用すると、イメージの一部を覆う、ブラックの塗り潰し領域を含む PDF ドキュメントをプリントすることができます。この設定を有効にすると、PDF ドキュメントが正しくプリントされますが、PDF ファイルの処理速度は低下します。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [PDF 汎用] セクションの [編集] をクリックするか、[ワイプアウト補正] 設定をクリックします。
3. 有効化または無効化します。ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

PDF の刷り重ねの設定

はじめに

[重ね刷り] 設定は、他のオブジェクトと重複した場合、オブジェクトの色合いを混合する方法を定義します。有効な場合、刷り重ねの設定により、重複するカラーがレンダリングされる方法が改良されます。無効な場合、カラーは定義されたのと同じ順番でレンダリングされ、常に重複するカラーがそれ以前にレンダリングされたカラーの上にきます。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [PDF 汎用] セクションの [編集] をクリックするか、[重ね刷り] 設定をクリックします。
3. 有効化または無効化します。ボックスをチェックして、設定を有効にします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

ロングプロットモードの設定

はじめに

[長尺プロット モード] 設定が有効になっている場合、設定が無効になっている場合と比較して最大 8 倍の長さのプロットをプリントすることができます。

長いプリントをプリンタがプリントできるようにするため、プリント品質は低下します。



メモ

この設定は、PDF または PostScript ファイルには適用されません。

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [一般 (非 PostScript/PDF)] セクションの [編集] をクリックするか、[長尺プロット モード] 設定をクリックします。
3. 有効化または無効化します。 ボックスにチェックマークを付けると、設定が有効になります。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

自動ロール切り替えの設定

はじめに

WebTools Express で、自動ロール切り替え設定を選択することができます。

- [ロールが空: 特定のロール番号が設定されているとき]

次のいずれかの操作を選択できます。

- [類似するロールに切り替え (同じタイプ・サイズのもの)]

選択されたロールの用紙が終了した場合、プリンタは自動的に (サイズと用紙タイプが) 同一のロールに印刷を続けます。同一のロールが利用できない場合はジョブは停止し、プリンタから新しい用紙を装着する要求が出されます。

- [空になったロールを交換するときは常に確認]

ジョブは停止し、プリンタから新しい用紙を装着する要求が出されます。

この設定は、用紙サイズが選択されただけのジョブには、影響を及ぼしません。これらのジョブには、新しいロールを選択することが可能かどうかを、用紙選択ポリシーが決定します。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[ロールが空: 特定のロール番号が設定されているとき] 設定をクリックします。
3. 目的の操作を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

スプールしきい値の設定

はじめに

ジョブ メモリが一杯の場合、プリンタは新しいジョブを受け付けることができないため、メモリを部分的に解放する必要があります。[スプールしきい値] 設定を指定して、ジョブのスプール容量を定義します。

次のいずれかの値を選択できます。

- [低]
数多くの小規模なプリント ジョブがあり、より大きな容量を許可する場合、この値を選択します。
- [通常]
これは、デフォルト設定です。小規模なジョブおよび大規模なプリント ジョブの両方がある場合、この値を選択します。
- [高]
数多くの大規模なプリント ジョブがあり、ジョブ メモリが一杯になったことが原因でファイル転送が中止される危険性を低減するには、この値を選択します。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [プリンタのプロパティ] セクションの [編集] をクリックするか、[スプールしきい値] 設定をクリックします。
3. [低]、[通常] または [高] を選択します。
プリント生産性が重要な要因である場合、[低] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

回転モードの設定

はじめに

画像を回転させたい場合は、回転設定を使います。この設定により、あらかじめ定義された回転値に従って画像を回転させることも、プリンターが自動的に回転するようにすることもできます。

次のいずれかの値を選択します。

- [回転なし]
- [90°]
- [180°]
- [270°]
- [縦送り]
- [横送り]
- [180° 回転して縦送り]
- [180° 回転して横送り]
- [自動用紙節約]
- [自動用紙節約に 180 度の回転を追加]

手順

1. [プリファレンス]-[プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [レイアウト] セクションの [編集] をクリックするか、[回転] 設定をクリックします。
3. 次のいずれかの値を選択します。
最も効率的な方法で用紙を使用するには、[自動用紙節約] または [自動用紙節約に 180 度の回転を追加] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

アライメント モードを設定する

はじめに

シート上でイメージを移動させる場合、アラインメント モードを変更できます。アラインメント モードを使用して、プリント キャリッジの移動が必要な距離を削減することで、プリント生産性を最適化することもできます。たとえば、イメージをシート右上の隅に合わせることができます。

次のアライメント設定を選択できます。

アライメント モード		
[左上]	[上]	[右上]
[左]	[中央]	[右]
[左下]	[下]	[右下]

手順

1. [プリファレンス] - [プリント ジョブのデフォルト] タブを開きます。
2. [レイアウト] セクションの [編集] をクリックするか、[アラインメント] 設定をクリックします。
3. 正しい値を選択します。
プリント生産性が最も重要な要因である場合、[右上] を選択します。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。

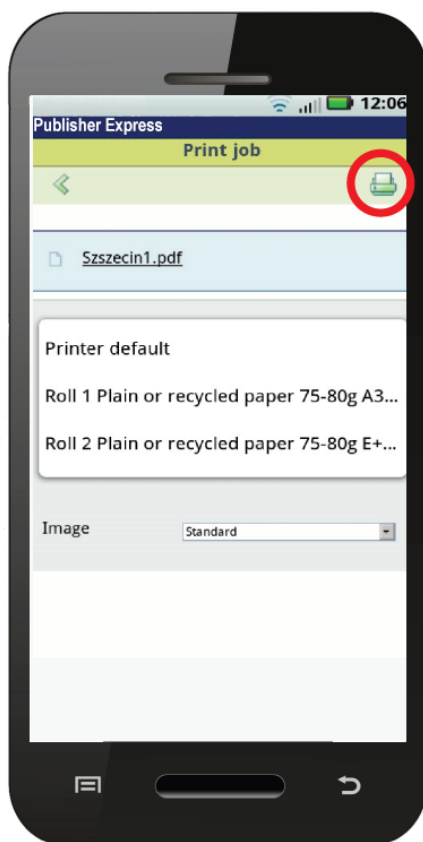
モバイル プリントおよびスキャンの構成

Publisher Express

はじめに

Publisher Express では以下の機能が提供されます:

- モバイル デバイスからプリンタへのプリント可能ファイルの送信
- プリンタからモバイル デバイスへのスキャン済みファイルの保存
- プリンタ上のスキャン済みファイルの削除



要件

Publisher Express には、モバイル デバイスのブラウザからアクセスすることができます。

動作要件は以下の通りです:

- プリンタのネットワークに接続された Wi-Fi インフラが必要です
- システムへのアクセスおよび参照が可能な対応モバイル デバイスが必要です
- 対応モバイル OS が必要です
- 対応モバイル Web ブラウザが必要です

オプション:

- 保存されたファイルをプリントするにはモバイル ファイル エクスプローラ アプリケーションが必要です。
- QR コードをスキャンするためのモバイル アプリケーションが必要です

機能を使用するには

Publisher Express を使用したい場合：

- システム管理者は、ネットワークと Wi-Fi インフラストラクチャを設定します。
- システム管理者は、プリンタコントローラインタフェースで設定情報を入力します。
- ユーザーは、モバイル デバイスで Wifi 機能を有効にして、ネットワークに接続します。ユーザーは端末のウェブブラウザで Publisher Express を開きます。
- Publisher Express を使えば、ユーザーはモバイル機器からファイルを印刷でき、スキャンした文書を保存できます。

インフラおよびモバイル デバイスの互換性に関する最新情報の入手

の plotWAVE-colorWAVE システム接続マニュアルを参照してください。 <http://downloads.cpp.canon> 製品ページの接続マニュアルを参照してください。 <http://www.canon.com/support/> を参照してください。

モバイル接続用の WebTools Express 設定の指定

はじめに

ユーザーが Publisher Express に簡単にアクセスできるようにするには、最初に設定を構成する必要があります。入力された情報に基づいて QR カードを作成し、簡単にアクセスできるようにします。



メモ

- この手順では、システム管理者またはパワーユーザーとしてログインする必要があります。
- Wi-Fi ネットワークを設定し、プリンタをネットワークに接続してください。

手順

1. [設定] - [接続] タブを開きます。
2. [モバイル] セクションの右隅にある [編集] をクリックします。
3. 設定を入力します。この情報は QR カードにもプリントされます:



メモ

IT ポリシーに従って情報を入力します。詳しくはシステム管理者にお問い合わせください。

設定	アクション
[QRC シート上の Wi-Fi 名]	Wifi ネットワークの名前を入力します。 QR カードに名前が表示されます。
[QRC シート上の Wi-Fi キー]	必要に応じて、Wifi ネットワークのパスワードを入力します。 QR カードにキーが表示されます。

WebTools Express のモバイル セクション

4. [OK] をクリックして設定を確定します。



メモ

プリンターが Windows ドメインネットワーク内にある場合、WebTools Express にドメイン名を入力します:

- [設定] ~ [接続] タブを開きます
- [ネットワーク アダプタ] セクションへ。フィールド [プライマリ DNS サフィックス] にドメイン名を入力します。

クイックレスポンスカードを生成します

はじめに

ユーザーがモバイル デバイスからプリンタに簡単にアクセスできるようにするため、QR (クイック レスポンス) カードを作成することができます。QR カードには、モバイル デバイスとプリンタの間で接続を確立するために必要な情報がすべて含まれます。カードには、すべての設定と生成された固有の QR コードが含まれます。プリンタの URL が表示されるため、モバイル デバイスの Web ブラウザから Publisher Express にアクセスすることもできます。

QR カードを個別のカードまたはポスターにプリントして、プリンタへの簡単なアクセスを提供します。

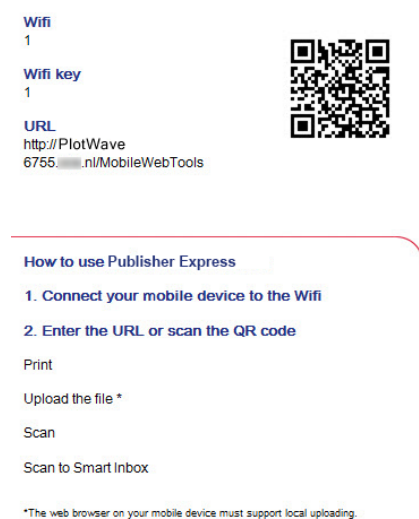
始める前に

最初に、WebTools Express で接続情報用の設定を編集する必要があります。システム管理者またはパワーユーザーのみがこの情報を編集することができます。



メモ

下の図は一例です。お使いのプリンタ用にこの QR カードをプリントして使用することはできません。設定に基づき、プリンタによって、ユーザー固有の QR コードを含む QR カードが生成されます。



QR カードの例

手順

1. [サポート] - [バージョン情報] タブを開きます。
2. [ダウンロード] セクションで [Quick Response Card] をクリックします。
新しいウィンドウが開きます。QR カードが自動的に生成され、ウィンドウに表示されます。
3. QR カードをプリントします。

モバイル デバイスを Publisher Express に接続する

接続する前に:

- システムが構成されていることを確認します。
- QR カードを生成していることを確認します。
- モバイル デバイスで Wi-Fi 接続が有効になっていることを確認します。



メモ

- iOS モバイル デバイスの場合、より拡張された WebTools Express にアクセスするには、iCab Mobile ブラウザにプリンタの IP アドレスを入力する必要があります。
- 互換性に関する最新情報については、Canon Production Printing Web サイトの [サポート] タブをご覧ください。
- モバイル デバイスで接続に失敗し、接続を確立できない場合は、システム管理者にご連絡ください。

Publisher Express への接続

Publisher Express には 3 通りの方法で接続できます。以下の手順に従って接続します。

接続方法:	ステップ
QR コード	• モバイル デバイスで QR コード スキャン アプリケーションを開きます。 • QR カードに表示された QR コードをスキャンします。 モバイル デバイスの Web ブラウザで Publisher Express が開きます。 • 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。
URL	• モバイル デバイスの Web ブラウザを開きます。 • QR カードに表示されたプリンタの URL を入力します。 (例) 「http://hostname(.com)/v2/MobileWebTools」 • 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。
IP アドレス	• モバイル デバイスの Web ブラウザを開きます。 • プリンタの IP アドレスを入力します。IP アドレスはシステム管理者から入手します。 • 要求された場合は、QR カードに表示されたパスワードを入力して接続します。
	モバイル デバイスの Web ブラウザで Publisher Express が開きます。 このツールを使用してモバイル デバイスからプリントしたり、スキャン済みファイルをモバイル デバイスに保存できるようになります。

第4章

プリント システムの使用

原稿を挿入する方法

はじめに

コピーまたはスキャンする際は、原稿をプリンタに正しく挿入することが重要です。



重要

- スキャナでは、厚さが 0.8 mm 以上の原稿、または硬質の原稿をスキャンすることはできません。
- スキャナに引き込まれた原稿をプリンタから引き戻さないでください。原稿をリリースするには、操作パネルの [停止ボタン] を押し、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。



2. スキャナが原稿を引きこみます。

原稿の幅は自動的に検出され、Smart Access に表示されます。[ライブ スキャン ビュー] は、スキャン処理を表示します。

結果

WebTools Express で選択された [原稿リリース モード] に応じて、スキャン手順の実行後に、スキャナによって原稿が保持またはリリースされます。スキャナから文書をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

原稿がリリースされると、次の原稿を挿入することができます。

原稿を自動挿入するには

はじめに

自動挿入機能を有効にした場合は、文書をスキャンするたびにグリーン ボタンを使用する必要はありません。この方法によって、生産性が向上します。スキャナが自動的にアクティブになり、スキャン手順の完了後、原稿がリリースされます。



メモ

- プリント タイルを選択する場合、あるいは指定された時間の経過後に操作パネルがホーム画面に戻っている場合は、自動挿入機能が無効になります。
- 原稿を挿入する前に、コピーまたはスキャン ジョブの設定を変更することができます。

手順

1. 最初の原稿を上向きで、原稿フィード テーブルの中央に位置合わせして挿入します。
2. スキャナが原稿を引きこみます。
3. グリーン ボタンを 2 回タップします。グリーン ボタンにメッセージ [自動] が表示されます。
4. グリーン ボタンをタップして、スキャン ジョブを開始します。
5. 操作パネルにメッセージ [原稿の挿入] が表示されたら、次の原稿を挿入できます。
6. 自動挿入機能を無効にするには、グリーン ボタンをタップします。グリーン ボタンから [自動] が消えます。

プリント ジョブ

デフォルトのプリント ジョブを実行する

はじめに

ジョブをプリントする際に設定を指定しない場合、デフォルトのプリセットが使用されます。ジョブを開始するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるプリセットを表示できます。

始める前に

以下のいずれかのジョブ サブミッタ経由でジョブを送信するようにしてください。

Publisher Express	Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する (209 ページ)
PRISMAproduce Tech	PRISMAproduce Tech を使用してプリント ジョブを送信する (212 ページ)
Driver Select for Microsoft® Windows®	Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリント ジョブを送信する (213 ページ)
Driver Express for Adobe® Postscript® 3™	Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ を使用してプリント ジョブを送信する (215 ページ)
Publisher Mobile	Publisher Mobile を使用してプリント ジョブを送信する (216 ページ)
Publisher Express (モバイル バージョン)	モバイル デバイスからのプリント (218 ページ)

あるいは、以下を経由してジョブを送信します。

LPR	LPR を使用してプリント ジョブを送信する (221 ページ)
FTP	FTP を使用してプリント ジョブを送信する (220 ページ)
クラウド (WebDAV)	クラウド を使用してプリント ジョブを送信する (223 ページ)
ホーム フォルダ	ホーム フォルダ を使用してプリント ジョブを送信する (222 ページ)
PlanWell Collaborate	クラウド を使用してプリント ジョブを送信する (223 ページ)
USB	USB キー からのプリント (159 ページ)



メモ

ダイレクト プリントを有効にする設定を指定していない場合、以下の手順が適用されます。ダイレクト プリントを使用すると、ジョブは直ちにプリントされます。詳細については、[ダイレクト プリント \(156 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. ジョブをプリンタに送信したら、操作パネルでプリント タイルをタップして場所のリストを開きます。

2. ジョブの場所を選択します。デフォルトでは、パブリック Smart Inbox です。



ジョブは、新しいウィンドウ内にリストで表示されます。

3. リストからジョブを選択します。
4. ジョブ設定の横のグリーン ボタンをタップします。

ダイレクト プリント

はじめに

デフォルトのプリント ジョブを実行する場合:

- ダイレクト プリントを使用してプリントすることができます。
ダイレクト プリントを使用してプリントすると、プリント ジョブは直ちにキューに送信されます。
- ダイレクト プリントを使用しないでプリントすることができます。
ダイレクト プリントを使用しないでプリントすると、プリンタでジョブをローカルに開始できます。



メモ

- [プリファレンス] - [システムのデフォルト] - [ジョブ管理] - [プリント ジョブの宛先を無効にする] が [はい、 Smart Inbox にのみ送信します] に設定されている場合、直接プリントすることはできず、プリンターでプリントジョブを開始する必要があります。ダイレクトプリントで印刷する場合は、WebTools Express.でこの設定を変更する必要があります。
- [ダイレクトプリント]と[パスワードプリント]は互いに排他的です。
- Publisher Express を使用して印刷ジョブを送信する方法の詳細については、[Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する \(209 ページ\)](#) を参照してください。

ダイレクト プリントを使用してデフォルトのプリント ジョブを実行する

手順	アクション
1	いずれかのジョブ サブミッタ経由でプリンタにジョブを送信し、ジョブ チケット内で「ダイレクト プリント」を選択します。通常は、WebTools Express 内の Publisher Express を経由します。
2	プリンタに移動し、プリントを収容します。

ダイレクト プリントを使用しないでデフォルトのプリント ジョブを実行する

手順	アクション
1	いずれかのジョブ サブミッタ経由でプリンタにジョブを送信し、指定した Smart Inbox を場所として選択します。
2	プリンタに移動し、操作パネル上の Smart Access 経由で Smart Inbox を開きます。
3	Smart Inbox でジョブを選択します。
4	グリーン ボタンをタップして、ジョブをプリントします。

パスワードプリント

はじめに

このオプションを使うと、[Smart Inbox]に送信したジョブにパスワードを付加して保護することができます。



メモ

Smart Inbox オプションが、プリンタで有効になっていなければなりません。
[ダイレクトプリント]と[パスワードプリント]は互いに排他的です。

ジョブ投入ツールの[Password print]の詳細については [プリント ジョブ - ジョブ送信ツール \(209 ページ\)](#) またはジョブ投入ツールのドキュメントを参照してください。

手順

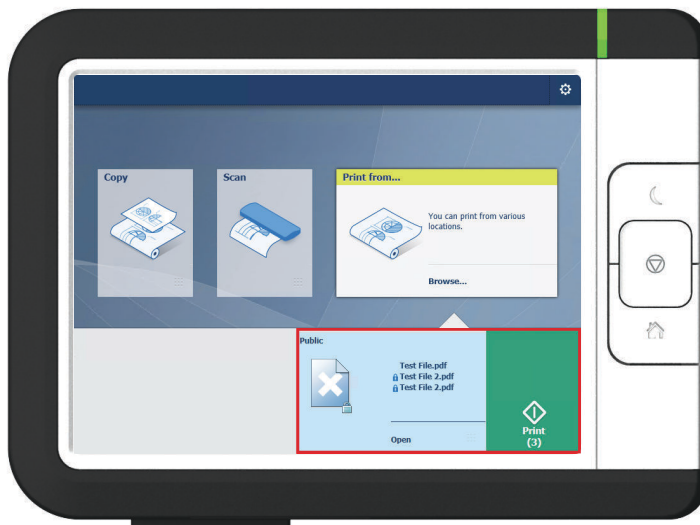
1. プリンタ用のジョブを準備し、場所として希望の [Smart Inbox] を選択します。
2. [パスワード] を入力して仕事を確保します。パスワードは 4 文字以上でなければなりません。



メモ

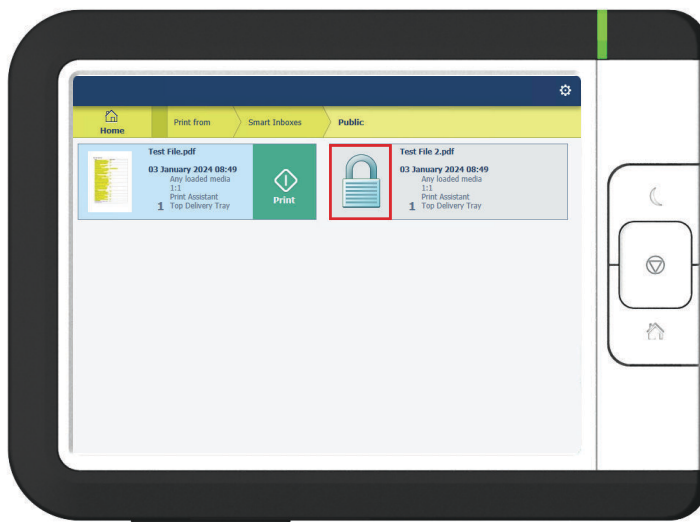
このパスワードはジョブにアクセスするため、プリンタで入力してください。次に、ジョブの表示、変更、印刷、削除ができます。

3. プリンタにジョブを送信します。
4. プリンタのユーザーパネルに移動します。
スマート受信トレイにパスワードで保護された新しいジョブが 1 つ以上ある場合、スマートアクセスのサムネイルが十字に変わり、保護されたジョブの名前の前にロックアイコンが付き、緑色の印刷ボタンはすべての新しいジョブを印刷する代わりにスマート受信トレイにリダイレクトされます。



5. [Smart Inbox] を開きます。

保護されたジョブは、プレビューサムネイルの代わりにロックアイコンで表示され、プレビュー、編集、印刷ができなくなります。



6. [Smart Inbox]で仕事を選択します。

7. ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。



メモ

次に、ジョブの表示、変更、印刷、削除ができます。

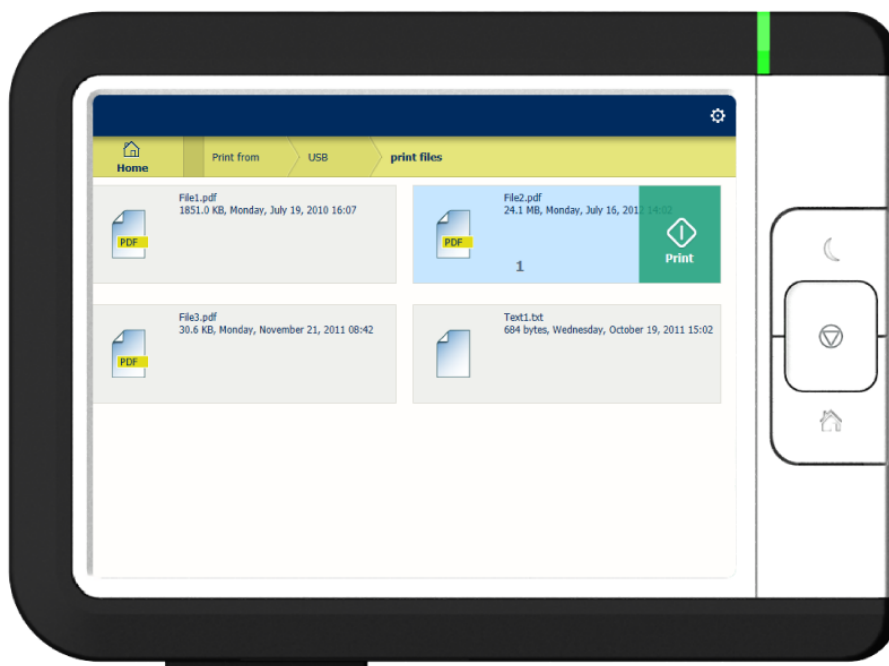
USB キーからのプリント

はじめに

USB キーを使用すると、プリンタでプリントとスキャンのジョブを実行できます。

手順

1. USB キーをマルチタッチ ユーザ パネルの USB ポートに差し込みます。
操作パネルで、プリント タイルが自動的に選択され、USB の場所が有効になります。
2. プリント Smart Access 内で USB の場所をタップします。
USB キー上にあるフォルダとファイルのリストが表示されたウィンドウが開きます。 リスト全体をスワイプして、正しいファイルを検索します。



3. グリーン ボタンをタップして、ジョブを開始します。
さらに多くの設定を指定するには、ジョブ名およびジョブの設定をタップできます。プリセット ウィンドウが開き、追加の設定を指定できます。

操作パネルでのプリント プリセット

はじめに

プリンタは、異なる設定を指定しない場合、プリントおよびコピーのジョブにデフォルトのプリセットを使用します。プリント プリセットは 4 つのカテゴリに分けられます。

- [用紙]
- [レイアウト]
- [イメージ]
- [仕上げ]

これらのカテゴリすべてのプリセットは、WebTools Express で変更できます。詳細は、[を参照してください](#)。

プリセットの概念	プリセットについて知っておくべきこと (101 ページ)
プリセット設定を変更するには	デフォルトのプリント プリセットの設定 (104 ページ)

プリント ジョブのための詳細設定

はじめに

マルチタッチ操作パネルで [プリント] タイルをタップすると、独自の設定を指定できます。

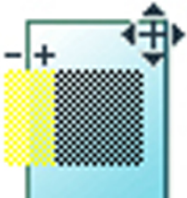
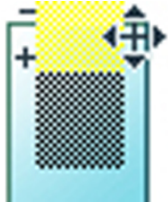
プリセット タイル以外に、[すべての設定を表示] で詳細設定を選択できます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Express を参照してください。

プリセット カテゴリ:[用紙]

設定	設定値	機能
[用紙の種類]	任意の種類 用紙の種類のリスト	使用する用紙の種類です。
[用紙サイズ]	任意のサイズ 用紙のサイズのリスト	使用する用紙のサイズです。
[用紙ソース]	[自動] 「ロール 1」(ロール 1 に取り付けられた用紙の種類および用紙サイズの説明) 「ロール 2」(ロール 2 に取り付けられた用紙の種類および用紙サイズの説明) [手動]	コピーまたはプリントする用紙の給紙元を定義します。[自動] を選択した場合、プリンタによって用紙ロールが自動的に選択されます。 

プリセット カテゴリ:[レイアウト]

設定	設定値	機能
[カット サイズ]	[カット方法] • [シンクロ] • [定型] • [カスタム]	[シンクロ] に設定されると、イメージに従ってプリントがカットされます。 [定型] に設定されると、定型用紙サイズにプリントがカットされます。 [カスタム] に設定されると、サイズを手動で入力する必要があります。 
	[先端余白の追加]	出力の上部に余白を追加します。 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[後端余白の追加]	出力の下部に余白を追加します。 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
[回転]	[自動用紙節約] [0°] [90°] [180°] [270°]	イメージを反時計回りに回転します。 最も効率的な方法で用紙を使用するには、[自動用紙節約] を選択します。

設定	設定値	機能
[位置決め]	[アライメント] • [左上] • [上] • [右上] • [左] • [中央] • [右] • [左下] • [下] • [右下]	[用紙上でイメージのアライメントを実行します。] 
	[横シフト]	[イメージを横方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。] 914 ～ 914mm、または 36 ～ 36 インチ。 
	[縦シフト]	[イメージを縦方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。] 1219 ～ 1219mm、または 48 ～ 48 インチ。 

設定	設定値	機能
[スケール]	[1:1]	イメージをスケールして、原稿のサイズにフィットさせます。
	[用紙サイズに合わせる]	選択された用紙幅をスケールします。
	[定型サイズに]	イメージをスケールして、リストから選択する用紙サイズにフィットさせます。 
	[カスタム]	カスタム パーセンテージにイメージをスケールします。 10 ～ 1000 [%] 

プリセット カテゴリ:[イメージ]

設定	設定値	機能
[プリント品質]	[定型] [線/テキスト] [写真]	使用する原稿の種類を定義します 
[ミラー]	[オン] [オフ]	「オン」にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。] 

プリセット カテゴリ:[仕上げ]

設定	設定値	機能
[排紙]	[上部排紙トレイ]	プリンタの上部の場所であり、シートを下向きで挿入します。  メモ 一部の用紙の種類は [上部排紙トレイ] に排紙することはできません。
	[背面出力]	プリンタの背面の場所であり、シートを上向きで挿入します。

コピー ジョブ

デフォルトのコピー ジョブを実行する

はじめに

原稿をコピーする際に設定を指定しない場合、デフォルトのプリセットが使用されます。ジョブを送信するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるプリセットを表示できます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
コピー Smart Access が含まれたコピー タイルが操作パネルで自動的に選択されます。



2. コピー部数を選択して、グリーン ボタンをタップします。



メモ

スキャナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

操作パネルでのコピー プリセット

はじめに

プリンタは、異なる設定を指定しない場合、プリントおよびコピーのジョブにデフォルトのプリセットを使用します。コピー プリセットは 4 つのカテゴリに分けられます。

- [用紙]
- [レイアウト]
- [イメージ]
- [仕上げ]

これらのカテゴリすべてのプリセットは、WebTools Express で変更できます。詳細は、[を参照してください](#)。

プリセットの概念	プリセットについて知っておくべきこと (101 ページ)
プリセット設定を変更するには	デフォルトのコピー プリセットの設定 (102 ページ)

コピー ジョブのイメージ プリセット

はじめに

[イメージ] プリセットでは、コピー ジョブの品質および生産性を定義できます。事前定義のプリセットが 4 つと、WebTools Express で作成できる 5 番目のカスタム プリセットがあります。

イメージ プリセット

概要を使って、ジョブに最適な [イメージ] プリセットを選択します。

イメージ プリセット	プロパティ
[CAD グレイスケール]	このプリセットは白黒 CAD 図面に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[CAD カラー]	このプリセットはカラー CAD 図面に使用します。 カラーはモノクロ階調に変換されます。線画情報は若干エンハンスされ、背景は若干抑制されます。
[写真]	このプリセットはフォトライクな原稿でフルレンジのコントラストに使用します。 「フォト」はカラー原稿よりも穏やかなコントラストを提供します。このプリセットは、小さい写真やアートワークを拡大し、大型ポスターを作成する場合にも使用できます。
[ジアゾ]	このプリセットは「ジアゾ」図面や「青焼」など、さまざまな背景の原稿に使用します。 線画情報はエンハンスされ、さまざまな背景は抑制されます。

コピー ジョブの詳細設定

はじめに

マルチタッチ操作パネルで [コピー] タイルをタップすると、独自の設定を指定できます。

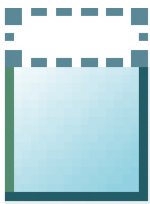
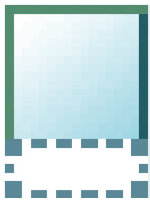
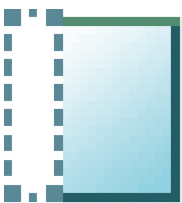
プリセット タイル以外に、[すべての設定を表示] で詳細設定を選択できます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Express を参照してください。

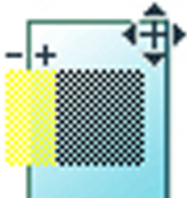
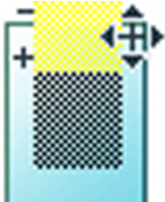
プリセット カテゴリ:[用紙]

プリセット	設定値	機能
[用紙の種類]	任意の種類 用紙の種類のリスト	使用する用紙の種類です。
[用紙サイズ]	任意のサイズ 用紙のサイズのリスト	使用する用紙のサイズです。
[用紙ソース]	[自動] [ロール 1](ロール 1 に取り付けられた用紙の種類および用紙サイズの説明) [ロール 2](ロール 2 に取り付けられた用紙の種類および用紙サイズの説明) [手動]	コピーまたはプリントする用紙の給紙元を定義します。[自動] を選択した場合、プリンタによって用紙ロールが自動的に選択されます。 

プリセット カテゴリ:[レイアウト]

プリセット	設定値	機能
[カット サイズ]	[カット方法] • [シンクロ] • [定型] • [カスタム]	[シンクロ] に設定されると、イメージに従ってプリントがカットされます。 [定型] に設定されると、定型用紙サイズにプリントがカットされます。 [カスタム] に設定されると、サイズを手動で入力する必要があります。 
	[先端余白の追加]	出力の上部に余白を追加します。 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[後端余白の追加]	出力の下部に余白を追加します。 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 

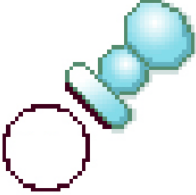
プリセット	設定値	機能
[余白の消去]	[上]	[原稿の上部から余白を削除します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[下]	[原稿の下部から余白を削除します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[左]	[原稿の左側から余白を削除します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 
	[右]	[原稿の右側から余白を削除します。] 0 ～ 400mm、または 0 ～ 16 インチ。 

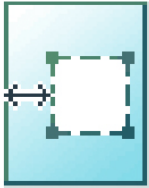
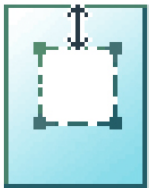
プリセット	設定値	機能
[位置決め]	[アライメント] • [左上] • [上] • [右上] • [左] • [中央] • [右] • [左下] • [下] • [右下]	[用紙上でイメージのアライメントを実行します。] 
	[横シフト]	[イメージを横方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。] 914 ～ 914mm、または 36 ～ 36 インチ。 
	[縦シフト]	[イメージを縦方向にシフトさせます (「アライメント」で指定されたいずれかの位置へのアライメント後)。] 1219 ～ 1219mm、または 48 ～ 48 インチ。 

プリセット	設定値	機能
[スケール]	[1:1]	イメージをスケールして、原稿のサイズにフィットさせます。
	[用紙サイズに]	選択された用紙幅をスケールします。
	[定型サイズに]	イメージをスケールして、リストから選択する用紙サイズにフィットさせます。 
	[カスタム]	カスタム パーセンテージにイメージをスケールします。 10 ～ 1000 [%] 

プリセット カテゴリ:[イメージ]

プリセット	設定値	設定値	機能
[原稿]	[原稿の種類]	[ライン/テキストの定型] [線画ドラフト] [カラーの原稿] [折られた線/テキスト] [ブルー プリント] [濃い原稿] [写真]	使用する原稿の種類を定義します。適切な原稿の種類の選択については、 コピー ジョブの推奨設定 (177 ページ) を参照してください。 
	[背景補正]	[自動] [オン] [オフ]	イメージのバックグラウンド ノイズを低減します - デフォルト設定は [自動] です。選択した [原稿の種類] に応じて、地肌補正は自動的に適用される場合と適用されない場合があります。 [オン] または [オフ] を選択して、[自動] を上書きします。 適用される地肌補正方法は選択された用紙の種類によります。
	[原稿の幅]	[自動]	原稿の幅は、スキャナによって自動的に検出されます。 
		[定型] リストから使用可能な定型サイズのいずれかを選択します。	原稿の幅は、定型サイズになります。   メモ 用紙シリーズに応じて、WebTools Express で定義します。
		[カスタム] 210 ~ 914mm あるいは 8.5 ~ 36 インチの範囲でサイズを入力することができます。	原稿の幅は、カスタム サイズになります。 

プリセット	設定値	設定値	機能
[イメージ]	[カラー強調表示]	[オン] [オフ]	有効な場合、原稿上ではすべてのカラー情報が黒/グレイ情報よりも暗くプリントされます。たとえば、マーク付きのテキストや強調表示されたテキストは、より明白になります。  メモ これは以下のコピー モードにのみ該当します。[カラーの原稿]、[ライン/テキストの定型]、[線画ドラフト]、[折られた線/テキスト]、[濃い原稿]。
	[薄い/濃い]	-5 ～ 5 の値	スキヤンの明るさとコントラストを定義します。明るいコピーには大きい値、暗いコピーには小さい値を設定します。コピーを暗くすると、背景にはあまり影響しませんが、情報が暗くなります。コピーを明るくすると、弱い情報が白くクリップされません。
	[ミラー]	[オン] [オフ]	「[オン]」にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。] 
[スタンプ]	リストからスタンプを選択します。	 メモ スタンプの作成方法については、スタンプの作成 (107 ページ) を参照してください。	スタンプありでコピーします 

プリセット	設定値	設定値	機能
[消去する領域]	[消去する領域:X 原点]	0 ～ 914mm、または 0 ～ 36 インチ。	[削除領域の開始点となる横オフセット。] 
	[消去する領域:Y 原点]	0 ～ 6000mm、または 0 ～ 250 インチ。	[削除領域の開始点となる縦オフセット。] 
	[消去する領域: 幅]	0 ～ 914mm、または 0 ～ 36 インチ。	[削除する領域の幅。] 
	[消去する領域: 長さ]	0 ～ 6000mm、または 0 ～ 250 インチ。	[削除する領域の長さ。] 

プリセット カテゴリ:[仕上げ]

プリセット	設定値	機能
[排紙]	[上部排紙トレイ]	プリンタの上部の場所であり、シートを下向きで挿入します。  メモ 一部の用紙の種類は [上部排紙トレイ] に排紙することはできません。
	[背面出力]	プリンタの背面の場所であり、シートを上向きで挿入します。

コピー ジョブの推奨設定

はじめに

特定の種類の原稿文書を使用する場合、特定のプリセットと、ジョブの品質と生産性に影響する設定を選択できます。最良の結果を得るには、以下の表の推奨設定を使用してください。

ワークフロー

- 最初に、ジョブに最適なイメージプリセットを選択します。以下の表で2つ目の列を使用します。詳細については、「[コピー ジョブのイメージプリセット \(168 ページ\)](#)」を参照してください。
- 設定をさらに最適化したい場合は、操作パネルの [すべての設定を表示] で詳細設定を選択できます。画像処理を調整することで出力品質を最適化したい場合は、ジョブに対応する [原稿の種類] を選択できます。以下の表で3つ目の列を使用します。詳細については、「[コピー ジョブの詳細設定 \(169 ページ\)](#)」と「[原稿の種類 \(178 ページ\)](#)」を参照してください。

推奨設定

原稿文書	[イメージ] プリセット	[すべての設定を表示] での最適化
白黒の CAD 図面	[CAD グレイスケール]	
折りのあるモノクロームの CAD 図面	[CAD グレイスケール]	原稿の種類を [折られた線/テキスト] に設定します
マーカー ペンによるマーク付きのモノクロームの CAD 図面	[CAD カラー]	「カラー強調表示」が必要な場合は、[カラー強調表示] をオンに設定します。
強調すべきカラー情報が入ったモノクロームの CAD 図面	[CAD カラー]	「カラー強調表示」が必要な場合は、[カラー強調表示] をオンに設定します。
(折りのある) カラー CAD 図面、地図、ビジネス グラフィックスなど	[CAD カラー]	「カラー強調表示」が必要な場合は、[カラー強調表示] をオンに設定します。
不均一背景のある CAD 原稿	[ジアゾ]	
ジアゾ プリント/「青焼」	[ジアゾ]	
濃い (トランスペアレント) 原稿	[ジアゾ]	
写真および高品位カラー プリント	[写真]	
青い背景上に白い線を使用した青焼	[CAD グレイスケール]	原稿の種類を [ブルー プリント] に設定します



メモ

[カラー強調表示] をオンに設定すると、モノクロームの情報よりも暗いカラー情報をコピーして、白黒図面で際立ったカラーを保存します。原稿の種類が [写真] と [ブルー プリント] の場合、[カラー強調表示] は使用できないことにご注意ください。

原稿の種類

はじめに

ユーザ パネルで [すべての設定を表示] - [原稿] にある [原稿の種類] 設定を変更すると、ジョブの品質をさらに最適化することができます。

概要を参照して適切な種類を選択します。

原稿の種類

原稿の種類	定義
[線/テキスト]	モノクロームの CAD 図面に使用します。
[カラーの原稿]	カラー CAD 図面など、ほとんどのカラー原稿に使用します。
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。 フォトはカラー原稿よりも穏やかなコントラストを提供します。
[濃い原稿]	特に青焼きプリントに使用します。 変化する「濁った」背景のある原稿。
[折られた線/テキスト]	折りのあるモノクロームの CAD 図面に使用します。 線画およびしわは抑制されます。 折りのあるカラーの CAD 図面には、[カラーの原稿] を使用します。
[ブルー プリント]	青い背景上に白い線を使用した典型的な反転原稿に使用します。

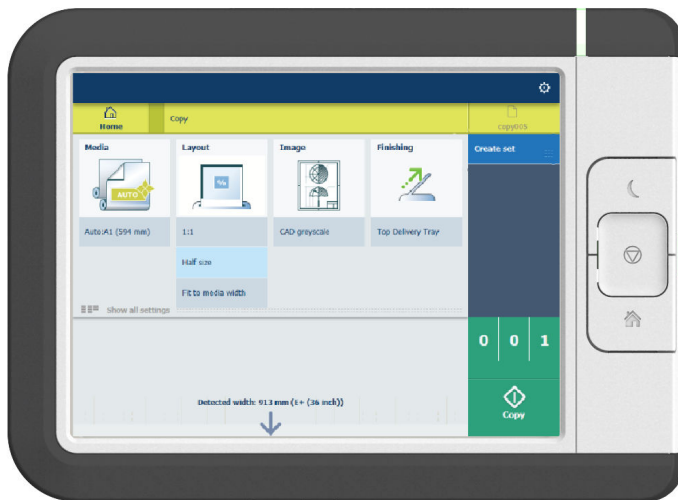
ハーフサイズコピーを作成する

はじめに

原稿を 50% のコピーにスケールする場合、ユーザ パネルでプリセットを変更することができます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [レイアウト] プリセットをタップします。



4. [ハーフサイズ] をタップします。
5. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

結果

プリンタは 50% でコピーします。

コピーを作成して余白を追加する

はじめに

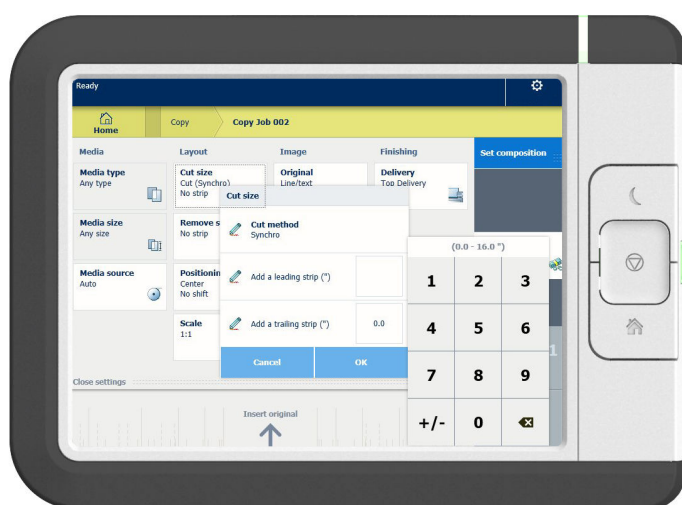
コピーを作成すると、文書に余白を追加できます。

[カット サイズ] を使用して、余白なしの原稿をコピーして、コピーに余白を追加することができます。コピーの先端または後端に余白を追加することができます。



メモ

カット サイズについては、[プリセット カテゴリ:レイアウト \(170 ページ\)](#) を参照してください。



手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [カット サイズ] をタップします。



5. [先端余白の追加] または [後端余白の追加] をタップして、値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

結果

先端または後端に余白が付いた文書がプリントされます。

コピーを作成して余白を削除する

はじめに

余白付きの原稿がある場合、コピーから余白を削除することができます。

操作パネル上のオプションを使用し、余白付きの原稿をコピーして、コピーから余白を削除します。原稿の先端、後端、左側および右側から余白を削除することができます。

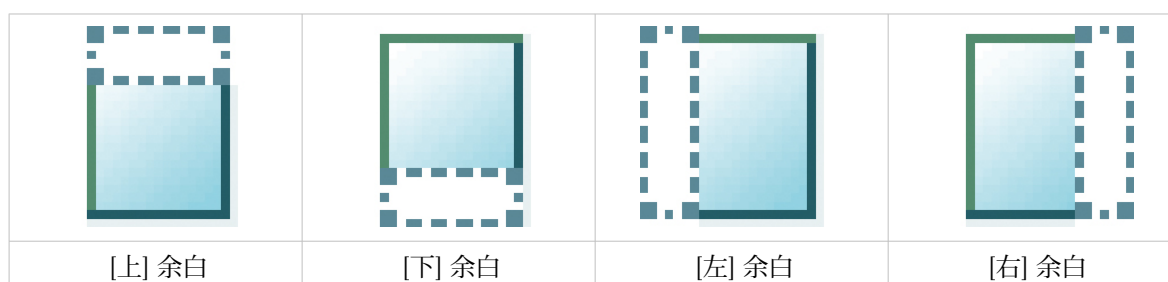


メモ

- カット サイズの設定については、[プリセット カテゴリ:レイアウト \(170 ページ\)](#) を参照してください。
- この設定を使用して、原稿の特定の領域をコピーすることもできます。詳細については、[原稿の特定の領域のコピーを作成する \(183 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。



4. [レイアウト] プリセットで [余白の消去] をタップします。
5. [上]、[下]、[左] または [右] を選択して、値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

原稿の特定の領域のコピーを作成する

はじめに

原稿の特定の領域のコピーを作成することができます。オプション [余白の消去] を使用して、特定の領域をコピーします。

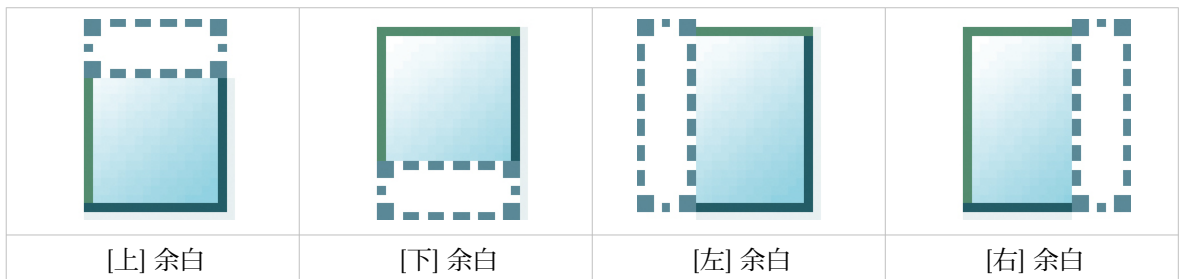


メモ

カット サイズについては、[プリセット カテゴリ:レイアウト \(170 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [余白の消去] をタップします。



5. [上]、[下]、[左] または [右] を選択して、特定の領域の値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. [位置決め] をタップしてから、[アラインメント] をタップします。
8. リストから [中央] を選択して、[OK] をタップします。
9. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

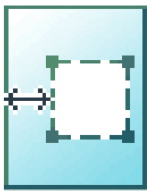
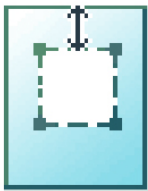
コピーを作成して原稿の特定の領域を削除する

はじめに

コピーを作成して原稿の特定の領域を削除することができます。以下の2つの設定を使用できます。[消去する領域: 幅] および [消去する領域: 長さ]。削除領域の寸法を定義します。また、以下の2つの設定を使用できます。[消去する領域:X 原点] および [消去する領域:Y 原点]。シートの削除領域の相対位置を定義します。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [イメージ] プリセットで [消去する領域] をタップします。

			
[消去する領域:X 原点]	[消去する領域:Y 原点]	[消去する領域: 幅]	[消去する領域: 長さ]

5. [消去する領域:X 原点]、[消去する領域:Y 原点]、[消去する領域: 幅] または [消去する領域: 長さ] を選択して、特定の領域の値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

コピーを作成して別のサイズにスケールする

はじめに

コピーを別のサイズにスケールする場合、詳細設定で変更を実行できます。カスタム設定を使用すると、10 ～ 1000% の範囲で任意のスケール パーセンテージを選択することができます。



メモ

他のスケール モードについては、[プリセット カテゴリ:レイアウト \(170 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [レイアウト] プリセットで [スケール] をタップします。
5. 新しいウィンドウで [スケール] をタップして、[カスタム] を選択します。
6. [カスタム] で 10 ～ 1000% の範囲で任意のパーセンテージを選択します。
7. 設定を指定した後、[OK] をタップします。
8. コピー部数を入力して、グリーン ボタンをタップします。

濃い原稿のコピーの作成 (青焼き)

はじめに

青焼き原稿から高品質のコピーを作成するのは困難な場合があります。明るさが変化する「濁った」背景のある青焼き原稿では、不明瞭な出力となる場合があります。plotWAVE T30/T35 には特別な[ジアゾ]プリセットがあります。原稿の明るさと背景の変化に合わせてコピーし、均一で高品質な出力に仕上げます。

始める前に

変化する「濁った」背景のある原稿には、[ジアゾ] モードを使用します。

濃いまたは薄い青焼き原稿や、変化する背景のあるその他の濃いまたは薄い原稿は、[ジアゾ] モードでコピーできます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [イメージ]プリセットをタップします。
4. [ジアゾ]をタップします。
5. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

強調表示されたカラーが含まれた原稿のコピーの作成

はじめに

情報を際立たせたり強調表示したりするために白黒図面でカラーが使われている原稿の場合、高品質の白黒コピーの作成が困難な場合があります。plotWAVE T30/T35 には、特別な設定 [カラー強調表示] が用意されており、該当する情報を他の情報よりも暗くすることで原稿の際立ったカラーを白黒で強調表示します。



メモ

- [カラー強調表示] 設定は、次のコピー モードにのみ関連します。[カラーの原稿]、[線/テキスト]、[線画ドラフト]、[折られた線/テキスト]、[濃い原稿]、
- [薄い/濃い] 設定を使用して、強調表示のレベルを調整します。たとえば、[薄い/濃い] 値を減らして「前景」と「背景」情報の差異を低減できます。詳細については、[プリセット カテゴリ:イメージ \(174 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [イメージ] プリセットで [イメージ] をタップします。
5. [カラー強調表示] をタップします。
6. [オン] を選択して、[OK] をタップします。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

カット紙へのコピーの作成

はじめに

必要な種類またはサイズの下紙がプリンタの下紙ロールに装着されていない場合は、カット紙にコピーすることができます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。



メモ
ページの向きは、縦長にする必要があります。

2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [用紙] プリセットで [用紙ソース] をタップします。
5. 新しいウィンドウで [用紙ソース] をタップします。
6. 設定のリストから [手動] を選択します。
7. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。
8. 用紙要求があるまで待ちます。



9. プリンタの下紙バイパスにカット紙を置きます。



メモ
用紙バイパス上の用紙サイズ表示を使用して、カット紙を適切に位置合わせします。B1 用紙サイズ (707 mm) を使用する場合、カット紙を A1 の目盛りに位置合わせする必要があります。

スタンプ付きのコピーを作成する

はじめに

スタンプとは、各コピーに付けることができるマークです。

始める前に

スタンプ機能を有効にするには、まず WebTools Express でスタンプを作成する必要があります。これを実行する方法については、[スタンプの作成（107 ページ）](#) を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。
3. [すべての設定を表示] をタップします。設定が表示されたリストが開きます。
4. [イメージ] プリセットで [スタンプ] をタップします。
5. スタンプを選択して、[OK] をタップします。
6. コピー部数を定義して、グリーン ボタンをタップします。

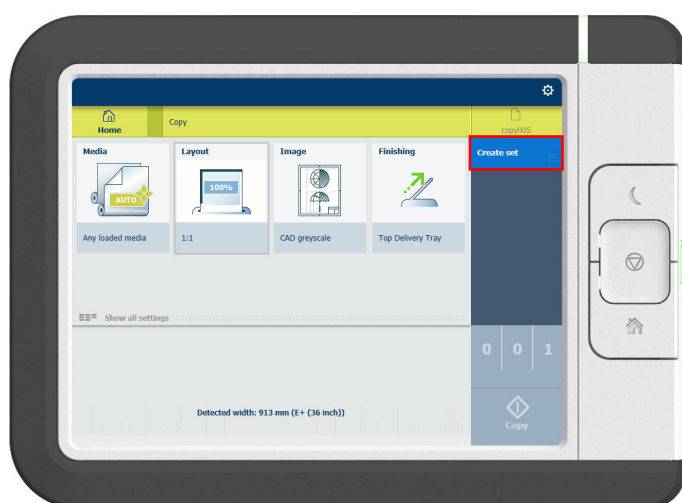
セットごとのコピー

はじめに

[セットの作成] オプションを使用すると、複数のスキャンを行って 1 つのセットでコピーすることができます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. コピー タイルをタップします。 プリセットのリストが含まれたウィンドウが開きます。



3. 右側のジョブペインで、[セットの作成] をタップします。
グリーン ボタンの色が変わり、[追加] が表示されます。
4. グリーン ボタンをタップして、スキャン処理を開始します。
5. プリンタが原稿をリリースしたら、次の原稿を挿入します。
6. グリーン ボタンをタップします。 スキャンがセットに追加されます。
セットが完了するまでこの手順を繰り返します。
7. [セットの終了] タイルをタップして、セットを完了します。

結果

プリンタは原稿のセットをコピーします。

スキャンジョブ

デフォルトのスキャンジョブを実行する

はじめに

原稿をスキャンする際に設定を指定しない場合、デフォルトのテンプレートが使用されます。ジョブを送信するには、Smart Access のみを使用します。

ジョブのジョブ設定セクション内に、使用されるテンプレート設定の概要を表示できます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルを選択します。スキャン Smart Access が表示されます。



3. Smart Access で指定したテンプレートを選択して、グリーン ボタンをタップします。



メモ

スキナナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。

結果

ファイルへのスキャンが実行され、テンプレートに定義した場所へ送信されます。

また、操作パネル上の「最近のスキャン」の下でジョブを確認することもできます。ファイルを表示またはプリントするには、これを開きます。

操作パネルでのスキャン テンプレート

はじめに

テンプレートとは、自分で構成できる事前定義された設定のグループです。ユーザー パネルでテンプレートを選択すると、最適化された設定で簡単にジョブを送信できます。

スキャン テンプレート ワークフロー

プリンタは、WebTools Express 内で構成されるスキャン テンプレートを使用します。いくつかのテンプレートは工場インストールされており、操作パネルにデフォルトで表示されます。最初に、テンプレートの使用法をニーズに合わせてカスタマイズできます。

- 新規テンプレートを作成します。詳細については、[新規テンプレートの作成（109 ページ）](#) を参照してください。
- 操作パネルでテンプレートを使用可能にします。詳細については、[スキャン テンプレートを有効または無効にする（114 ページ）](#) を参照してください。

次に、原稿をスキャナに挿入します。スキャン タイルをタップします。

Smart Access 内でテンプレートを選択します。スキャン保存先もテンプレート内で定義されることに注意してください。

スキャンジョブの詳細設定

はじめに

マルチタッチ操作パネルでスキャン タイルをタップすると、テンプレートを選択できます。

テンプレートを選択し、再びタップすると、すべての設定が表示されたウィンドウが開きます。次の表に、プリンタで使用可能な設定の概要および簡単な説明を示します。各設定の詳細な説明については、WebTools Express を参照してください。



メモ

圧縮モードおよび構成の値は、選択するカラー モードとファイルの種類に従って変更されます。状況によっては、あるいは一部のファイルの種類においては、圧縮と構成の設定を指定することができません。この詳細については、[ファイルの種類 \(203 ページ\)](#) を参照してください。

カテゴリ：[ファイル]

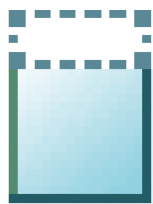
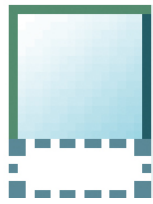
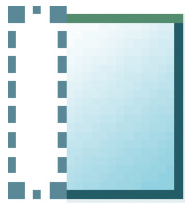
設定	設定値	設定値	機能
[ファイルの種類]	[ファイルの種類]	[TIFF] [TIFFマルチページ] [PDF] [PDFマルチページ] [PDF/A] [PDFマルチページ] [JPEG] [CALS]	[スキャンされたイメージのファイルの種類。ファイルの種類のリストは、カラー、グレースケールまたは白黒のいずれにスキャンするかによって異なります。CALS は白黒へのスキャン時にのみ使用することができます。白黒へのスキャン時に JPEG を使用することはできません。] 
	[圧縮]	[Group 4] [Group 3] [Flate] [Packbits] [JPEG] [LZW] [なし]	TIFF または PDF へのスキャン時の圧縮の種類。 [ファイルの種類]による。
	[JPEG 品質]	[最高] [高] [中] [低]	JPEG へのスキャンおよび JPEG 圧縮を使用した PDF へのスキャン時のイメージ品質。低品質だと圧縮率が高くなり、ファイルサイズが小さくなります。
	[構成]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[TIFF へのスキャン時のファイル構成。]

設定	設定値	機能
[解像度]	[100] [200] [300] [400] [600]	[スキャンされたイメージの dpi 単位の解像度。] 
[カラー モード]	[カラー] [グレースケール] [白黒]	[カラー、グレースケールまたは白黒スキャンのいずれかを指定する必要があります。「カラー モード」と「ファイルの種類」の組み合わせのうち一部が無効です。「カラー モード」を変更すると、「ファイルの種類」、「TIFF 圧縮」、「PDF 圧縮」がリセットされる場合があります。] 

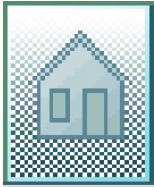
カテゴリ：[原稿]

設定値	設定値	機能
[原稿の種類]	[ライン/テキストの定型] [折られた線/テキスト] [カラーの原稿] [アートワーク] [地図] [ブルー プリント] [濃い原稿] [写真]	使用する原稿の種類を定義します。その選択は、選んだ [カラー モード]によります。適切な原稿の種類を選択については、 原稿の種類 (201 ページ) を参照してください。 

設定値	設定値	機能
[原稿の幅]	[自動]	原稿の幅は、スキャナによって自動的に検出されます。 
	[定型]	原稿の幅は、定型サイズになります。 リストから使用可能な定型サイズのいずれかを選択します。   メモ WebTools Express で定義したメディアシリーズによります。
	[カスタム]	原稿の幅は、カスタム サイズになります。 サイズは 210～914mm または 8.5～36 インチの範囲で入力できます。 

設定値	設定値	機能
[余白の消去]	[上の余白の削除]	[原稿の上部から余白を削除します。] 0～400mm または 0～16 インチ。 
	[下の余白の削除]	[原稿の下部から余白を削除します。] 0～400mm または 0～16 インチ。 
	[左の余白の削除]	[原稿の左側から余白を削除します。] 0～400mm または 0～16 インチ。 
	[右の余白の削除]	[原稿の右側から余白を削除します。] 0～400mm または 0～16 インチ。 
[ミラー]	[オン] [オフ]	「オン」にすると、イメージが縦軸 (用紙搬送方向) に沿ってミラーリングされます。] スキャナに上下逆に挿入する必要がある強くカールしたトランスペアレント原稿は、[オン]に設定してください。裏側に情報がプリントされた (濃い) トランスペアレント原稿も同様です。 

カテゴリ:[クオリティ]

設定	設定値	機能
[スキャン品質]	[自動] [通常] [高]	スキャンの品質を定義します。 • [自動] は、スキャン設定に基づき、ジョブに対して最高のスキャン品質の値を選択するデフォルト値です。 • より高い解像度でスキャンするには、[高] を選択します。これは、グレイやカラー領域を含む原稿でモアレパターンを防止します。 • プリント生産性が重要な要因である場合、[通常] を選択します。 純粋な CAD 原稿に対しては、ほとんどの場合 [通常] で十分です。
[薄い/濃い]	-5 ～ 5 の値	スキャンの明るさとコントラストを定義します。明るいスキャンには大きい値、暗いスキャンには小さい値を設定します。 スキャンを暗くすると、背景にはあまり影響しませんが、情報が暗くなります。スキャンを明るくすると、弱い情報が白くクリップされません。
[背景補正]	[オン] [オフ] [自動]	イメージのバックグラウンド ノイズを低減します • デフォルト設定は [自動] です。選択した [原稿の種類] に応じて、地肌補正は自動的に適用されたり適用されなかったりします。 • [自動] または [オン] を選択して、[オフ] を上書きします。 適用される地肌補正方法は選択された用紙の種類によります。 

設定	設定値	機能
[カラー強調表示]	[オン] [オフ]	[オン] に設定します。 • マーカー ペンによる書き込みを見やすくする場合。 • カラーの情報が入った CAD 図面のカラーを強調し、背景情報はグレースケール (ブラック) のみにする場合。  メモ • [カラー モード] が [カラー] に設定されている場合、カラー強調表示はカラーをさらに飽和します。 • [カラー モード] が [グレースケール] に設定されている場合、原稿のグレースケール情報よりもカラーが暗くスキャンされます。 • 以下の原稿の種類には設定は無効になります、[写真]、[アートワーク]、[ブルー プリント]。

カテゴリ：[ワークフロー]

設定	設定値	機能
[保存先]	[種類]	スキャン先の場所を選択します。 詳細については、 場所の設定 (115 ページ) を参照してください。
[スキャン名]		キーボードを使用してスキャンファイル名を変更します。
[プリントのチェック]	[オン] [オフ]	スキャンしたイメージのプリントを作成するには、[オン] にセットします。

スキャン ジョブの推奨設定

はじめに

特定の種類の原稿文書を使用する場合、特定のテンプレートと、ジョブの品質と生産性に影響する設定を選択できます。最良の結果を得るには、以下の表の推奨設定を使用してください。

ワークフロー

- 最初に、ジョブに最適なテンプレートを選択します。以下の表に、工場でインストールされた 11 のスキャン テンプレートを紹介しています。
いくつかのスキャン・テンプレートは出荷時にシステムにインストールされており、WebTools Express で新しいスキャン・テンプレートを作成することができます。最初の 5 種類の工場でインストールされたテンプレートは、インストールすると操作パネルに表示されます。テンプレートは WebTools Express から有効または無効にできます。詳細については、[新規テンプレートの作成 \(109 ページ\)](#) および [スキャン テンプレートを有効または無効にする \(114 ページ\)](#) を参照してください。
- さらに設定を最適化したい場合は、ユーザーパネルのスキャンタイルをタップすると、詳細設定を選択できます。画像処理プロセスに影響を与え、出力品質を最適化したい場合は、ジョブに対応する [原稿の種類] を選択することができます。詳細については、[スキャン ジョブの詳細設定 \(193 ページ\)](#) および [原稿の種類 \(201 ページ\)](#) を参照してください。

推奨設定

スキャン テンプレート	原稿文書
[01 - Fast CAD B/W]	白黒 CAD 図面。生産性または小さいファイル サイズが重要な要因である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある白黒 CAD 原稿には、[CAD 白黒] テンプレートを選択します。
[02 - CAD B/W]	白黒 CAD 図面。品質が重要な要因である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[03 - Fast Color]	広範なカラー原稿の高生産スキャン用。 大面積の塗りつぶしがある原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
[04 - Color]	ほとんどすべての原稿。高品質のカラー スキャンを作成する場合に使用します。 品質設定は、色精度と、背景を抑制しながら微細情報をエンハンスメントすることの間でバランスされます。
[05 - CAD color]	カラー CAD 図面。品質またはファイル サイズが重要な要素である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある CAD 原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
[06 - Fast CAD color]	カラー CAD 図面。生産性またはファイル サイズが重要な要因である場合に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。大面積の塗りつぶしがある CAD 原稿には、[カラー] テンプレートを選択します。
[07 - Diazo B/W]	ジアゾ原稿や青焼など、さまざまな背景の CAD 原稿。白黒スキャンを作成する場合に使用します。
[08 - CAD with foldings]	折りのあるモノクロームの CAD 原稿。白黒スキャンを作成する場合に使用します。

スキャンテンプレート	原稿文書
[09 - CAD color to B/W]	カラー CAD 図面、マップ、ビジネス グラフィックスなど。白黒スキャンを作成する場合に使用します。
[10 - CAD color + highlight]	マーカー ペンによるマーク付きのカラー CAD 図面。 カラーをさらに飽和します。
[11 - Photo color]	高い色精度を持つフォトライクな原稿。

原稿の種類

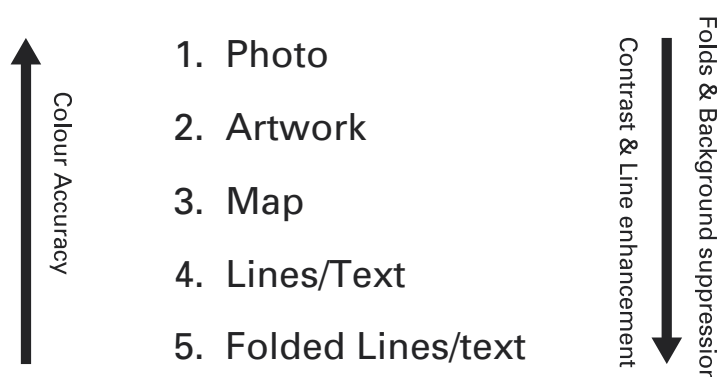
はじめに

操作パネルでスキャン タイルをタップし、[原稿] - [原稿の種類] 設定を選択すると、ジョブの品質をさらに最適化することができます。

原稿の種類をカラーまたはグレイスケールに変更します。概要を参照して適切な種類を選択します。

カラーの原稿の種類

- 原稿の種類を [写真] から [折られた線/テキスト] に変更すると、線画およびコントラストのエンハンスメントは増加し、折りおよび背景はより抑制されます。
- 原稿の種類を [折られた線/テキスト] から [写真] に変更すると、色精度が増します。



原稿の種類	定義
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。 フォトはアートワークよりも穏やかなコントラストを提供します。
[アートワーク]	カラー領域の境界および色間の移行がよりはっきりしたアートワークのようなカラー原稿に使用します。
[地図]	カラー領域が大きく、同時に線画や細かい詳細もあるような原稿に使用します。 このモードは、広範囲の原稿に対し、色精度と線画をエンハンスメントする上で最適なバランスをとります。
[線/テキスト]	CAD 図面に使用します。 線画情報はエンハンスされ、背景は抑制されます。
[折られた線/テキスト]	折りのある CAD 図面に使用します。 線画およびしわは抑制されます。

グレイスケールの原稿の種類

原稿の種類	定義
[線/テキスト]	モノクロームの CAD 図面に使用します。
[カラーの原稿]	カラー CAD 図面など、ほとんどのカラー原稿に使用します。
[写真]	フォトおよび高解像度プリントに使用します。 フォトはカラー原稿よりも穏やかなコントラストを提供します。
[濃い原稿]	特に青焼きプリントに使用します。 変化する「濁った」背景のある原稿。

原稿の種類	定義
[折られた線/テキスト]	折りのあるモノクロームの CAD 図面に使用します。線画およびしわは抑制されます。折りのあるカラーの CAD 図面には、[カラーの原稿] を使用します。
[ブルー プリント]	青い背景上に白い線を使用した典型的な反転原稿に使用します。

ファイルの種類

選択したカラーモードとファイルタイプによって、圧縮モードと編成の値が変わります。ファイルの種類や状況によっては、圧縮と整理の設定ができない場合があります。以下のリストは、正しいファイルタイプとカラーモードを定義するのに役立ち、どの圧縮と編成設定が可能かを示しています。



メモ

ユーザーパネルと WebTools Express で自動圧縮値を設定できます。選択されたファイルの種類に応じて、最も一般的な圧縮方法がコントローラによって選択されます。

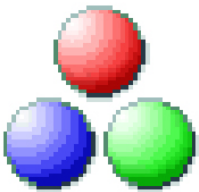
自動圧縮値は下記から確認できます:

- 操作パネル上のスキャン タイルの下部。スキャンタイルを 2 回タップし、[ファイルの種類]を選択します。
- スキャンテンプレートの WebTools Express。

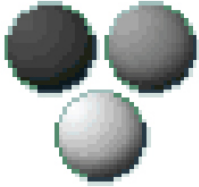
次の場所で自動圧縮値を設定します:

- [PDF 圧縮] (PDF 選択時)
- [PDF/A 圧縮] (PDF/A 選択時)
- [TIFF 圧縮] (TIFF 選択時)

カラー モード: カラー

[カラー] モード	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG 品質]
	[TIFF] [TIFFマルチページ]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[LZW] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF] [PDFマルチページ]	該当なし	[ファイルの種類] [LZW] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[PDF/A] [PDF/Aマルチページ]	該当なし	[Flate] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[JPEG]	該当なし	該当なし	[最高] [高] [中] [低]

カラー モード: グレyscale

[カラー] モード	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG 品質]
[グレイスケール] 	[TIFF] [TIFFマルチページ]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[LZW] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF] [PDFマルチページ]	該当なし	[Flate] [LZW] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[PDF/A] [PDF/Aマルチページ]	該当なし	[Flate] [なし]	該当なし
			[JPEG]	[最高] [高] [中] [低]
	[JPEG]	該当なし	該当なし	[最高] [高] [中] [低]

カラー モード: 白黒

[カラー] モード	[ファイルの種類]	[構成]	[圧縮]	[JPEG 品質]
[白黒] 	[TIFF] [TIFFマルチページ]	[Raw] [Striped] [Tiled]	[Group 4] [Group 3] [Packbits] [なし]	該当なし
	[PDF] [PDFマルチページ]	該当なし	[Group 4] [Flate] [LZW] [なし]	該当なし
	[PDF/A] [PDF/Aマルチページ]	該当なし	[Group 4] [Flate] [なし]	該当なし
	[CALS]	該当なし	該当なし	該当なし

スキャンを作成して余白を削除する

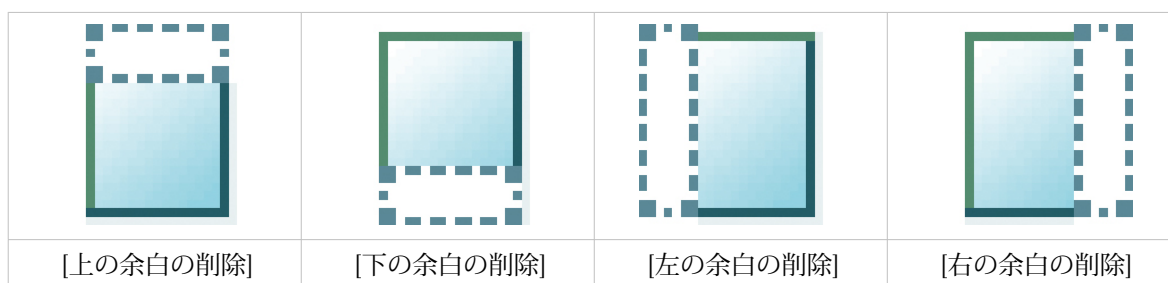
はじめに

余白付きの原稿がある場合、スキャン済みファイルから余白を削除することができます。

操作パネル上のオプション [余白の消去] を使用し、余白付きの原稿をスキャンして、ファイルから余白を削除します。原稿の先端、後端、左側および右側から余白を削除することができます。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルをタップし、スキャン Smart Access 内で指定したテンプレートを選択します。
3. スキャン タイルをもう一度タップします。
4. 「[原稿] (原稿)」カテゴリで「[余白の削除] (余白を削除)」をタップします。



5. [上の余白の削除]、[下の余白の削除]、[左の余白の削除] または [右の余白の削除] を選択して、値を定義します。
6. 設定を指定して、[OK] をタップします。
7. グリーン ボタンをタップします。

結果

プリンタは、定義された余白なしで原稿をファイルにスキャンします。テンプレートに定義した場所にファイルが送信されます。

USB キーへのスキャン

はじめに

ユーザ パネルに USB キーを差し込むと、USB にスキャンできます。

始める前に

- USB にスキャンする前に、適切な設定が有効になっていることを確認してください。詳細については、[USB の有効化または無効化（116 ページ）](#) を参照してください。
- ジョブを送信しやすいように、USB を保存先とするテンプレートを作成できます。詳細については、[新規テンプレートの作成（109 ページ）](#) を参照してください。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. ユーザ パネルの USB ポートに USB キーを差し込みます。
スキャン タイルが操作パネルで自動的に選択されます。USB を保存先とするテンプレートを選択するか、または保存先を USB に変更します。
3. グリーン ボタンをタップして、スキャン ジョブを開始します。



メモ

USB ポートのライトの点滅が停止するまで待機してから、USB キーを取り外します。

結果

ファイルへのスキャンが実行され、USB キーに保存されます。USB キーからファイルを取得できます。

ホーム フォルダへのスキャン

はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にすると、安全な場所としてホーム フォルダにプリントまたはスキャン ジョブを送信できます。



メモ

ホーム フォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な自分用の安全な外部の場所です。

始める前に

構成された [ユーザー認証] を使用して [ユーザー名とパスワード] を有効にし、まず場所としてホームフォルダを有効にします。詳細については、[ホーム フォルダの有効化および編集 \(117 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用してプリンタ操作パネルにログインします。
2. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
3. スキャン タイルを選択します。
4. ホーム フォルダを保存先とするテンプレートを選択するか、または保存先をホーム フォルダに変更します。
5. グリーン ボタンをタップして、スキャン ジョブを開始します。

終わった後に

ファイルはネットワーク上の自分用の場所へ送信されます。典型的な構成では、ファイルはワークステーション上のホーム ドライブの下にあります。

モバイル デバイスにスキャン済みドキュメントを保存する

はじめに

Publisher Express にアクセスできる場合、プリンタでドキュメントをスキャンして、モバイル デバイスに保存することができます。

始める前に

有効な接続があることを確認します。

手順

1. 原稿を上向きにし、中央に位置合わせします。
2. 操作パネルでスキャン タイルを選択します。スキャン Smart Access が表示されます。
3. Smart Access で、指定したテンプレートを選択し、「Smart Inbox 」が保存先として設定されていることを確認します。
4. グリーン ボタンをタップします。
スキャン済みファイルが、選択した Smart Inbox に送信され、WebTools Express および Publisher Express に表示されます。
5. モバイル デバイスで Publisher Express を開きます。
6. 指定した Smart Inbox セクションを開きます。スキャンされたファイルがここに表示されます。
Smart Inbox セクションは、数秒で自動的に更新されます。
7. ファイルを選択して、[保存] アイコンをクリックします。
8. モバイル デバイスのフォルダを参照して、[OK] をクリックします。



メモ

保存場所またはフォルダは、モバイル デバイスのブラウザによって決定される場合があります。

一部のモバイル デバイスのブラウザでは、保存時にファイル名または拡張子を変更される場合があります。

結果

ファイルがモバイル デバイスに保存されます。

プリンタのインボックスからファイルを削除するには、[削除] アイコンをクリックします。

プリント ジョブ - ジョブ送信ツール

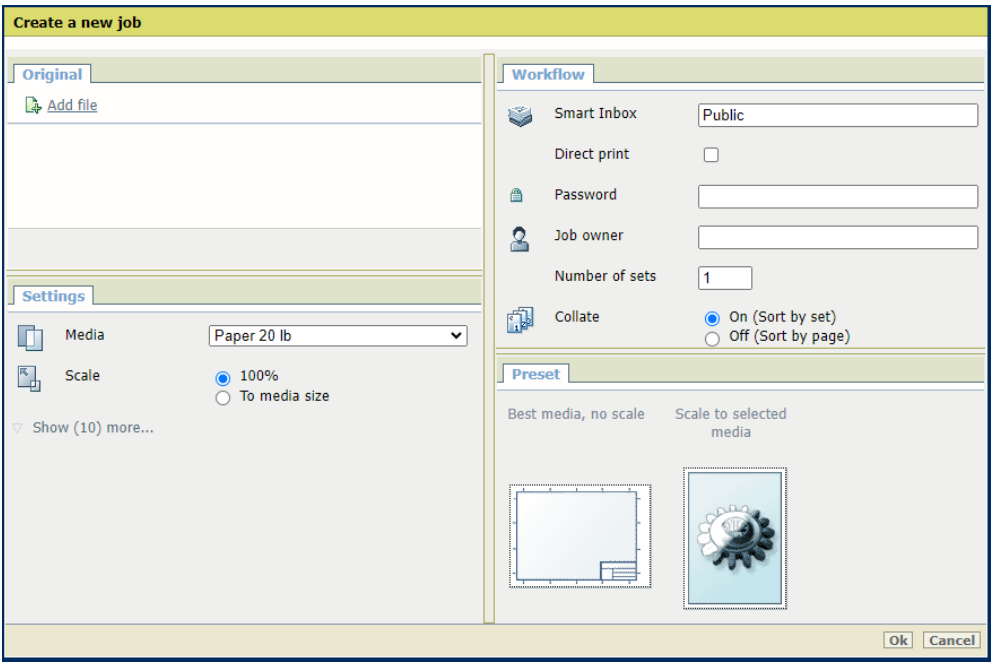
Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

Publisher Express は、WebTools Express に統合されているジョブ サブミッタです。



メモ
Publisher Express を使用してプリント ジョブを送信する場合、ジョブの最大サイズは 2 GB となります。



手順

手順	処置	注意事項
1	[ジョブ] - タブを開きます。	このタブには次の項目が表示されます。 • Publisher Express セクション • ジョブキューとスキャンキューで現在利用可能なすべてのジョブの概要。 • 現在 1 つまたは複数のジョブが含まれているすべての Smart Inboxes の概要です。
2	Publisher Express セクションで [新しいジョブの作成] をクリックします。	新しいウィンドウが開きます。

手順	処置	注意事項
3	[ファイルの追加] をクリックし 参照... ボタンを使って印刷したいファイルを選択します。 この操作を繰り返し、必要な数のファイルをジョブに追加します。	次のデータ フォーマットの文書のみをプリントできます。他のフォーマットを使用する場合、ファイルはプリンタに送信できません。 • HP-GL - .hp, .hpg, .hpgl • HP-GL/2 - .hp2 • HP RTL - .rtl • CALS - .cls, .cal • NIRS - .nir, .nif • CalComp - .cc, .906, .907, .951, .crf, .pci • Edmics (C4) - .c4 • TIFF - .tif • PostScript 3 - .ps (licensed) • PDF - .pdf (licensed) • JPEG - .jpg, .jpeg • DWF - .dwf
4	[事前設定] を選択し、必要に応じて [設定] を変更します。	Publisher Express で変更したジョブ設定は、常に WebTools Express で定義されたデフォルト設定を上書きします。
5	[ワークフロー] セクションに、プリント先のスマート インボックスの名前を入力します。	新しい Smart Inbox の名前を入力すると、簡単に新しい Smart Inbox を作成することができます。
6	設定によっては、以下のことができます： • 「[ダイレクト プリント]」を選択します。 • [パスワード] を入力してジョブを確保します。パスワードは 4 文字以上でなければなりません。	[ダイレクトプリント]と[パスワードプリント]は互いに排他的です。
7	Smart Inbox にプリント ジョブを送信するには、[OK] をクリックします。	

Smart Inbox を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

WebTools Express ですでに Smart Inbox にジョブを追加している場合は、Smart Inbox でこのジョブを印刷できます。



メモ

パスワードで保護されたジョブはロックアイコンで表示され、デフォルトでは表示、編集、印刷ができません。ジョブにアクセスするための正しいパスワードを入力してください。



メモ

Smart Inbox を作成する方法については、[Smart Inbox を作成して開く Smart Inbox \(75 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. WebTools Express の [ジョブ] タブを選択します。
2. 「Smart Inbox を開く」をクリックします。
3. 白いフィールドをクリックし、正しい Smart Inbox を選択します。
4. ジョブを選択して、[プリント] をクリックします。ジョブがキューにコピーされます。

PRISMAproduce Tech を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

PRISMAproduce Tech は、plotWAVE T30/T35 用のジョブを作成、プレビュー、プリントおよび管理するためのジョブ送信アプリケーションです。



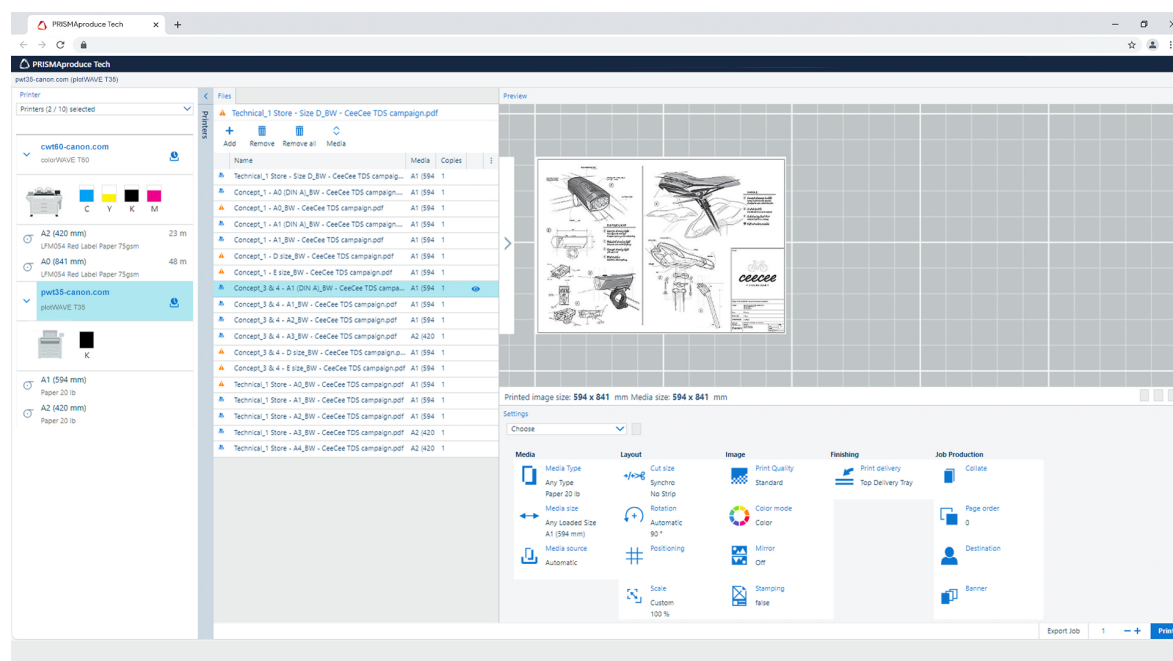
メモ

製品ページの下の <http://downloads.cpp.canon> で PRISMAproduce Tech ソフトウェアをダウンロードできます。ここでは、詳細情報に関する操作ガイドもダウンロードできます。

PRISMAproduce Tech

PRISMAproduce Tech は次の作業を行う際に使用します。

- プリンタへの接続。
- アプリケーション設定をプリファレンスに設定。
- プリンタで使用可能なメディアとトナーを確認してください。
- ジョブの作成。
- ジョブをプリンタに送信。



PRISMAproduce Tech を使用してプリント ジョブを送信する

1. PRISMAproduce Tech を起動してプリンタに接続します。
ホーム画面が開きます。
2. 画面の左側で、使用可能なトナーとメディアのプリンタステータスを確認します。
3. テンプレートを選択するか、またはカスタム テンプレートを作成して選択します。
4. ジョブに文書を追加します。
5. ジョブの文書を選択し、プリント設定を確認または調整できます。
6. プリント プレビューを確認します。
7. 印刷ボタンをクリックし、ジョブを印刷します。
8. 送信済みジョブ リストで送信済みジョブを追跡し、管理します。

Driver Select for Microsoft® Windows® を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

Driver Select for Microsoft® Windows® はラスタとベクトルの混在した HP-GL/2 プリンタドライバで、plotWAVE T30/T35 のジョブの作成、プレビュー、印刷、管理を可能にします。



メモ

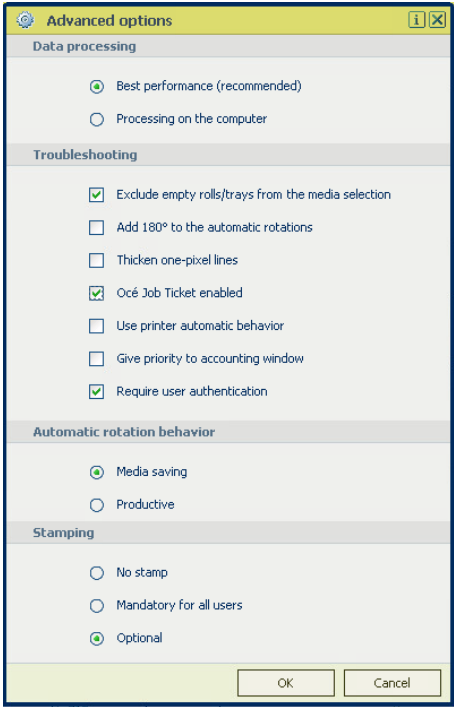
Driver Select for Microsoft® Windows® の詳細については、<http://downloads.cpp.canon> に移動し、ご使用の製品を選択してください。

Driver Select for Microsoft® Windows®



手順

手順	アクション	注意事項
1	プリントするファイルをソース アプリケーションで開きます。	AutoCAD® またはその他の任意の Windows アプリケーション
2	アプリケーションの [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。	
3	[プリンタ] ダイアログ ボックスの [プリント] エリアでプリンタの製品名を選択します。	

手順	アクション	注意事項
4	[プロパティ] をクリックします。	WebTools Express でデフォルトのプリント ジョブ設定を定義することができます。
5	画面の右上角の [オプション] メニューで、[詳細オプション] を選択します。ジョブ設定のデフォルト値を無効にするには、[Océ Job Ticket 有効] セクションの [トラブルシューティング] ボックスをチェックします。	
6	プリンタ ドライバのすべてのタイルを確認し、必要に応じて設定を変更します。	
7	[OK] またはプリント キューにプリント ジョブを送信するには、[Smart Inbox] をクリックします。	

Driver Express for Adobe® Postscript® 3™を使用してプリントジョブを送信する

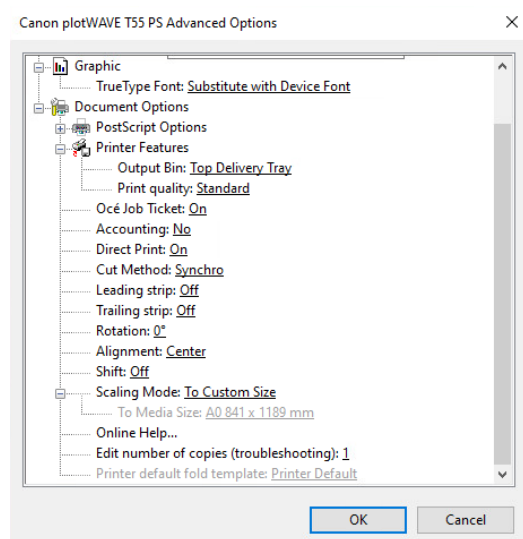
はじめに

キヤノンの Driver Express for Adobe® Postscript® 3™ は、印刷ジョブをプリンタに送信することができます。

macOS 環境と Windows 環境に対応したドライバで、PostScript データを生成します。

例えば、プレビューがない、プリンターの設定を確認できない、パスワード印刷ができないなどです。

プリンタで PostScript ファイルをプリントするには、別途ライセンスが必要です。



手順

1. プリントするファイルをソース アプリケーションで開きます。
2. アプリケーションの [ファイル] メニューで、[プリント] をクリックします。
3. [プリント] ダイアログボックスの [プリンタ] エリアでプリンタの製品名を選択します。
4. [プロパティ] および [詳細] をクリックします。
「プロパティ」を選択して、プリントジョブの設定を行うことができます。
5. ジョブ設定のデフォルト値を無効にするには、Job Ticket を有効にします。
6. 必要に応じてプリンタ機能の設定を確認および変更します。
7. Smart Inbox またはプリントキューにプリントジョブを送信するには、[OK] をクリックします。

Publisher Mobile を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

Publisher Mobile は、iPhone、iPad、または Android デバイスを介して、簡単に印刷ジョブをプリンタに送信できるアプリケーションです。

ユーザーは、すべての PDF*、PLT (HPGL1/2)、TIFF、JPEG および DWF* をプロットすることができます。

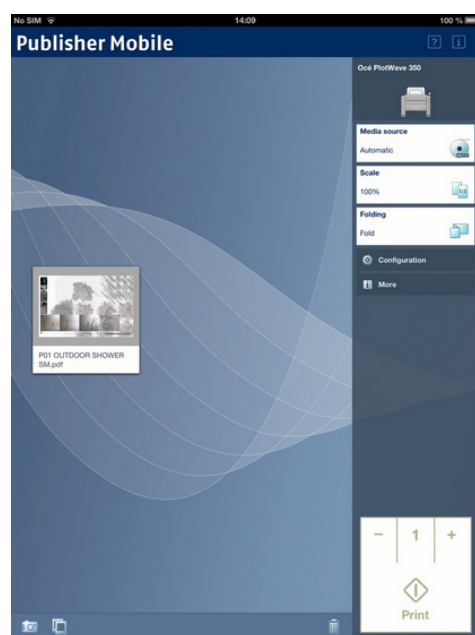


メモ

* ご使用のシステムやアクティブなライセンスによって、サポートされるファイルの種類は異なる可能性があります。

始める前に

Android デバイスの場合は Play Store から、iOS デバイスの場合は App Store から Publisher Mobile をダウンロードします。



手順

Publisher Mobile にプリンタを追加する

手順	アクション	注意事項
1	モバイル デバイスで Publisher Mobile を開きます。	
2	プリンタ ボタンをタップします。	Publisher Mobile により、ネットワーク内で使用可能な互換性のあるプリンタが検出されます。

手順	アクション	注意事項
3	「接続」アイコンで示される検出されたプリンタがプリンタ リストに追加されます。	プリンタが検出されない場合は手動で追加することができます。 「追加」プリンタ ボタンをタップします。
4	プリンタ リストから、プリンタを選択します。	
5	プリンタ名の横の「設定」アイコンをタップします。	プリンタ設定ウィンドウが開きます。
6	プリンタの IP アドレスまたはホスト名を入力します。	
7	プリンタについて設定を追加します。	• 名前の入力 • プリンタ モデルのボックスのオンまたは定義 • ロール数の定義
8	設定を保存します。プリンタが追加されます。	 メモ WebTools Express を開くことも可能です。設定のウィンドウでハイパーリンクをタップします。これは以下の場合に便利です。-プリンタ ステータスを確認する -アカウント情報を入力する -Smart Inbox を表示する -エラーが発生しているかどうかを表示する

Publisher Mobile からプリント ジョブを送信する

手順	アクション	注意事項
1	Publisher Mobile でプリントするファイルを開きます。	
2	ご使用のプリンタを選択します。	
3	必要なプリント設定を定義します。	選択可能な主な設定: • 用紙ソース • スケール
4	コピー部数を表示します。	
5	グリーン ボタンをタップします。	ジョブがプリンタに送信されます。

モバイル デバイスからのプリント

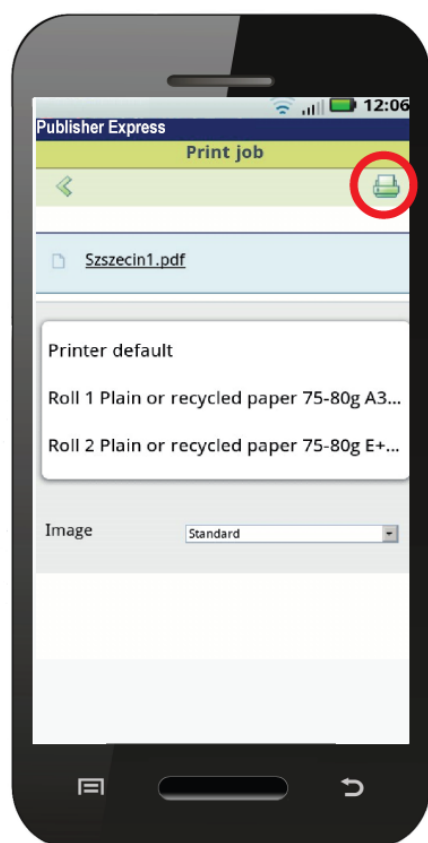
はじめに

Publisher Express にアクセスできる場合、モバイル デバイスからのファイルをプリンタでプリントすることができます。



メモ

- モバイル デバイスのファイル レポジトリを参照することができます。必要に応じて、ファイル エクスプローラ アプリケーションをインストールします。詳細については、Canon Production Printing Web サイトを参照してください。
- 有効な接続があることを確認します。
- システムでアカウントिंग情報が必要な場合は、プリント ジョブが WebTools Express の [モバイル] という名前の Smart Inbox に送信されます。ジョブはプリントされません。ワークステーションから WebTools Express に接続します。ジョブをプリントするには、アカウントिंग情報を入力します。



手順

1. [プリント] セクションに移動し、[新しいジョブ] を選択します。
[プリント ジョブ] ウィンドウが表示されます。
2. [ファイルを選択してください] をクリックします。
3. プリントするファイルを参照して、「開く」をクリックします。

4. プリント ジョブの設定を定義して、「OK」をクリックします。
5. 設定の指定後、右上のプリンタ アイコンをクリックします。ジョブがプリンタに送信されます。

結果

ドキュメントがプリントされます。プリント中は、プリント ジョブが操作パネルおよび WebTools Express のジョブ キューに表示されます。

FTP を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

プリンタは、FTP 経由のプリントをサポートしています。

FTP 経由で印刷ジョブを送信し、ジョブチケットがない場合、デフォルトの WebTools Express 設定がリードされます。



メモ

- WebTools Express で、FTP 経由でのプリントを有効にする必要があります。
- 操作パネルで FTP 経由の外部の場所を作成する方法については、[外部の場所の作成 \(119 ページ\)](#)を参照してください。

始める前に

操作パネルでプリンタのネットワーク設定と IP アドレスを検索します。

システム メニューのサムネイルをタップし、リスト内で [ネットワーク設定] を選択します。必要な情報が含まれたウィザードが開きます。

FTP 経由でプリント ジョブを送信するには

以下の手順を使用して、FTP 経由でファイルをプリントできます。

- コマンドライン プロンプト経由
 - FTP アプリケーション経由、または
 - Windows ファイル エクスプローラ経由
- Windows ファイル エクスプローラに、「**ftp://<ホスト名または IP アドレス>/ジョブ**」と入力します。

プリンタには専用の FTP ジョブ フォルダがあります。このフォルダは削除または変更できません。インストール時に作成され、保護されます。FTP 経由でファイルをプリントする最も簡便な方法は、Windows ファイル エクスプローラにある [ジョブ] フォルダにファイルをドラッグアンドドロップするかコピー アンドペーストする方法です。このフォルダ内の文書は、プリンタでプリントされます。

LPR を使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

プリンタは、LPR 経由のプリントをサポートしています。

LPR 経由でプリント ジョブを送信し、ジョブ チケットがない場合は、デフォルトの WebTools Express 設定が優先されます。



メモ

WebTools Express で、LPR を使用するプリントを有効にする必要があります。

LPR 経由でプリント ジョブを送信するには

コマンド プロンプトに続いて次の行コマンドを入力します。「**lpr -S** <ホスト名または IP アドレス> **-P** <プリント キュー名> <ファイル名>」。



メモ

<プリント キュー名> には、**jobs** など、任意の名前を使用できます。

ホームフォルダを使用してプリントジョブを送信する

はじめに

WebTools Express でユーザー認証を有効にした場合、ホームフォルダをプリント元またはスキャン先として使用することができます。



メモ

ホームフォルダは、インフラストラクチャの一部として IT 部門により構成された場合にのみ使用可能な、自分用の安全な外部の場所です。

始める前に

構成された[ユーザー認証]を使用して[ユーザー名とパスワード]を有効にし、まず場所としてホームフォルダを有効にします。詳細については、[ホームフォルダの有効化および編集（117 ページ）](#)を参照してください。

手順

1. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用して、Publisher Express または他のジョブ サブミッタにログインします。
2. ホームフォルダからファイルと共にジョブを作成し、プリンタに送信します。
3. 資格情報「[ユーザー名とパスワード]」を使用してプリンタ操作パネルにログインします。自分の場所を見ることができるのは本人だけです。
4. ジョブを選択し、グリーン ボタンをクリックします。

クラウドを使用してプリント ジョブを送信する

はじめに

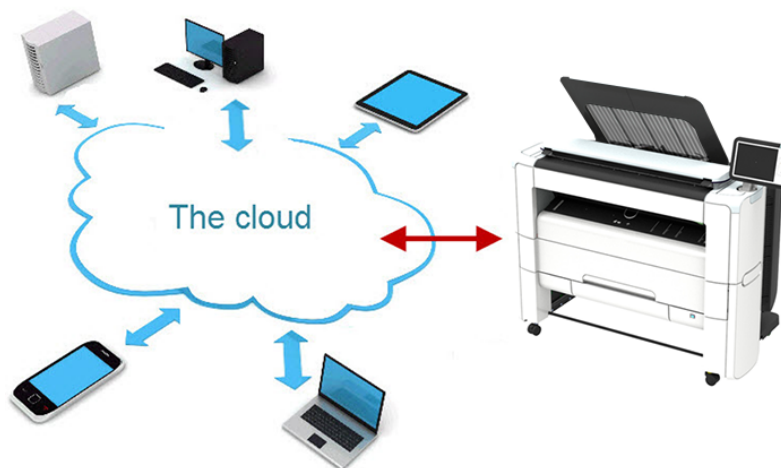
クラウドは、ファイルの送信先として使用する仮想ネットワーク ドライブとして見なすことができますが、ファイルの保存と共有の場所としても見なすことができます。

SharePoint などの汎用のクラウド アプリケーションや HTTP URL 経由のアプリケーションなどがありますが、企業は独自のプライベート クラウドや社内クラウドを使用することもできます。

始める前に

WebTools Express で [WebDAV] 経由の外部の場所を作成し、プリンタとのクラウド接続を確立できるようにします。詳細については、[外部の場所の作成 \(119 ページ\)](#) を参照してください。

図



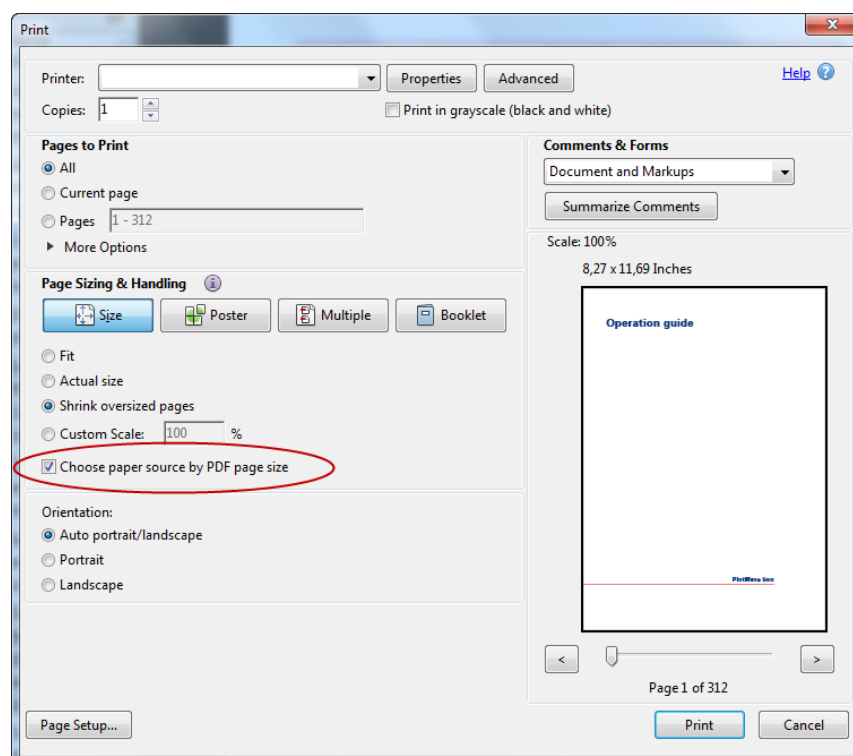
手順

1. モバイル デバイス上でクラウド アプリケーションを開きます。
2. 使用するアプリケーションに従って以下を実行します。
 - プリントするファイルを追加して保存します。あるいは、
 - プリンタにファイルを送信します。

プリントジョブ送信のトラブルシューティング

はじめに

プリントジョブ送信をトラブルシューティングするために、問題およびソリューションを確認します。



問題	解決法:
Adobe Acrobat Reader を使用して PDF ファイルをプリントできない。	プリントジョブを送信する場合 (「ファイル」 - 「プリント」)、プリントダイアログ内で「PDF ページサイズごとに用紙ソースを選択する」のボックスにチェックマークが付いていることを確認してください。

アクティブなジョブの一時停止、再開または停止

はじめに

アクティブなジョブを一時停止、再開または停止する場合、実行できることがいくつかあります。

手順

アクティブなプリント ジョブの一時停止または再開

手順	アクション
1.[一時停止]	操作パネルの動的なバーでアクティブなジョブをタップします。キューが開き、[一時停止] が動的なバー内に表示されます。[一時停止] をタップして、プリンタを一時停止します。[一時停止] タイルが [再開] タイルに変化します。  メモ 実行中のプリントはプリンタによって完了するため、プリンタが一時停止するまで時間がかかることがあります。
2.[再開]	動的なバー内の [再開] をタップして、プリンタを再開します。

操作パネルでのアクティブなジョブの停止および削除

手順	アクション	結果:
1	停止ボタンを押します。	スキャン ジョブの場合: マシンがスキャン処理を直ちに停止します。
2	プリント ジョブの場合: ジョブの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。	プリント ジョブは保存されるか、削除されます。
3	プリント ジョブの場合: Smart Inbox からのジョブの削除を確認するダイアログ ボックスが表示されます。	プリント ジョブは保存されるか、削除されます。
4	コピー ジョブとスキャン ジョブの場合: スキャナから原稿をリリースするには、Smart Access で [原稿のリリース] をタップします。	スキャナが原稿をリリースします。

WebTools Express でのアクティブなジョブの停止および削除

手順	アクション	結果:
1	[ジョブ] タブを開きます。	
2	ジョブ キュー セクションで、削除するジョブの前にあるボックスにチェックマークを付け、[削除] をクリックします。	システムによってジョブが中止され、削除されます。

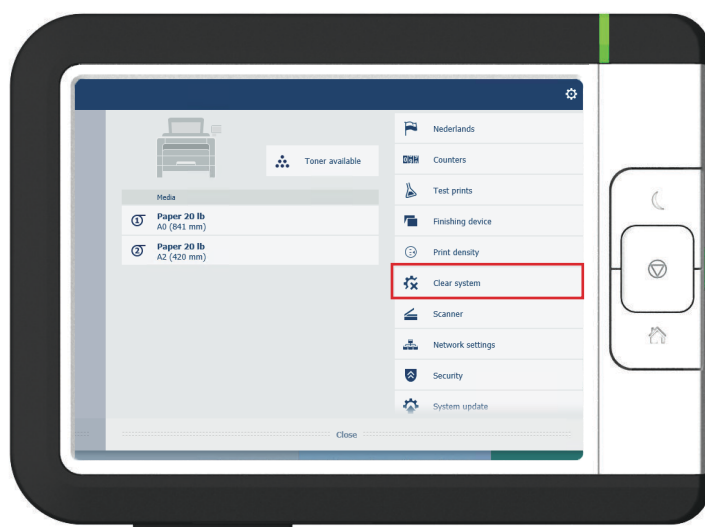
システム設定のクリア

使用する場合

操作パネルで、システムからすべてのプリントとコピーのジョブを削除することができます。

手順

1. 動的なバーで、システム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. ディスプレイ右側のリストで [システムのクリア] をタップします。
ウィザードが開きます。



メモ

すべての情報を保存していることを確認します。すべてのプリントとコピーのジョブが削除されます。

3. ウィザードの手順に従い、手続きを完了してください。

結果

手順を実行すると、システムが再起動し、すべての印刷、コピー、スキャンのジョブが削除されます。

第5章

プリント システムのメンテナンス

システムの更新

ソフトウェアを更新する

システムソフトウェア（POWERsync+ ソフトウェア）のアップデートは、サービスまたは最寄りの代理店から要請があった場合に行うことができます。

オペレーティング・システムのアップデートは <https://downloads.cpp.canon> または PRISMAservice 経由でインストールできます。

種類	種類	経由でアップデート
システム・ソフトウェアのアップデート	*_os.sup, *_sw.sup	ユーザーパネルまたは WebTools Express
システム・ソフトウェアのパッチ	*.patch	WebTools Express
オペレーティング・システムのアップデート	*.msu	WebTools Express または PRISMAservice

操作パネルでのシステム ソフトウェアの更新

はじめに

ソフトウェアの新しいバージョンが含まれる USB デバイスを使用して、操作パネルでシステム ソフトウェアを更新することができます。

始める前に

システム ソフトウェアを更新する場合は、最寄りの代理店からシステム ソフトウェア更新用のパッケージを入手します。

NTFS フォーマットされた USB デバイスが必要です。USB デバイスの [USB:\Packages] ディレクトリに、更新ファイル ([オープン ソース パッケージ (*_os.sup)] および [ソフトウェア パッケージ (*_sw.sup)]) があることを確認します。



メモ

- この更新処理により、すべてのジョブがシステムから削除されます。
- 更新中は、約 45 分間このシステムを使用できなくなります。
- この更新には完全なオペレーティング システムの更新が含まれます。このため、インストールされているサードパーティー製アプリケーションはすべて消去されます。アップデート後にサードパーティー製アプリケーションを再インストールできます。

手順

1. 操作パネルでシステム メニュー サムネイルをタップします。システム メニューが開きます。
2. セットアップ メニューで「[システムの更新]」をタップします。
3. システム管理者またはパワーユーザーとしてログインします。更新ウィザードが開きます。
4. USB デバイスを操作パネルの USB ポートに挿入します。
5. ウィザードの指示に従ってください。
更新中は、このシステムを使用できなくなります。更新が終了すると、プリンタが自動的に再起動します。
6. プリンタが再起動する前に USB デバイスを取り外します。

終わった後に

現在のソフトウェアバージョンは、ユーザーパネルのシステムメニュー - [システムの更新] または WebTools Express の [サポート] - [更新] タブで確認できます。

WebTools Express 経由でシステム・ソフトウェアをアップデート

はじめに

システムは WebTools Express でアップデートできます。設定は [サポート] - [更新] タブの下にあります。

[更新] タブには以下の機能があります：

- ・ システム・ソフトウェアを**アップデート**します。
- ・ **オペレーティングシステムのパッチ** をインストールします (セキュリティ)
- ・ 現在のソフトウェア・バージョンを確認します。
- ・ クリーンインストールまたはシステムソフトウェアのアップデート以降に正常にインストールされたすべてのパッチをチェックします。
- ・ 適用された最新のパッチの実行ステータスの確認 (「成功」または「失敗」)

始める前に

システムソフトウェア (POWERsync+ ソフトウェア) のアップデートについては、お近くの代理店からシステムソフトウェアアップデート用のパッケージを入手してください。



メモ

- ・ アップロードおよび更新の処理中は、プリンタを再起動しないでください。

手順

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [更新] ボタンをクリックして、現在のシステム ソフトウェアを更新します。
3. 必要なパッケージ ([オープン ソース パッケージ (*_os.sup)]または [ソフトウェア パッケージ (*_sw.sup)]) をブラウズします。
必要なファイルを選択し、「開く」をクリックします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
5. これでソフトウェアを更新する準備ができました。警告メッセージが表示されます。
[OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
6. 更新が開始されます。プロセスの最後に、コントローラが自動的に再起動します。
[OK] をクリックすると、WebTools Express が開きます。
7. 更新が成功したかどうかが表示されます。

WebTools Express 経由でシステム・ソフトウェアのパッチをインストール

はじめに

システムソフトウェアのパッチは WebTools Express からインストールできます。設定は [サポート] - [更新] タブの下にあります。

[更新] タブには以下の機能があります：

- システムソフトウェアの**アップデート**
- **オペレーティングシステムのパッチ** をインストール (セキュリティ)
- 現在のソフトウェア・バージョンを確認
- クリーンインストールまたはシステムソフトウェアのアップデート以降に正常にインストールされたすべてのパッチをチェック。
- 適用された最新のパッチの実行ステータスの確認 (「成功」または「失敗」)

始める前に

システムソフトウェアパッチ (POWERsync+ ソフトウェア) については、お近くの代理店からシステムソフトウェアアップデート用のパッケージを入手してください。



メモ

- アップロードおよび更新の処理中は、プリンタを再起動しないでください。

手順

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [インストール (*.patch)] ボタンをクリックして、現在のシステム ソフトウェアを更新します。
3. 必要なパッケージ ([ソフトウェア アップデート パッケージ (*.patch)]) をブラウズします。
必要なファイルを選択し、「開く」をクリックします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
5. これでソフトウェアを更新する準備ができました。警告メッセージが表示されます。
[OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
6. 更新が開始されます。プロセスの最後に、コントローラが自動的に再起動します。
[OK] をクリックすると、WebTools Express が開きます。
7. 更新が成功したかどうかが表示されます。

WebTools Express 経由でオペレーティング・システムのアップデートを手動でインストールします。

はじめに

オペレーティング システムのアップデートは WebTools Express.でインストールできます。

この手順では、手動更新について説明します。自動更新については [PRISMAservice からのオペレーティング・システム・アップデートの設定、ダウンロード、インストール（233 ページ）](#) を参照してください。

始める前に

<http://downloads.cpp.canon> からオペレーティング・システムをダウンロードします。



メモ

複数の.msu パッチが利用できます。



メモ

- アップロードおよび更新の処理中は、プリンタを再起動しないでください。

手順

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [インストール (*.msu)] ボタンをクリックすると、オペレーティングシステムのアップデートがインストールされます。
3. .msu パッチの場所を参照します。
ファイルを選択し、「開く」をクリックします。
4. [OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
5. これでオペレーティングシステムのアップデートをインストールする準備ができました。警告メッセージが表示されます。
[OK] をクリックして確定するか、[キャンセル] をクリックして入力を取り消します。
6. インストールが開始されます。プロセスの最後に、コントローラが自動的に再起動します。
[OK] をクリックすると、WebTools Express が開きます。
7. インストールが成功したかどうかが表示されます。

PRISMAservice からのオペレーティング・システム・アップデートの設定、ダウンロード、インストール

はじめに

PRISMAservice からオペレーティングシステムアップデートのダウンロードとインストールを設定した場合、プリンターは以下のように動作します：

- ・ 起動時、およびその後 16 時間ごとに、プリンターは新しいオペレーティングシステムのアップデートを検索します。



メモ

真夜中にオフラインまたはシャットダウンされた場合は、翌日に再度更新を確認します。

オペレーションシステムのアップデートがプリンターによって検出されると、それらは [PRISMAservice から入手可能な Microsoft の更新] の下のリストに表示されます。検出されたすべてのアップデートは、設定に応じてダウンロードまたはインストールされます。ダウンロード中もプリンターは動作可能です。インストールを完了するには、システムが自動的に再起動します。アップデートのインストール中、プリンターが使用できません。

始める前に

プリンタのリモートサービスが有効になっていることを確認します。詳細については、

- ・ [リモート サービス \(303 ページ\)](#)

PRISMAservice からのオペレーティング・システム・パッチのダウンロードとインストールの設定

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [PRISMAservice から入手可能な Microsoft の更新]に進みます。

Microsoft updates available from PRISMAservice			
Download	Initial	Configure	
Version	Download progress	Description	State

3. [設定] をクリックします。
4. デフォルトでは、オペレーティングシステムのアップデートを受信するチェックボックスがオンになっています。PRISMAservice からオペレーティングシステムのアップデートを受信したくない場合は、チェックボックスをオフにすることができます。

Configure how you want to download and install the software update packages received from PRISMAservice.

Receive updates to the operating system from PRISMAservice ☒

Send an email to the system administrator about the status of updates ☐

Download moment Immediately

Installation moment Immediately

5. [ダウンロードのタイミング] 設定でダウンロードの瞬間を選択します。
 - ・ [即時]：オペレーティングシステムのアップデートが利用可能になると、プリンターがダウンロードします。
 - ・ [指定時間]：プリンターは、指定した時間にオペレーティングシステムのアップデートをダウンロードします。勤務時間内の時間を指定します。
 - ・ [手動]：オペレーティングシステムのアップデートのダウンロードを手動で開始します。

6. [インストールのタイミング] でインストール時間を選択します。
 - [即時]：プリンタは、オペレーティングシステムの更新をダウンロードした後、インストールします。システムのスイッチを切らないでください。システムが自動的に再起動し、インストールが完了します。
 - [指定の時間に]：プリンタは、指定した時刻にオペレーティングシステムの更新をインストールします。勤務時間内の時間を指定します。システムのスイッチを切らないでください。システムが自動的に再起動し、インストールが完了します。
 - [手動]：オペレーティングシステムの更新は、ダウンロード後、手動でインストールします。
7. [システム管理者に更新状況に関する電子メールを送信する] を選択すると、ダウンロードとインストールプロセスに関するステータス情報を受け取ることができます。電子メールアドレスが設定されているシステム管理者は、これらのメールを受け取ることができます。 [通知用メールサーバーの設定 \(81 ページ\)](#) を参照する。
以下のステータスになると、メールが届きます。
 - [ダウンロードのタイミング] の設定で [手動] を選択すると、オペレーティングシステムのアップデートがダウンロード可能になったときにメールが届きます。
 - [インストールのタイミング] の設定で [手動] を選択すると、オペレーティングシステムのアップデートがインストール可能になったときにメールが届きます。
 - オペレーティングシステムの更新がインストールされる際に、メールでお知らせします。
 - オペレーティングシステムの更新がインストールされた際に、メールでお知らせします。
 - オペレーティングシステムのアップデートのインストール中にエラーが発生した場合、電子メールが送信されます。

手動で PRISMAservice からソフトウェア・アップデートをダウンロードします。

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [PRISMAservice から入手可能な Microsoft の更新]に進みます。
3. 利用可能なソフトウェアの更新を選択します。[ダウンロード] をクリックします。
ダウンロードの進行状況は、[ダウンロードの進捗状況] の欄で確認できます。
4. 進捗インジケータが [100%]で、状態が [ダウンロード済み]で、[インストール] ボタンが利用可能なとき、ダウンロードは終了します。

手動で PRISMAservice からソフトウェア・アップデートをインストールします。

1. [サポート] - [更新] タブ を選択します。
2. [PRISMAservice から入手可能な Microsoft の更新]に進みます。
3. ダウンロードしたオペレーティングシステムのアップデートを選択します。[インストール] をクリックします。
ダイアログ画面がポップアップします。
4. OK をクリックして選択したパッケージを確定します。
システムのスイッチを切らないでください。システムが自動的に再起動し、インストールが完了します。

プリント システムの移動

プリント システムのスイッチをオフにする

はじめに

プリント システムのスイッチを完全にオフにする場合、いくつかの手順に従う必要があります。

手順

1. プリンタ前面の [オン/オフ ボタン] を使用して、プリント システムのスイッチをオフにします。点灯していたボタンが点滅し始めます。



メモ

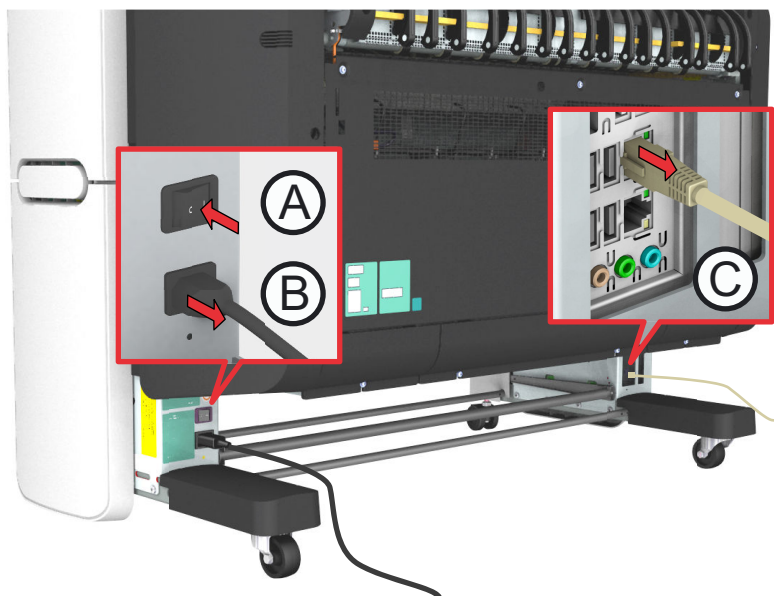
WebTools Express の [シャットダウン] ボタンを使用することもできます。



重要

[オン/オフ ボタン] の点滅が停止するまで待ちます。

2. プリント システム (A) 背面の [電源スイッチ] をオフにします。



ネットワーク ケーブルおよび電源ケーブルの取り外し

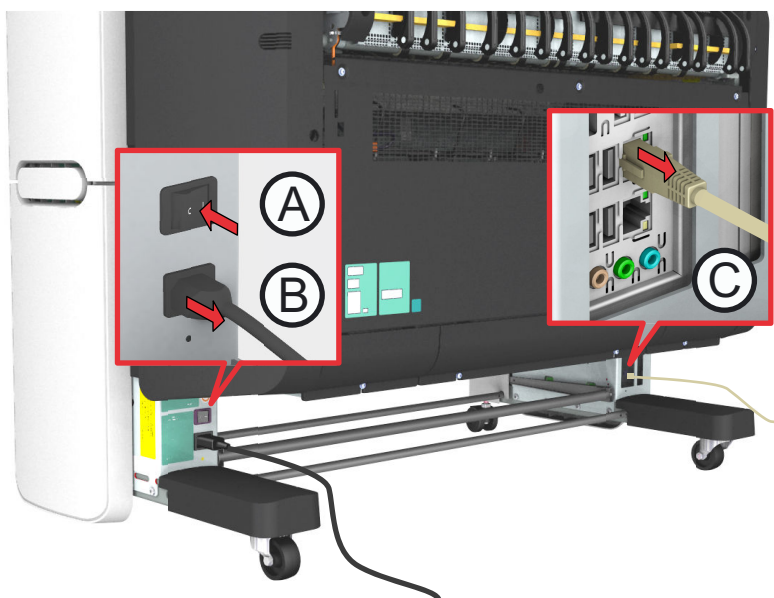
手順



重要

電源スイッチ (A) が「オフ」の位置にあることを確認してください。

1. プリンタ背面右側のネットワーク接続端子 (C) から、ネットワーク ケーブルを取り外します。



2. コンセントから主電源ケーブルを取り外します。
3. プリンタ (B) 背面左側の電源接続端子から、主電源ケーブルのもう一方の端を取り外します。

プリントシステムの移動および再調整

はじめに

プリントシステムを新しい場所に移動した場合は、最適な出力品質を確保するため、再調整が必要かどうか確認する必要があります。

調整手順には2つのツールが必要です。これらのツールは下側右前面カバーの後ろに収納されています。

必要なツール

アレン レンチと箱スパナ



重要

- プリンタが接続されたら、まずプリンタのスイッチをオフにして、取り外す必要があります ([プリントシステムのスイッチをオフにする \(235 ページ\)](#) および [ネットワーク ケーブルおよび電源ケーブルの取り外し \(237 ページ\)](#) を参照)。
- 用紙引き出しを閉じます。



メモ

プリンタの作業エリアのサイズに注意してください ([作業エリア \(設置面積\) \(20 ページ\)](#)) を参照)。

手順

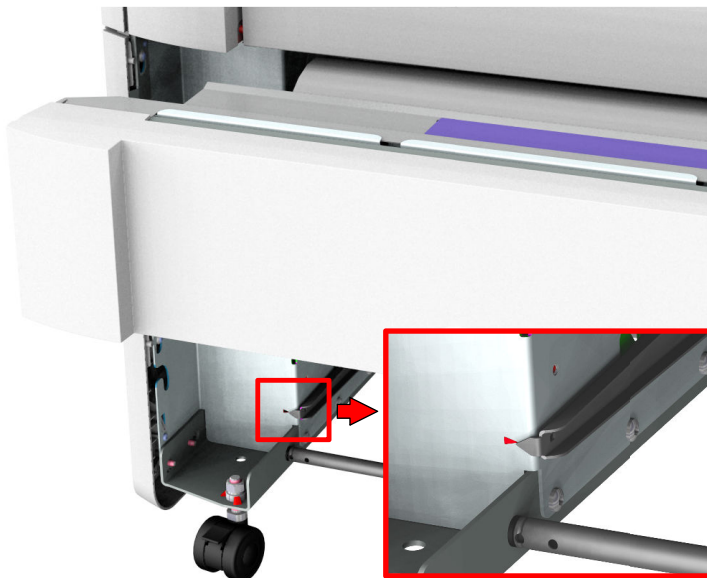
1. ホイール ブレーキを解除し、プリントシステムを新しい場所に移動します。
2. システムが正しい位置に移動したら、ブレーキをロックします。
3. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



4. 下側右前面カバー (1) をスライドさせて取り外します。



5. レベル インジケータの矢印がマーカの中央を指していることを確認します。
 中央を指していない場合は、手順 5 に進んで作業を続けます。
 中央を指している場合は、手順 9 に進んで作業を続けます。



6. 下側右前面カバー (11) を上方にスライドさせて取り外し、調整手順に必要なツールにアクセスします。



7. 箱スパナを使用して、ナットを緩めます。



8. アレン レンチを使用して、レベル インジケータの矢印がマーカの中央を指すよう調整します。



9. 箱スパナを使用して、ナットを締めます。



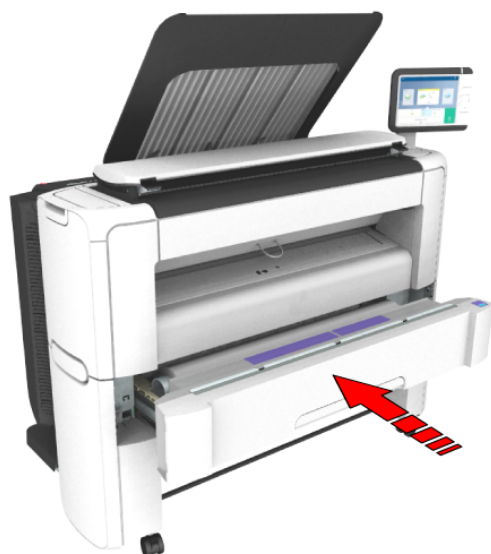
10. 下側右前面カバーを元通り配置します。



11. ツールと下側右前面カバーを元通り配置します。



12. 用紙引き出しを閉じます。



電源ケーブルおよびネットワーク ケーブルの接続

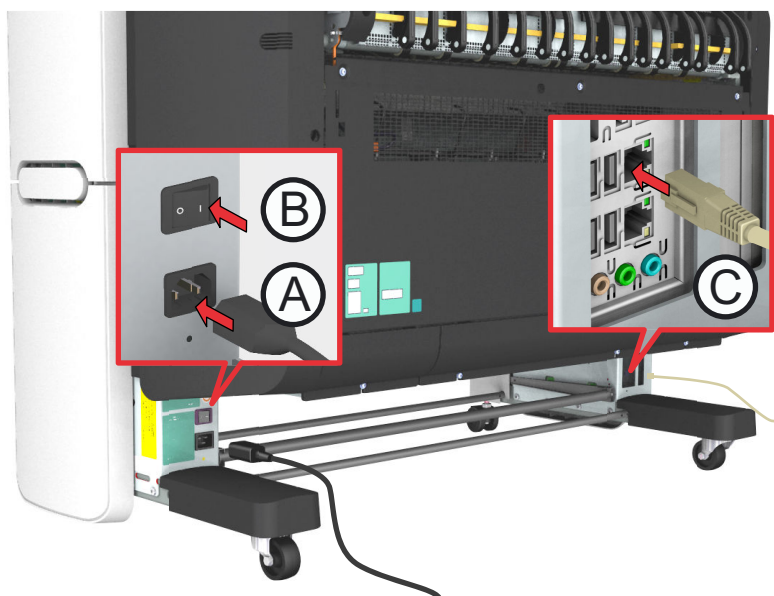
手順



重要

電源スイッチ (B) が「オフ」になっていることを確認してください。

1. 主電源ケーブルをプリンタ (A)の左背面にある電源接続部に差し込みます。



2. 電源ケーブルのもう一方の端をコンセントに接続します。
3. ネットワークケーブルを社内ネットワークに接続し、プリンター右背面の上部(RJ45)接続ポート (C)に接続して、プリンターを社内ネットワークに接続します。

プリント システムのスイッチ オン

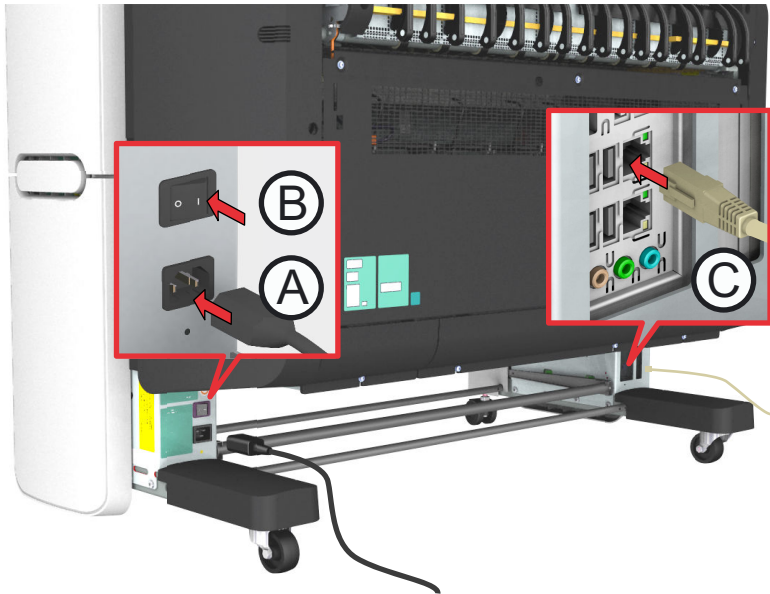


重要

- 電源ケーブル(A) が接続されていることを確認します。
- ネットワーク ケーブル (C) が接続されていることを確認します。

手順

1. プリンタの背面左側にある電源スイッチをオンにします。(B)



用紙の交換

ロール紙の取り外し



重要

- ロール紙の取り扱いには十分注意してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、プリンタが損傷する場合があります。
- プリント処理中に用紙引き出しを開かないでください。



注意

- ロール紙を取り扱う際には、指をけがしないよう注意してください。
- A0 ロール紙を位置 2 から取り外す場合は、腰を保護するために、図に示すように膝を曲げるようにしてください。

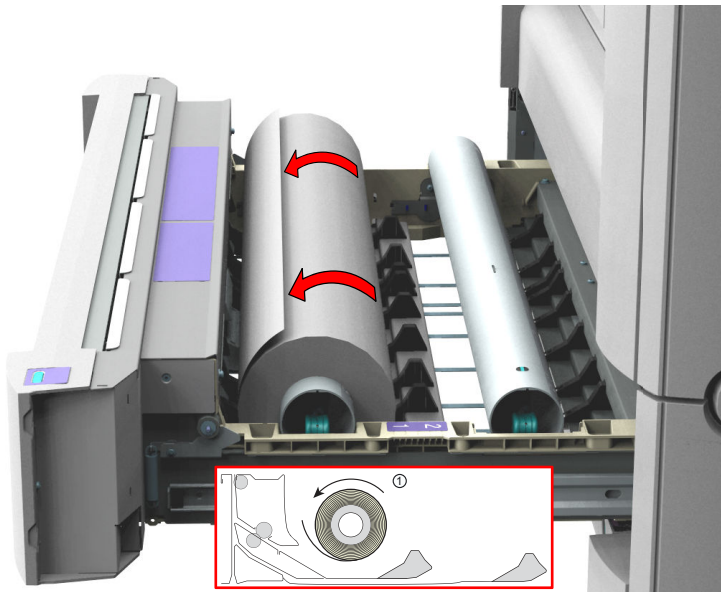


手順

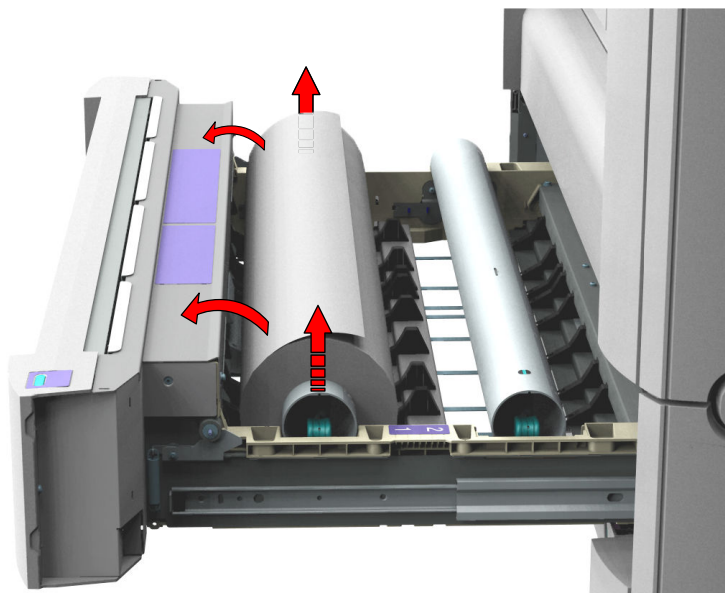
1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



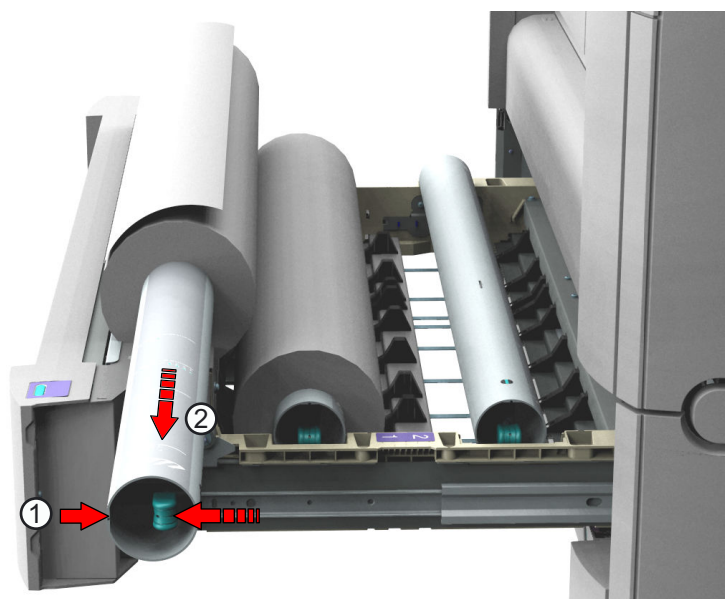
2. 手動で用紙を巻き戻し、金属製の用紙ガイドから用紙を取り外します。



- 図に示すように両手を使用して、ロール紙とロール紙ホルダーを持ち上げ、ロール ローディング ステーションに置きます。



- ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを手前に引き、ロール紙のコアからロール紙ホルダーを取り出します。
空のロール紙ホルダーを引き出しに戻します (図を参照)。



- ロール ローディング ステーションからロール紙を取り出します。
転落などを防ぐため、安全な場所に保管します。

ロール紙をパッケージから取り出す



重要

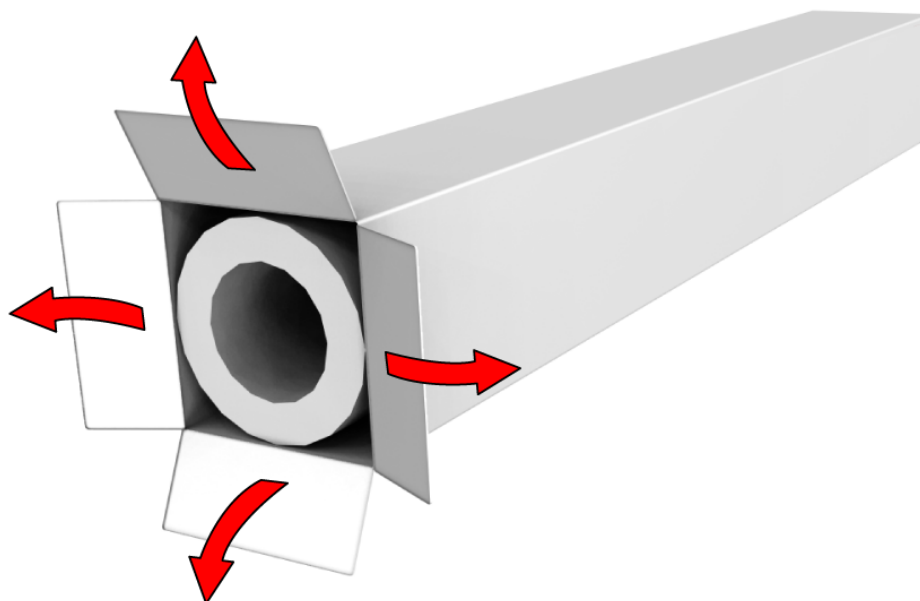
- ロール紙の取り扱いには十分注意してください。凹凸のあるロール紙を使用すると、プリンタが損傷する場合があります。
- ロール紙をパッケージから取り出した後、コアの内側に正しい用紙名を必ずメモしてください。こうすることで、ロールが空になる前に交換して後から再利用する場合に、適切な用紙情報を使用することができます。

手順

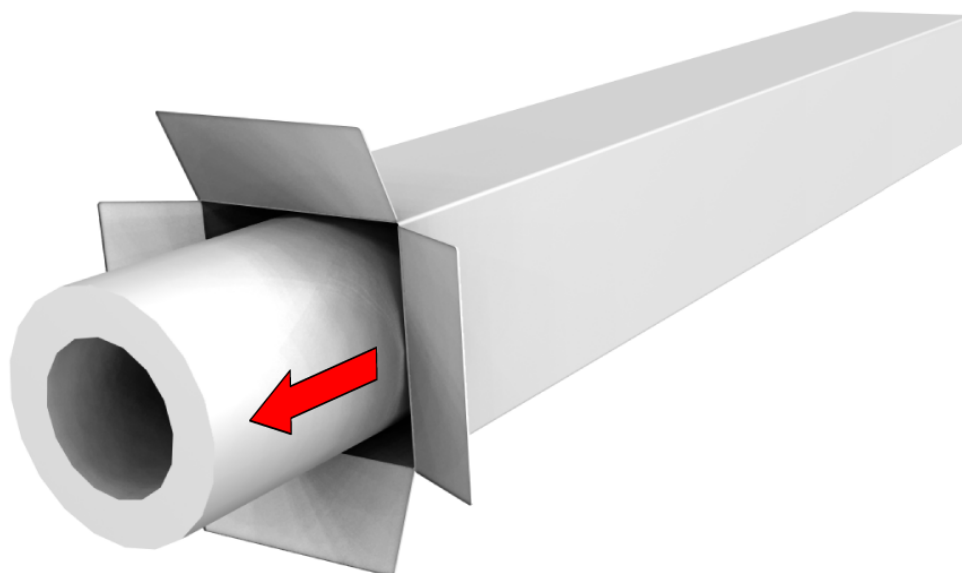
1. 用紙ボックスをテーブルに置きます。



2. ボックスを開いて、プラグがある場合は取り外します。



3. ボックスからロール紙を注意深く取り出します。



4. プラグがもう 1 つある場合はそれも取り外し、ロール紙のプラスチックのカバーを取り外します。

ロール紙の装着

はじめに

位置 1 の引き出しの正面または位置 2 の引き出しの背面に用紙を装着できます。



メモ

- 腰を保護するために、A0 または E サイズのロール紙を位置 1 に装着し、A2 または C サイズのロール紙を位置 2 に装着することが推奨されます。
- 生産性を改善するために、最も使用される用紙を上段引き出しに装着することが推奨されます。



注意

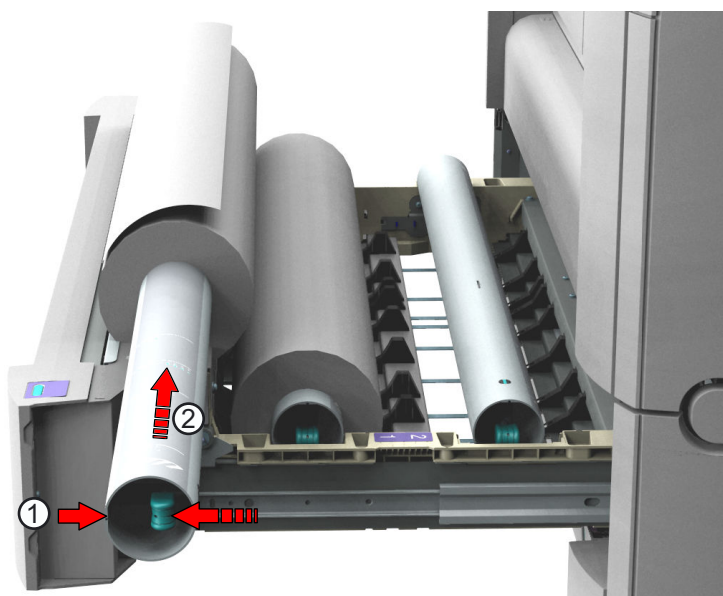
ロール紙を取り扱う際には、指をけがしないよう注意してください。

手順

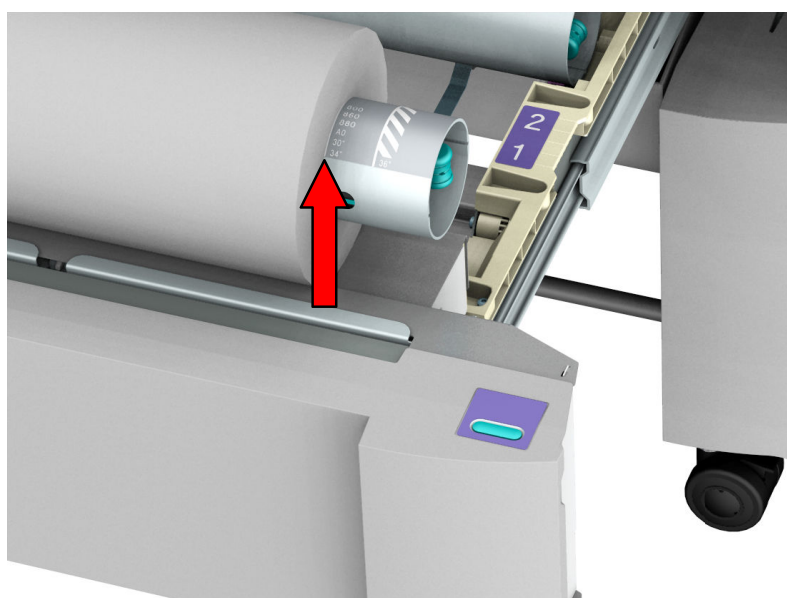
1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



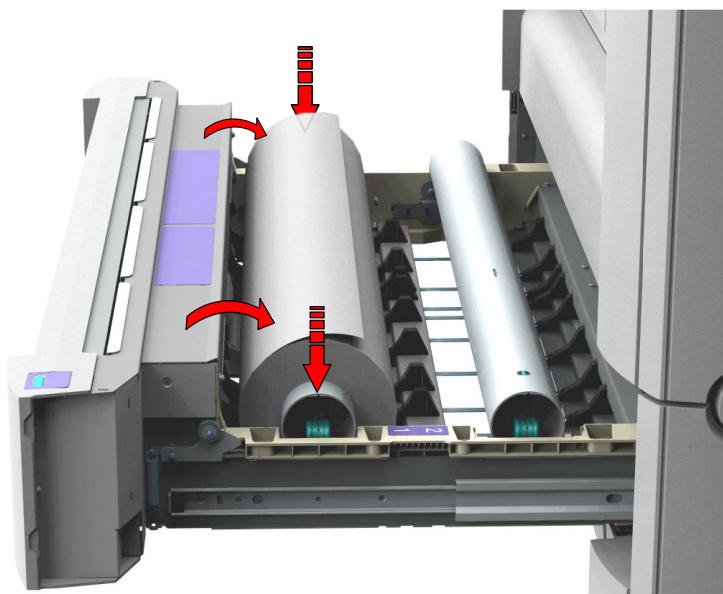
2. 新しいロール紙を、ロール ローディング ステーションに取り付けます。
3. ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを手前に押します (1)。ロール紙ホルダーを、新しいロール紙のコアの右側に差し込みます (2)。



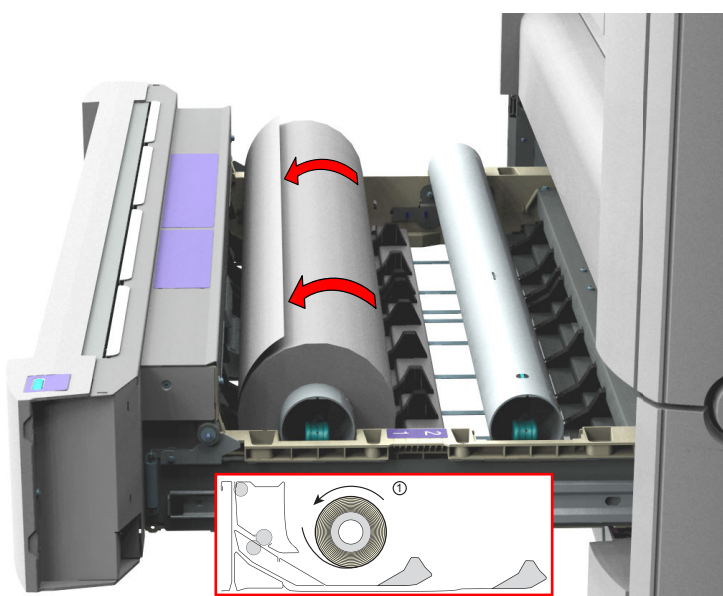
4. ロール紙ホルダーの 適切なサイズ インジケータの中央にロールの位置を合わせ、ロック機構のハンドルをリリースします。



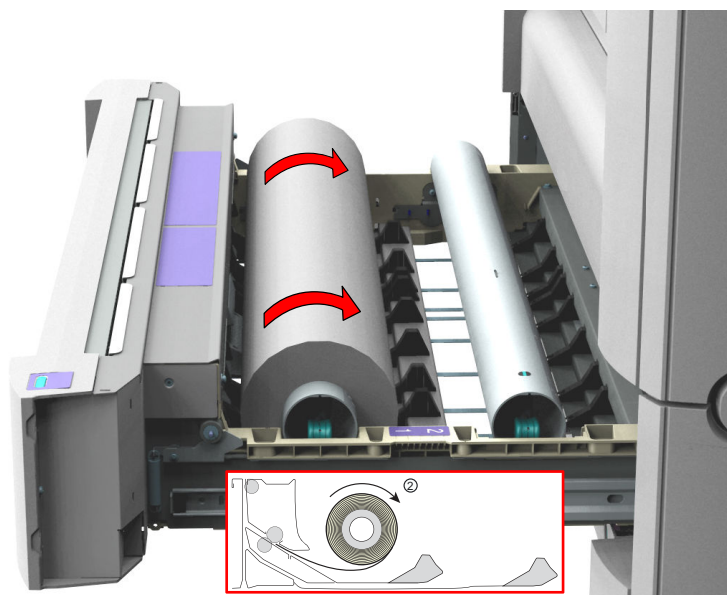
5. 新しいロール紙からテープを取り外します。
図に示すように両手を使用して、ロール紙を用紙引き出しに取り付けます。



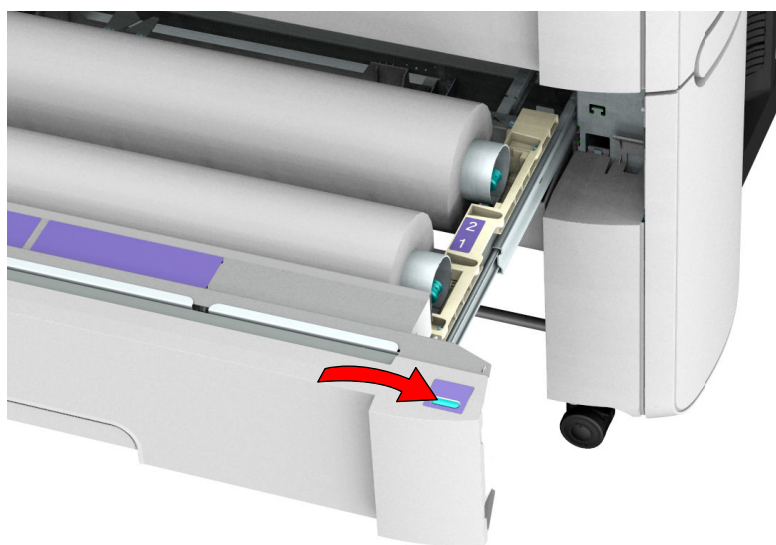
6. 両手を使用して、用紙のフラップが金属製の用紙ガイドを通り過ぎるまで、ロール紙を巻き戻します (1)。



7. 両手を使用して、用紙が自動的に搬送されるようになるまで、用紙ガイドの下に用紙をスライドさせます (2)。



8. 必要に応じて、[クリーン カット ボタン] を押して、新しいロール紙の先端をクリーン カットします。ボタンを 1 回押して約 20 cm の余白にするか、ボタンを押したままにして、余白が目的の長さになったら離します。



9. 用紙引き出しを閉じます。



メモ
装着中に用紙引き出しを開かないでください。

10. 操作パネルに新しい用紙が検出されたことを伝えるメッセージが表示されます。自動的に検出されない場合は、ウィザードの指示に従って適切な用紙の種類とサイズを定義します。

ロール紙の装着 (位置 2)

はじめに

位置 1 の引き出しの正面または位置 2 の引き出しの背面に用紙を装着できます。



メモ

- 腰を保護するために、A0 または E サイズのロール紙を位置 1 に装着し、A2 または C サイズのロール紙を位置 2 に装着することが推奨されます。
- 生産性を改善するために、最も使用される用紙を上段引き出しに装着することが推奨されます。



注意

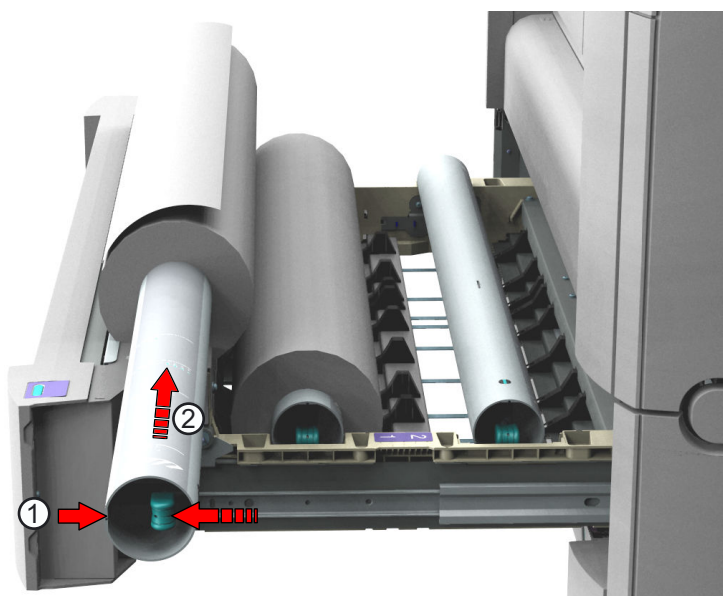
- 10 kg 以上の重い用紙を位置 2 に装着する作業は、2 名で行うか、リフト用具を使って行う必要があります。
- ロール紙を取り扱う際には、指をけがしないよう注意してください。
- A0 ロール紙を位置 2 に装着する場合は、腰を保護するために、図に示すように膝を曲げるようにしてください。

手順

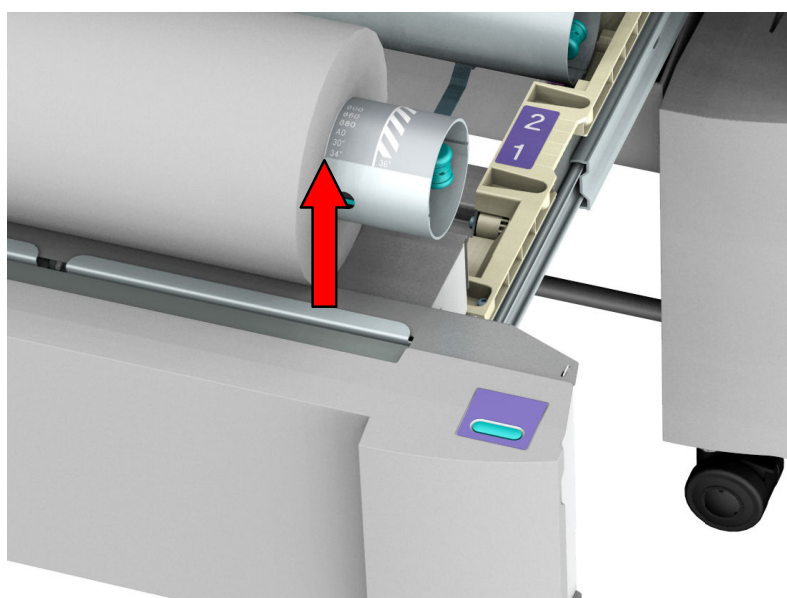
1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



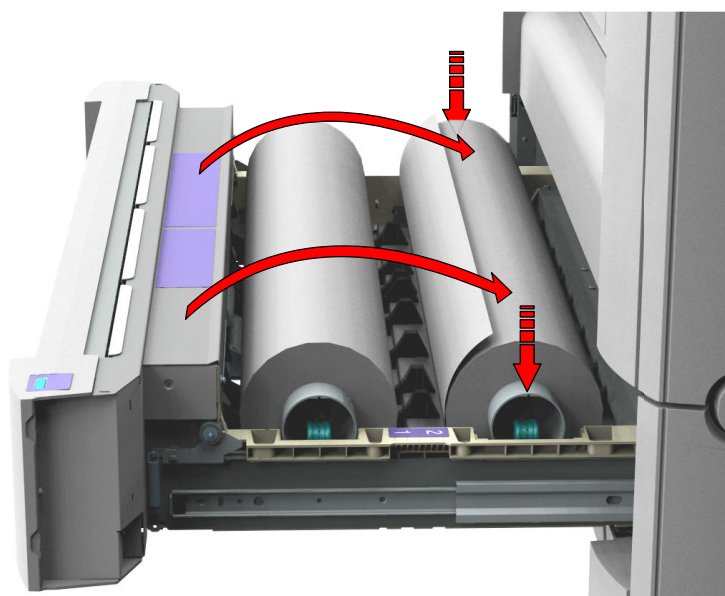
2. 新しいロール紙を、ロール ローディング ステーションに取り付けます。
3. ロール紙ホルダーのロック メカニズムのレバーを手前に押します (1)。ロール紙ホルダーを、新しいロール紙のコアの右側に差し込みます (2)。



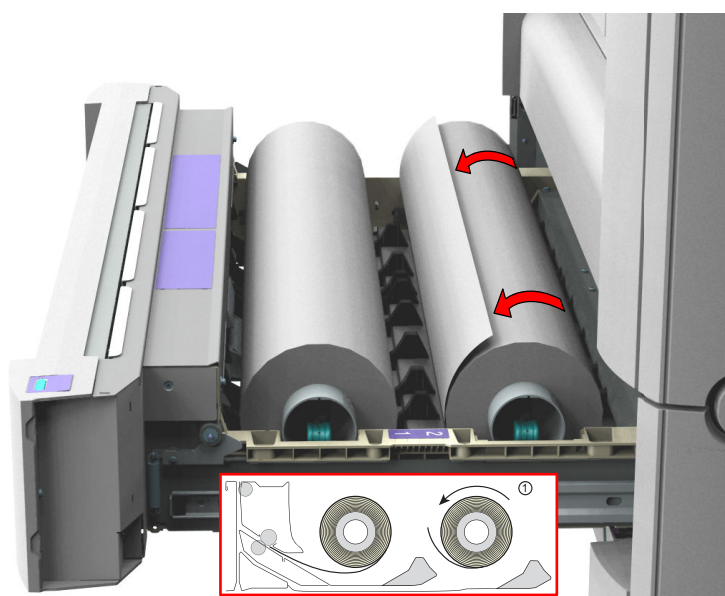
4. ロール紙ホルダーの適切なサイズ インジケータの中央にロールの位置を合わせ、ロック メカニズムのレバーをリリースします。



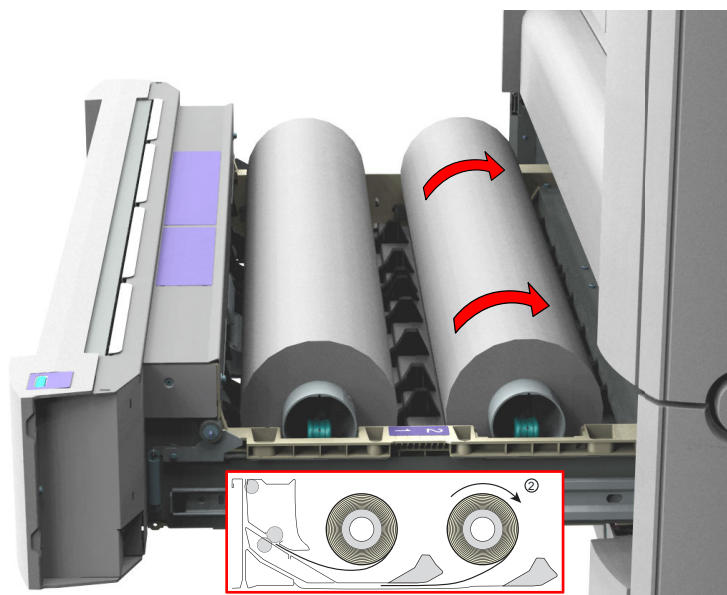
5. 新しいロール紙からテープを取り外します。
図に示すように両手を使用して、ロール紙を用紙引き出しに取り付けます。



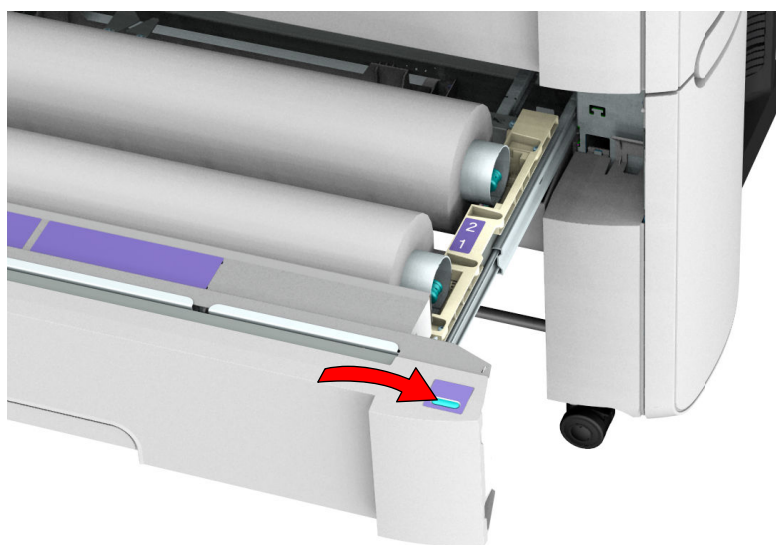
6. 両手を使用して、用紙のフラップが金属製の用紙ガイドを通り過ぎるまで、ロール紙を巻き戻します (1)。



7. 両手を使用して、用紙が自動的に搬送されるようになるまで、用紙ガイドの下に用紙をスライドさせます (2)。



8. 必要に応じて、[クリーン カット ボタン] を押して、新しいロール紙の先端をクリーン カットします。ボタンを 1 回押して約 20 cm の余白にするか、ボタンを押したままにして、余白が目的の長さになったら離します。



9. 用紙引き出しを閉じます。



メモ

装着中に用紙引き出しを開かないでください。

10. 操作パネルに新しい用紙が検出されたことを伝えるメッセージが表示されます。自動的に検出されない場合は、ウィザードの指示に従って適切な用紙の種類とサイズを定義します。

用紙の種類

はじめに

Canon の装置および用紙は最良な品質とパフォーマンスに調整されています。メディア（普通紙、再生紙、透明紙、色紙、各種ポリエステルフィルムなど）のリストは、最寄りの代理店から入手できます。

用紙名は次の場所で選択できます:

- マルチタッチ操作パネル
- WebTools Express
- Driver Select for Microsoft® Windows®
- Driver Express for Adobe® Postscript® 3™
- PRISMAproduce Tech

用紙の種類と重量



重要

高温多湿の部屋に用紙を保管しないでください。最も優れたプリント品質に推奨される環境では、温度が摂氏 27 度または華氏 80 度を超えず、相対湿度は 30 ～ 60 パーセントです。ほこりの多い場所や直射日光の当る場所も避けてください。湿気を吸収しないようにするため、未使用の用紙をビニール袋で覆ってください。

欧州での名称	重量	米国での名称	重量
Paper	60gr	Bond	16lb
Paper	64gr	Bond	17lb
Paper	75gr	Bond	20lb
Paper	80gr	Bond	21lb
Paper	90gr	Bond	24lb
Paper	100gr	Bond	27lb
Paper	110gr	Bond	29lb
Translucent	68 gr	Translucent	18lb
Transparent	75gr	Transparent	20lb
Transparent	90gr	Transparent	24lb
Transparent	110gr	Transparent	29lb
Film	88 μ m / 3.5 mil	Film	88 μ m / 3.5 mil
Film	100 μ m / 4.0 mil	Film	100 μ m / 4.0 mil
Vellum	75 gr	Vellum	20lb



メモ

最新情報については、当社の Web サイトにアクセスしてください。

ロール サイズ

ロール	最大	最小
幅	914 mm / 36 インチ	279 mm / 11 インチ



ロール	最大	最小
長さ	200 m / 650 フィート	420 millimetres / 16.54 inch (最小カット長)

用紙サイズ

はじめに

Canon の装置および用紙は最良な品質とパフォーマンスに調整されています。Canon では、純正用紙の使用をお勧めします。用紙のリストは (普通紙または再生紙、トランスペアレント紙、カラー紙、ポリエステル フィルムなどを含む)、最寄りの代理店にご請求ください。



重要

高温多湿の部屋に用紙を保管しないでください。最も優れたプリント品質に推奨される環境では、温度が摂氏 27 度または華氏 80 度を超えず、相対湿度は 30 ～ 60 パーセントです。ほこりの多い場所や直射日光の当る場所も避けてください。湿気を吸収しないようにするため、未使用の用紙をビニール袋で覆ってください。

ISO A (DIN) 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
A3	297	420
A2	420	594
A1	594	841
A0	841	1189

ISO B (DIN) 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
B2	500	707
B1	707	1000

Carto B 規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
CartoB2	500	700
CartoB1	700	1000

ANSI 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
B	11	17
C	17	22
D	22	34
E	34	44

ARCH 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
B+	12	18
C+	18	24
D+	24	36
E+	36	44

ARCH1 規格

用紙	幅 [インチ]	長さ [インチ]
15 インチ	15	21
21 インチ	21	30
E1 (30 インチ)	30	42

日本語規格

用紙	幅 [mm]	長さ [mm]
440 x 594	440	594
660 x 841	660	841
800 x 1189	800	1189
880 x 1230	880	1230

トナーの補充

トナーの補充

はじめに

完全なクローズド トナー システムを使用するため、簡単にトナーを補充できます。

使用する場合

「トナーを補充してください」というメッセージが操作パネルに表示されたら、トナーを補充する必要があります。このメッセージはトナーが補充されるまで表示されています。通常の状態では、プリントが停止する前にプリンタは現在のジョブを終了できます。



始める前に

- プリンタの電源を入れたまま、トナーを補充することができます。
- plotWAVE T30/T35 に適しているトナーを使用していることを確認します。
- 同時に 1 つのトナー ボトルのみを使用します。複数のトナー ボトルを使用すると、収納部があふれてトナーが漏れ出します。
- トナーボトルを 2 本補充する際は、残余トナー コンテナも交換する必要があります。詳細については、[残余トナー コンテナの交換 \(266 ページ\)](#) を参照してください。

手順

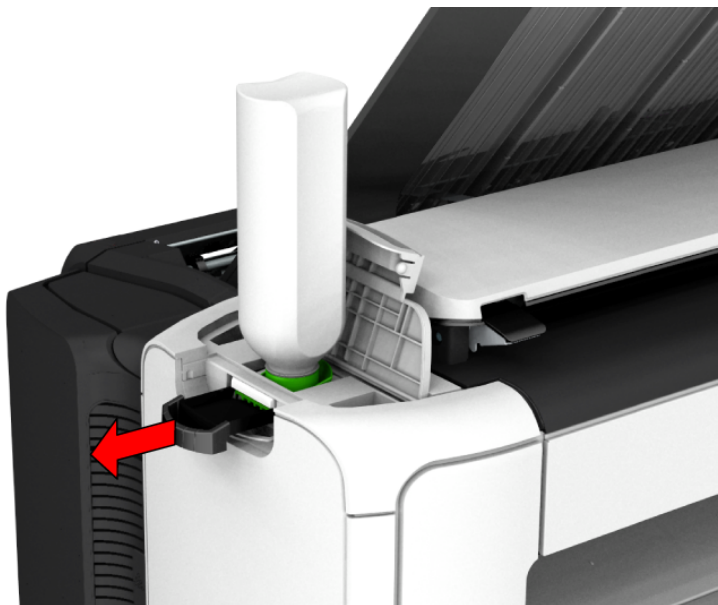
1. トナー収納部を開きます。



2. トナー ボトルをよく振ります。ボトルは閉じたままにします。
3. ボトルをトナー ユニットの補充用開口部に取り付けます。



4. スライダを手前に引き、ボトルおよびトナー ユニットの補充用開口部を開きます。



5. トナー ボトルを軽くたたいて (横向きに)、ボトルからトナーを落とします。
6. トナー ボトルが空になったら、トナー ユニットのスライダを元の位置に戻し、補充用開口部およびトナー ボトルを閉じます。開口部からトナー ボトルを取り外します。

残余トナー コンテナの交換

はじめに

センサが残余トナー コンテナが一杯であることを検出します。コンテナが一杯の場合、プリンタはプリントを停止し、操作パネルにメッセージが表示されます。[残りのトナー容器はフルか、または取り付けられていません。] [空の容器を取り付けてください。] コンテナを交換し、プリントを続行します。



メモ

トナーボトルを 2 本補充した後は、残余トナー コンテナを交換してください。



重要

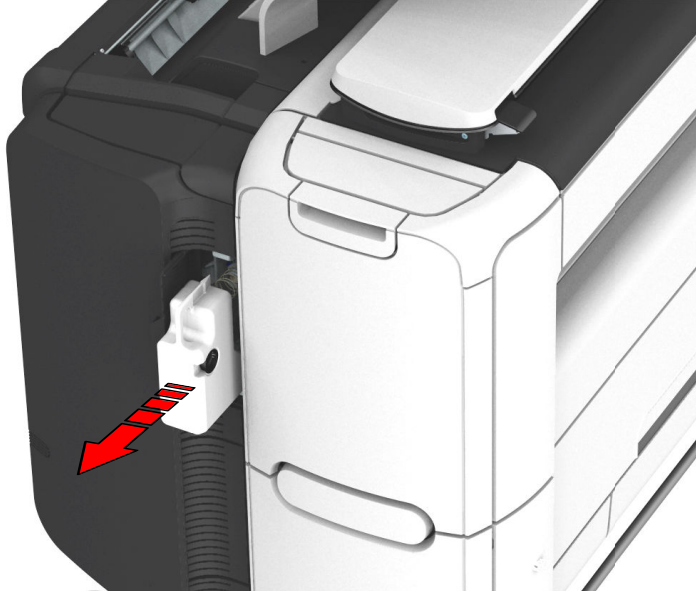
プリント処理中はコンテナを交換しないでください。プリンタの電源を入れたまま、コンテナを交換することができます。

手順

1. 残余トナー収納部を開きます。



2. いっぱいになった残余トナー コンテナを取り出します。



メモ

残余トナー コンテナは通常の廃棄物として廃棄することができます。

3. 空の残余トナー コンテナを取り付けます。
4. 残余トナー コンパートメントを閉じます。

スキャナのメンテナンス

スキャナのクリーニング

はじめに

コピーおよびスキャンの品質の低下を避けるために、スキャナを定期的にクリーニングします。

使用する場合

以下の場合にクリーニングします。

- トランスペアレント接触プレートが汚れていて、静電気を帯びている
- 原稿サポート ローラーが汚れており、トランスペアレント原稿を使用している

手順

1. 両手を使用して左右のスキャナ オープン レバーを押し上げ、スキャナ上部カバーを完全に開きます。ロック メカニズムが作動し、スキャナ上部カバーは開いたまま閉じません。

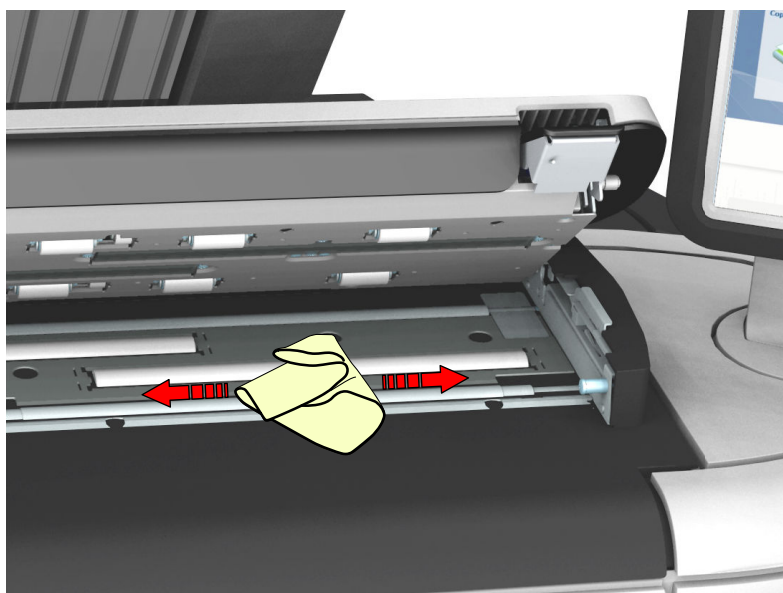




重要

スキャナのクリーニングには、スキャナ クリーニングキットに付属の柔らかくてけば立ちのないモスリン タオルを使用します。

2. 水で湿らせてからしっかり絞ったモスリン タオルを使用し、以下に示すスキャナの各部をクリーニングします。
 - ローラーを回転させてクリーニングします。
 - 汚れた部分を拭きます。



3. 乾いたモスリン タオルを使用して、クリーニング済みの各部をから拭きします。



注意

指をスキャナ上部カバーに挟まないよう注意してください。

4. 両手を使用して、スキャナ上部カバーをゆっくりと押し下げて閉じます。



メモ

左右のスキャナ オープン レバーが所定の位置でロックされたことを確認します。

スキャナの調整

はじめに

コピーまたはスキャン品質に満足できない場合は、スキャナの調整を実行することができます。キャリブレーション ウィザードを使用してスキャナを調整します。

始める前に

調整手順を実行する前に、スキャナをクリーニングします。スキャナの各部が汚れると、コピーおよびスキャン品質が低下します。詳細については、[スキャナのクリーニング \(268 ページ\)](#) を参照してください。

用紙引き出しを開き、ロール 2 の後ろにあるスキャナ調整シートを見つけます。詳細については、[用紙引き出し \(27 ページ\)](#) を参照してください。

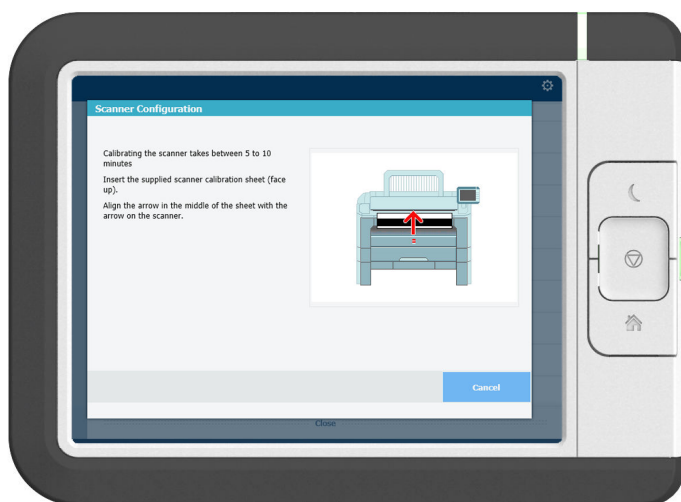


重要

- 調整シートの取り扱いには十分注意してください。
- 調整シートの黒の領域には指を触れないでください。
- 調整シートを使用する前に、調整シートに付着したほこりなどを拭き取ります。

手順

1. システム メニュー サムネイルを選択します。
2. 画面の右下隅のリストで、[スキャナ] を選択します。ウィザードが開きます。
3. 「[スキャナ調整]」を選択し、ウィザードの指示に従います。



4. ウィザードの指示に従って、調整シートを挿入します。
5. グリーン ボタンをタップして、スキャナの調整を開始します。



メモ

[調整には 5-10 分かかります]

第6章

ライセンス管理

ライセンス管理について

はじめに

プリンタが使用する一部のアプリケーションには、ライセンスをアクティブにする必要があります。plotWAVE T30/T35 には、製品ライセンスが常に必要です。ライセンスについては、いくつかの操作を実行できます。

手順

1. 現在アクティブなライセンスを表示します。
すでに持っているライセンスと、持ちたいライセンスを表示します。必要な新しいオプションのリストを作成し、ライセンス番号をメモすることができます。最寄りの代理店では、新しいライセンス ファイルを作成するために、新しいオプションのリストとライセンス番号が必要になります。
2. お使いのシステムのホスト ID を取得します。
新しいライセンス ファイルを作成するには、ホスト ID が必要です。
3. 新しいオプションのリスト、ライセンス番号、およびホスト ID をお近くの代理店に送信します。
最寄りの代理店が新規ライセンス ファイルを作成し、お届けします。
4. 必要に応じて現在アクティブなライセンスのバックアップを作成します。
そのために、現在アクティブなライセンスを保存します。
5. ライセンスをアクティベートします。
ライセンス アクティベーション ジョブでは、以下の手順が示されます。
 - 1. ライセンス ファイルの場所を参照します。
 - 2. 新たにアクティブなライセンスをプレビューします。
 - 3. エンド ユーザー ライセンス契約に同意します。
 - 4. ライセンス アクティベーション ジョブを終了します。
 - 5. システムを再起動します。

ライセンスを確認する

ライセンスについて

WebTools Express のライセンス セクションを使用すると、システム上でアクティブなライセンスを管理することができます。プリンタの特定の機能を起動するには、ライセンスが必要です。

ライセンス情報の概要

WebTools Express で [サポート] - [ライセンス] タブを開き、使用できるライセンスを表示します。

次のような目的のためにライセンス情報を表示することができます。

- アクティブなライセンスについて、ライセンスの状態、ライセンスの種類、ライセンスの有効期間をチェックします。
- 使用しているシステムで使用可能なオプションをすべて表示します。
- 必要な新規オプションのリストを作成します。
- ライセンス番号をメモします。

情報	説明
[オプション]	このフィールドには、プリンタに関する使用可能なすべてのライセンスが表示されます。
[都道府県]	このフィールドには、次のライセンス状態のいずれかが表示されます。 • [権限あり]。機能を使用する権限があります。 • [権限なし]。機能を使用する権限がありません。該当する機能についてライセンスを取得できます。
[ライセンスの種類]	このフィールドには、次のライセンスの種類のいずれかが表示されます。 • [再販売]。 • 再販禁止。
[有効期限 (日数)]	このフィールドには、ライセンスが有効な残り日数が表示されます。
[ライセンス番号]	このフィールドには、ライセンス番号が表示されます。

現在アクティブなライセンスの保存

はじめに

すべてのアクティブなライセンスを 1 つのファイルに保存できます。

使用する場合

ライセンス アクティベーション ジョブを開始する前に、または現在のライセンスの状態を保存する際に、現在アクティブなライセンスを保存します。

手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開きます。
2. [保存] ボタンをクリックします。
zip ファイルがダウンロードされます。
3. ワークステーション上のディレクトリを選択して、zip ファイルを保存します。
4. 新しいファイル名を入力し、「[保存]」をクリックして現在アクティブなライセンスのバックアップを作成します。

新しいライセンス ファイルの取得

はじめに

Canon Production Printing アプリケーションとオプション機能は、権限のないユーザが使用できないよう保護されています。様々なオプションを有効にするには、ライセンスをアクティベートする必要があります。新しいライセンスをご希望の場合は、お近くの代理店に正しい情報をお伝えいただく必要があります。

手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開いて、ライセンス情報ページを表示します。
2. 持っているライセンスと持っていないライセンスを表示します。希望するライセンスに記載された [オプション] 情報およびライセンス番号をメモしてください。
3. 「[ホスト ID]」をクリックして、下側のホスト ID 情報をメモします。
4. お近くの代理店にライセンス情報とホスト ID を送信します。
5. 代理店からライセンス ファイルを受け取ったら、ファイルをネットワーク上に保存します。

結果

新しいライセンス ファイルを保存したら、ライセンスをアクティベートできます。詳細については、[新しいライセンスをアクティベート \(278 ページ\)](#) を参照してください。

新しいライセンスをアクティベート

はじめに

「WebTools Express」にある「[ライセンス]」タブで新しいライセンス ファイルをアクティベートできます。



メモ

- 新しいライセンス ファイルを起動する前に、現在起動されているライセンス ファイルのライセンス情報をバックアップ ファイルに保存することをお勧めします。「[保存]」ボタンを使用して、現在のライセンス ファイル情報を保存します。
- ライセンスを起動するには、ライセンス ファイルのアップロード後、システムを再起動する必要があります。

手順

1. [サポート] - [ライセンス] タブを開いて、ライセンス情報ページを表示します。
2. [起動] をクリックしてブラウザ ウィンドウを開き、ネットワーク上のライセンス ファイルを検索します。
3. ネットワークを参照し、ライセンス ファイルを選択します。
4. 「[次へ]」をクリックして手順を確認し、再び「[次へ]」をクリックします。
5. 使用許諾契約が表示されたら一番下までスクロールして、「[同意する]」の前のチェックボックスをチェックします。



メモ

使用許諾契約のボックスにチェックマークを付けない場合、ライセンスはインストールされません。

6. [次へ] をクリックします。
7. [OK] をクリックして、ライセンス ファイルの起動を開始します。処理が完了すると、メッセージが表示されます。
8. システムを再起動して、変更を有効にします。

結果

- 有効期限切れのライセンスを更新すると、新しいライセンス ファイルで古いライセンス ファイルが上書きされます。
- 新しいライセンスをアップロードすると、概要に表示されるライセンスの状態が [権限なし] から [権限あり] に変化します。

第7章

アカウント管理

アカウント管理について

プリント システムはアカウント管理をサポートしています。アカウント管理は WebTools Express で有効および無効にできます。有効にすると、プリント、スキャン、および/またはコピー ジョブに対するアカウント情報を入力する必要があります。プリント ジョブ、スキャン ジョブ、コピー ジョブに対して別々に有効にすることもできます。

どの会計情報を提供する必要があるかは、PRISMAlytics Accounting、Océ Account Console、Repro Desk、または uniFLOW のようなサードパーティーのアプリケーションを介して顧客が決定します。詳細については、これらのアプリケーションのドキュメントを参照してください。

この章では、プリンタのアカウント管理ワークフローについて説明します。

WebTools Express でアカウント管理を設定

Introduction

プリンターは各印刷、コピー、スキャンの情報を記録します。さらにプリンターは、各印刷、コピー、スキャンの会計データをユーザーに強制することができます。

このデータは.csv ファイルに保存されます。プリンターは毎日新しいファイルを作成し、最大 99 日間データを保存できます。

WebTools Express には、アカウント管理を構成するための多くの設定があります。

定義

アカウント情報要件は管理者によって定義および管理されます。

「ログおよびアカウント」設定を指定するには

[プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開き、[ジョブ管理] で [プリント ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] または [コピーおよびスキャン ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] を有効にします。次に、[アカウントティング ログ] でアカウントの設定を定義します。

設定	値	説明
[プリント ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする] [コピーおよびスキャン ジョブについてアカウント情報の入力を必須にする]	[はい]	[はい]の場合、有効なアカウントティング・データを持つプリント・ジョブ、コピー・ジョブ、スキャン・ジョブしか作成できません。 すべてのプリント ジョブが Smart Inbox に送られます。 Publisher Express を使用して印刷ジョブを送信する場合、必要な会計データを「新規ジョブの作成」ウィンドウに入力する必要があります。 ユーザ パネルからコピーまたはスキャンする場合、あるいは USB キーからジョブをプリントする場合、ユーザ パネルで必要なアカウントティング情報を入力する必要があります。アカウント データ フィールドは操作パネルに表示されます。
	[いいえ]	アカウント データは必要ありません。
[ログ ファイルのフォーマット]	[ASCII (7 ビット)] [Unicode (UTF-16)]	ログデータがプリンターに保存されるファイル形式です。
[ログ データ フィールド分離記号]	[コンマ] [セミコロン] [タブ]	ログ ファイルで使用するフィールド区切りを定義します。
[ログ ファイルを保持する日数]	数値	日数として 1 ~ 99 の値を入力します
[アカウント ダイアログのアップロード: ホスト]	[任意のホストから] [単一ホストから]	いずれかのホストまたは単一のホストのみからアカウントティング ダイアログ更新を受け取った場合に定義します。
[アカウント ダイアログのアップロード: 単一ホスト]	ホスト名	アカウント ダイアログのアップロード元のホスト名または IP アドレス。[アカウント ダイアログのアップロード: ホスト] に [単一ホストから] の値がある場合にのみ有効。

アカウントワークフロー

はじめに

管理者は、印刷ジョブとコピー/スキャンジョブにアカウントティングデータが必要であることを設定できる。

仕事に会計データが必要な場合、ユーザーはそのようなデータを提供しなければならない。

コピー/スキャンジョブの場合、ユーザーはコピーまたはスキャンを行う前に、ユーザーパネルで会計データを提供する必要がある。

印刷ジョブの場合、ジョブ送信アプリケーションとドライバーは、会計データが必要かどうかをプリンターに問い合わせることができる。必要であれば、そのようなデータを提供するようにユーザーに強制することもできる。Publisher Express、PRISMAproduce Tech、Driver Select for Microsoft Windows がこれにあたる。Driver Express for Adobe Postscript はそうではない。

アカウントティングデータが必要で、プリンターがアカウントティングデータの無いジョブを受信した場合、そのジョブはスマート受信トレイに保持され、プリンターはそのジョブにアカウントティングデータがないことを表示します。次に、ユーザーはスマート受信トレイでジョブを編集し、会計データを指定し、ジョブを印刷することができる。

このセクションでは、印刷、コピー、およびスキャンジョブのアカウントティングデータを強制するワークフローについて説明します。

手順

1. 会計ダイアログを定義する。
2. 会計ダイアログをプリンタに押し出す。
3. プリント、コピー、スキャンの各ジョブについて、WebTools Express にアカウントティングデータを強制的に保存します。

結果

Driver Select for Microsoft Windows、Publisher Express、PRISMAproduce Tech 経由で印刷する場合、印刷する前に会計データを提供する必要があります。

USB からコピー、スキャン、プリントを行う場合、ジョブを開始する前に、ユーザーパネルで会計データを入力する必要があります。

プリンタでのワークフロー

手順

1. コピー、スキャンおよびプリントのジョブを作成します。
2. グリーン ボタンを押して、ジョブを開始します。
ダイアログが表示され、必要なアカウント情報の入力が必要です。
ユーザーが情報を入力しないと、ジョブを完了できません。

第 8 章

問題の解決

ジョブに関する問題を解決するには

手順

1. ジョブに問題がある場合、WebTools Express のジョブ キューの緑のバーが赤に変わります。WebTools Express のシステム モニタ セクションにメッセージが表示されます: [ユーザーによる操作が必要です]。
問題が発生し、キューにアクティブなジョブとして止まっているジョブは、太字のフォントで表示されます。
2. 操作パネルに、問題に関する詳細な情報が表示されます。この情報を利用して問題を解決できます。



メモ

紙詰まりが頻繁に発生する場合は、次のことを確認します。

- 用紙が適切に取り付けられていること
- 正しい用紙の種類を使用していること 詳細については、「[用紙 \(259 ページ\)](#)」を参照してください。
- 用紙搬送路から用紙を完全に取り除いたこと



メモ

解決不能なエラーが発生した場合は、操作パネルに表示されるエラー コードをメモするなどして、ヘルプデスクにお問い合わせください。

スキャナで原稿の詰まりを解消するには

はじめに

スキャナで原稿の詰まりが発生した場合は、[原稿詰まり] というメッセージが操作パネルに表示されます。スキャナから原稿を取り除く必要があります。操作パネル上のウィザードの指示に従い、詰まりを取り除きます。

原稿の詰まりが頻繁に発生する場合は、次の点を確認します。

- 使用原稿の種類がスキャナに適切であるかどうか
- 挿入する前に原稿がダメージを受けていないかどうか。

手順

1. 両手を使用して左右のスキャナ オープン レバーを押し上げ、スキャナ上部カバーを完全に開きます。ロック メカニズムが作動し、スキャナ上部カバーは開いたまま閉じません。



2. 原稿を取り除きます。
スキャナまたは前面の原稿排紙から原稿を引き出します。
3. 両手を使用して、スキャナ上部カバーをゆっくりと押し下げて閉じます。



メモ

左右のスキャナ オープン レバーが所定の位置でロックされたことを確認します。

4. 原稿を平らに伸ばして挿入します。

ヒーター セクションの紙詰まりを取り除く

はじめに

ヒーター セクションで紙詰まりが発生した場合は、取り扱いに注意する必要があります。

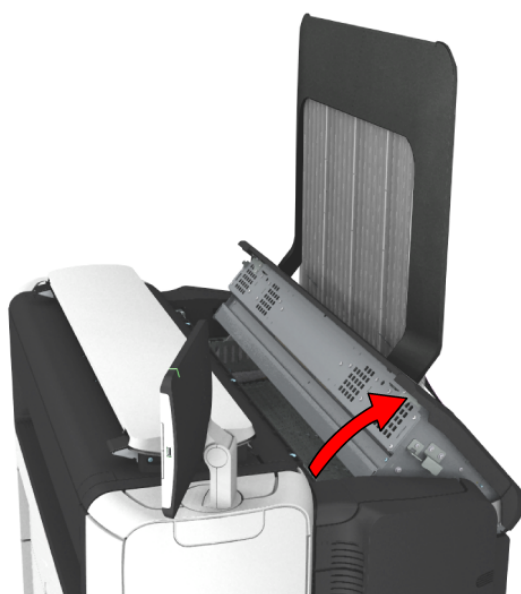
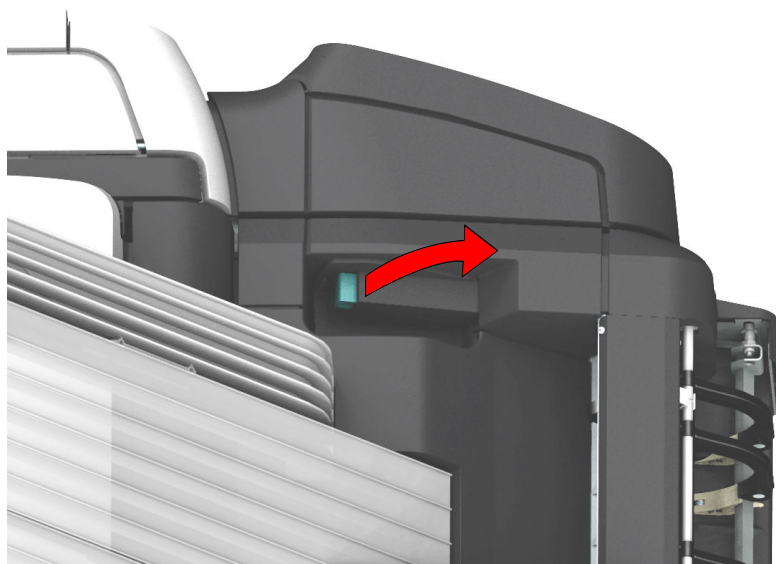


重要

通常、ヒューザーを閉じたままにしておく必要があります。このセクションを開けるのは、詰まった用紙を取り除く場合だけです。

手順

1. ヒーターの温度が下がるまで、しばらく待ちます。
2. 紙詰まり除去ハンドルを使用して上側背面カバーを開きます。



3. ヒューザー セクションに詰まった用紙があれば取り除きます。
4. 紙詰まり除去ハンドルの緑色のノブを押して、上側背面カバーを閉じます。



メモ

上側背面カバーを適切に閉じていることを確認します。 クリック音が聞こえたことを確認します。

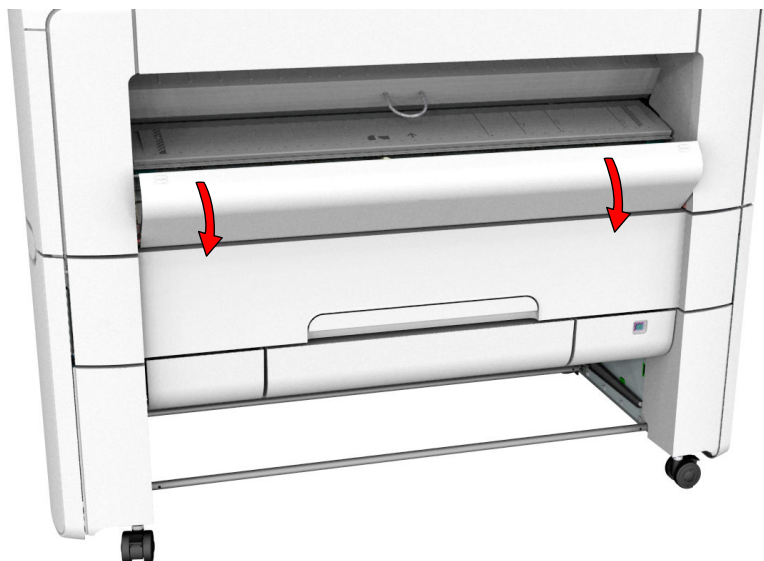
用紙バイパス セクションの紙詰まりを取り除く

はじめに

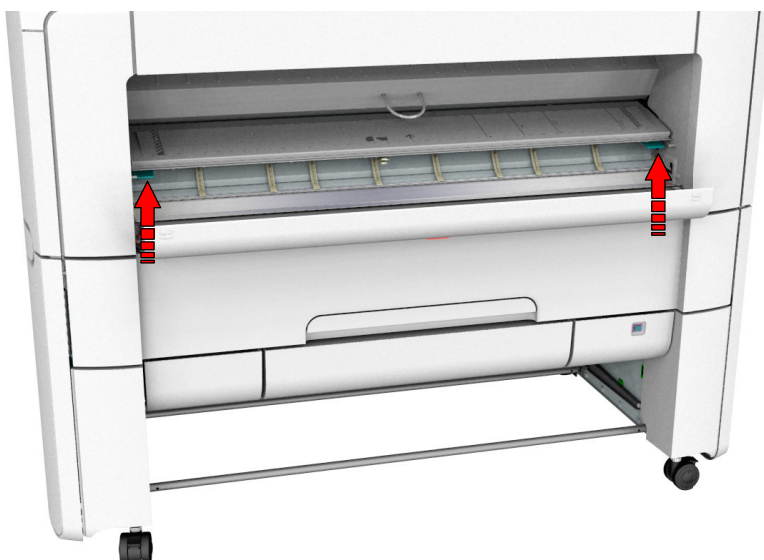
用紙バイパス セクションに紙詰まりが発生する場合は、ヘルプ ウィザードの指示に従い、以下の手順を実行してください。

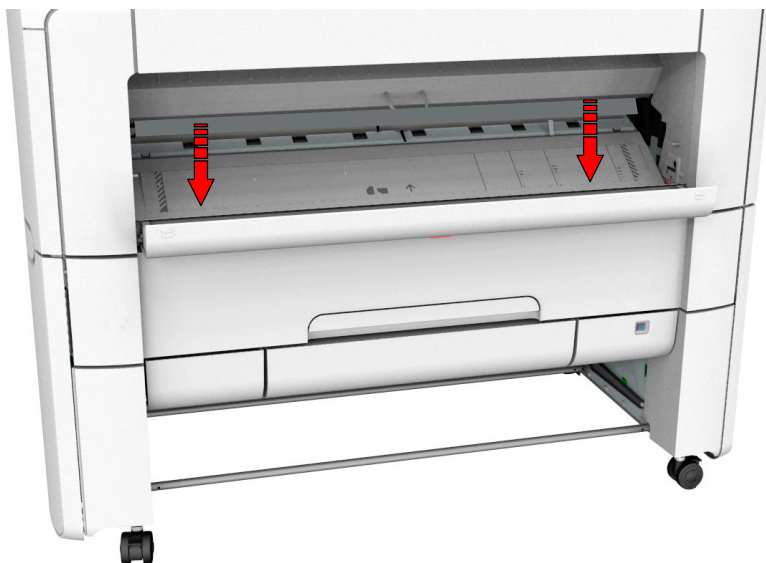
手順

1. 「[下側前面カバー]」を開きます。



2. 左右のハンドルを押して、[用紙バイパス] を押し下げます。





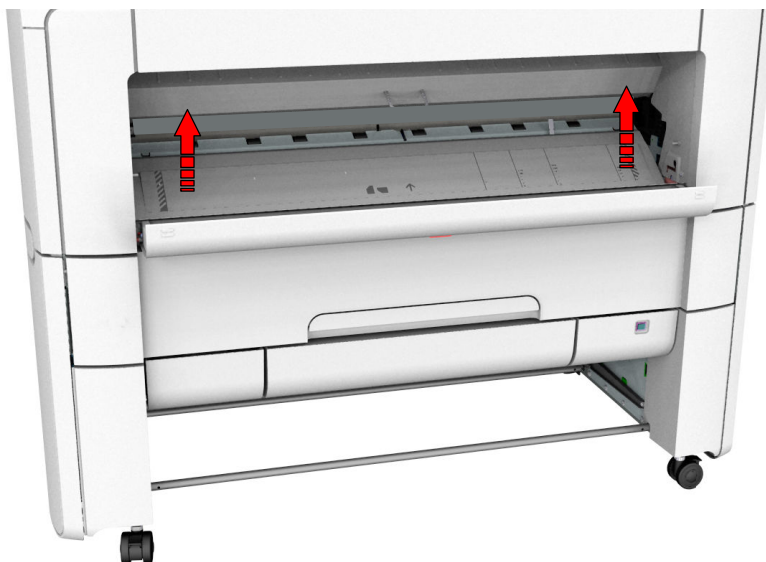
3. 詰まった用紙を取り除きます。



メモ

用紙を簡単に取り除くことができない場合は、詰まった用紙を取り除きやすいように、紙詰まり除去ハンドルを使用して上側背面カバーを開きます。詳細については、[ヒーター セクションの紙詰まりを取り除く \(286 ページ\)](#) を参照してください。

4. 用紙バイパスを引き上げます。



5. 下部フロント カバーを閉じます。

ロールフィードセクションの紙詰まりを取り除くには

はじめに

ロールフィードセクションに紙詰まりが発生する場合は、ヘルプウィザードの指示に従い、以下の手順を実行してください。

手順

1. 用紙引き出しを強く引っ張って開きます。



2. 搬送経路から、詰まっている用紙を取り除きます。必要に応じて、用紙を引っ張って巻き戻します。
3. 必要に応じてロール紙を再取り付けし、[クリーン カット ボタン] を押してロール紙の先端をクリーン カットします。
4. 用紙引き出しを閉じます。

イベント メッセージ

はじめに

プリント ジョブに関連するエラーについてのフィードバックは、イベント リストに表示されます。

WebTools Express でジョブ タブの右上角の [イベントの表示] をクリックすると、イベント リストを開くことができます。

手順

イベント メッセージ	トラブルシューティング
[受信の問題 (プロトコル エラー、接続の不具合、フルであるスプール) が原因で、部分的にプリント済みのジョブが中止されました]	• Job Ticket の構造およびキーワードを確認します。 • 操作パネルに [ジョブ メモリが一杯です] メッセージが表示された場合、システムからいくつかのジョブを削除します。 • プリンタがネットワークにアクセスできることを確認します。
[受信の問題 (プロトコル エラー、接続の不具合、フルであるスプール) が原因で、ジョブが中止され、何もプリントされませんでした]	• Job Ticket の構造およびキーワードを確認します。 • 操作パネルに [ジョブ メモリが一杯です] メッセージが表示された場合、システムからいくつかのジョブを削除します。 • プリンタがネットワークにアクセスできることを確認します。
[ドキュメントをプリントできませんでした。特定の TIFF/CALS モードはサポートされません]	ドキュメント タイプがプリンタによってサポートされていません (タイプ 2 の CALS ファイルなど)。 • 新しいファイルを生成します。
[プリント ジョブの処理ができません (メモリーまたはディスク スペースの空きが不足)。	ファイルが複雑で、プリンタにはその処理に十分なメモリがありません。 • アプリケーションから、Wide format Printer Driver for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。 • 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[ドキュメントに PS/PDF データがないか、無効です。正しくプリントされないページがあります]	PostScript または PDF ファイルが破損しています。 • 元のファイルを Adobe Reader からプリントするか、Wide format Printer Driver for Microsoft® Windows® を使用してアプリケーションから直接プリントを試みます。 • ファイルの生成をもう一度試みます。 • 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[PS/PDF の制限。正しくプリントされないページがあります]	PostScript または PDF ファイルが原因で、内部プリンタ エラーが発生しました。 • アプリケーションから、Wide format Printer Driver for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。 • 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。

イベント メッセージ	トラブルシューティング
[PS/PDF リソースの問題 (メモリ、ディスク)、正しくプリントされないページがあります]	PostScript または PDF ファイルが複雑で、プリンタにはその処理に十分なメモリがありません。 - アプリケーションから、Wide format Printer Driver for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。 - 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[PS/PDF リソースまたは言語の問題。正しくプリントされないページがあります]	PostScript または PDF ファイルが複雑すぎるか、破損しています。 - アプリケーションから、Wide format Printer Driver for Microsoft® Windows® を使用してプリントを試行します。 - 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[ドキュメントの処理中、ページが生成されませんでした]	ファイルに、プリント不能なページが含まれています。 - ファイルのグラフィック コマンドが失われている可能性があり、ファイルが破損しています。 - シフト設定が、イメージが完全に用紙の外にはみ出す値に設定された可能性があります。
[回復できないため、ジョブは削除されました (データが破損しているか不完全です)]	このメッセージは、電力障害の後にプリンタが再起動され、プリンタ スプール内の一部のドキュメントが破損した場合に表示されます。 送信アプリケーションまたはスマート インボックスからジョブをリプリントします。
[プリンタ内でのソフトウェア クラッシュの原因となるため、ジョブは削除されました]	このメッセージは、電力障害の後にプリンタが再起動され、プリンタ スプール内の一部のドキュメントがソフトウェア問題の原因となっている場合に表示されます。 - ファイルをもう一度生成します。 - 問題が解消されない場合は、サービス担当者に連絡してください。
[用紙要求のタイムアウト後、キューからジョブが削除されました]	用紙要求タイムアウトが経過し、[用紙要求タイムアウト後のアクション] が [ジョブを削除します] に設定されているため、ジョブがプリント キューから削除されました。 送信アプリケーションまたはスマート インボックスからジョブをリプリントします。
[必要な PS/PDF ライセンスが使用できないため、ジョブをプリントできません]	PostScript および PDF ファイルについては、ライセンスがインストールされているかどうかを確認します。
[必要な PDL が無効なため、ジョブをプリントできません]	[設定] - [プリンタ設定] をクリックして、このページ記述言語のプリントを [有効] にします。
[ドキュメントが PDL でないか、PDL がサポートされていません]	プリンタが送信されたジョブのフォーマットを認識しているか確認します。 - ジョブ サブミッタでファイルを送信します。 - アプリケーションから直接プリントします。
[スキャン ジョブを外部の場所に配信できません。ジョブが削除されています。]	- 外部ロケーションの認証情報 (ユーザー名とパスワード) を確認します。 - 外部の場所の設定ウィンドウでチェック機能を使用します。 - 外部の場所のその他の設定をすべて確認します。

イベント メッセージ	トラブルシューティング
[スキャンされた原稿からファイルを生成することはできません。出力ファイルの解像度を下げてスキャンを再度実施してください。それでもエラーが発生する場合は、原稿が長すぎないか確認してください。]	- 出力ファイルの解像度を下げます。 - ファイル タイプを変更します。 - 元のサイズが長すぎる場合は縮小します。 - スキャン解像度と圧縮を確認します。 - 複数ページのドキュメントの場合：複数のスキャン済みファイルに分割します。
[ジョブのアカウントिंग データが無効です。ジョブは印刷されていません。]	- 送信アプリケーションでアカウントिंग データを修正し、Smart Inbox からジョブをリプリントします。 - ジョブ投入ツールまたはドライバで、会計パラメータが正しく同期されているか確認してください。
[プリント設定の競合: ドキュメントはファイルに埋め込まれた設定を使用して識別およびプリントされます]	Job Ticket を追加したアプリケーションからジョブが送信されましたが、すでにファイルに Job Ticket が含まれていました。送信アプリケーションで選択された設定は使用されません。代わりに、ファイルに埋め込まれた Job Ticket 設定を使用してジョブが識別およびプリントされます。ジョブは、元の名前でプリント キューおよびスマート インボックスに表示されます。 - ファイルに埋め込まれた設定にスマート インボックス名が含まれている場合、ジョブはそのスマート インボックスに保持されます。 - ファイルに埋め込まれた設定に Smart Inbox 名が含まれていない場合、ジョブは、[システムのデフォルト] - [ジョブ管理] で定義されたデフォルトの Smart Inbox に保持されます。 - ファイルに埋め込まれた元の設定を使用しない場合、PRISMAproduce Tech を使用してジョブをプリントします。

デモ プリントの作成

使用する場合

デモ プリントを使用して、プリンタが正常に動作しているかどうか確認することができます。

手順

1. 操作パネルでシステム メニュー サムネイルをタップします。 ウィンドウが開きます。
2. 右側のリストで、「[プリントのテスト]」を選択します。 ウィザードが開きます。
3. [デモプリント] を選択します。
4. 「OK」をタップします。

テスト プリントの作成

使用する場合

ヘルプデスクのリクエストに従って、特定のロールからテスト プリントを作成します。テスト プリントは、品質問題を解決するのに役立つ情報を提供します。

手順

1. 操作パネルでシステム メニュー サムネイルをタップします。ウィンドウが開きます。
2. 右側のリストで、「[プリントのテスト]」を選択します。ウィザードが開きます。
3. プリントに使用するロールを選択します。
4. 「OK」をタップします。

プリント濃度チャートをプリントする

使用する場合

プリント濃度チャートをプリントし、プリント濃度オフセットを調整することによりプリンタでのトナー使用量を調整することができます。負の値ではトナー使用量が減少し、正の値ではトナー使用量が増加します。

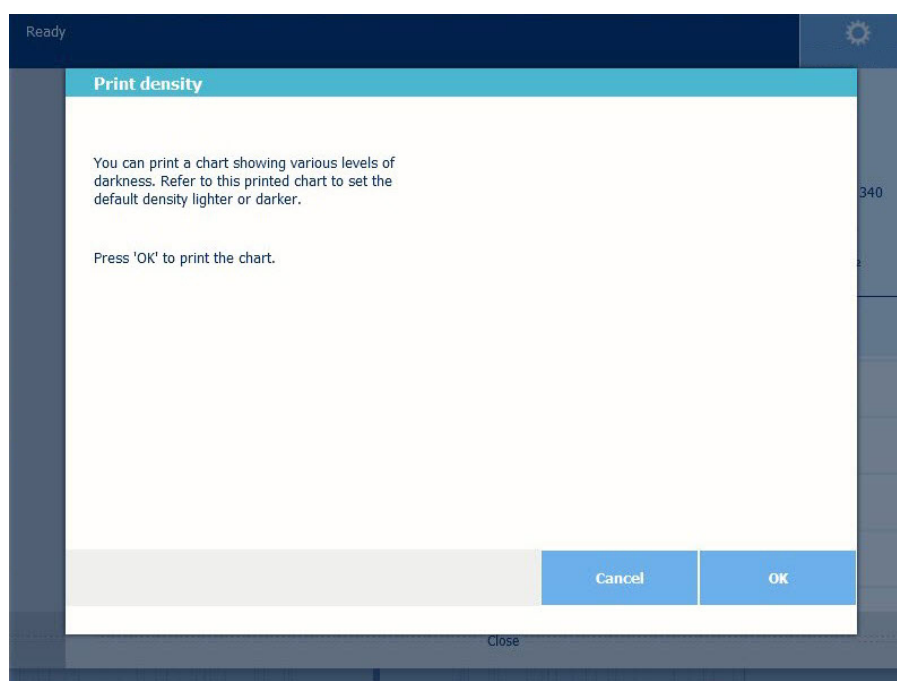


メモ

この操作はキー オペレータのみが実行できます。

手順

1. システム メニュー サムネイルをタップします。ウィンドウが開きます。
2. 右側のリストで、「[プリント濃度]」を選択します。ウィザードが開きます。



3. 「OK」をタップしてチャートをプリントします。
4. チャートがプリントされたら、そのチャートを使用してウィザードで濃度値を設定します。

漏電ブレーカーの確認

はじめに

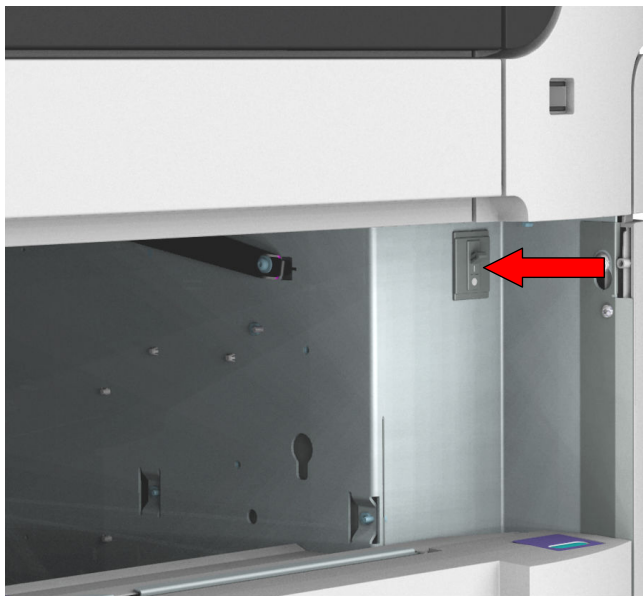
漏電プロテクターは、システムの加熱エレメント回路内の漏電に対する保護として使用されます。

漏電は、落雷の後に発生する可能性があります、永続的な短絡でも発生する可能性があります。

プリンタの電源がオンの状態で、印刷を行っていない時、漏電ブレーカーの確認をすることができます。

手順

1. 上段用紙引き出しを開けます。
プリンタ内部の背面部を確認できるように、引き出しが完全に引き出されていることを確認してください。背面パネルの右側に、回路遮断器のスイッチを確認できます。



2. 漏電プロテクターの T ボタンを押して、機能のチェックをします。
3. 漏電プロテクターがオフの位置にある場合、スイッチがオンになります。このようにならない場合、またはプリンタが機能しない場合は、サービス センターへご連絡ください。

第9章

サポート

カウンタ履歴

はじめに

[サポート] - [カウンタ履歴] タブを参照して、プリントされたジョブごとに使用された消耗品の概要を表示します。

下の表に、必要な情報をソート、グループ化、保存またはプリントするためにカウンタ履歴でアクセス可能な様々な機能の概要を示します。

手順

機能	説明
[カウンタ履歴]	カウンタ履歴リストのヘッダで、ドロップ ダウン リストを使って期間 (日数または週数) を選択できます。 カウンタ履歴リストは、選択された期間中にプリントされたジョブについての情報を表示します。
[ジョブ名]、[ジョブ所有者]、[Smart Inbox] または [プリント時間] でのソート	カウンタ履歴リストをソートする場合、次のカウンタ履歴リストの列のヘッダーをクリックできます ([ジョブ名]、[ジョブ所有者]、[Smart Inbox]、[プリント時間])。この方法で、必要に応じてリストをソートできます。
[リスト表示] または [グループ表示]	プリントされたすべてのジョブを表示する場合、カウンタ履歴リストの一番下で [リスト表示] を選択します。 ソート基準に基づいたグループのみを表示する場合、カウンタ履歴リストの一番下で [グループ表示] を選択します。 たとえば、[ジョブ所有者] 列でカウンタ履歴リストをソートして [グループ表示] をクリックすると、カウンタ履歴リストには、選択した期間にプリンタにプリント ジョブを送信したすべてのジョブ所有者のリストが表示されます。[ジョブ所有者] グループを展開すると、選択した期間に [ジョブ所有者] によって送信されたすべてのジョブのリストが表示されます。
[集計情報の表示]	ジョブ カウンタ情報が含まれた全概要が必要な場合、カウンタ履歴リストの右上角で [集計情報の表示] を選択します。 グループ内のすべてのジョブについて、カウンタ情報を表示するグループ名をクリックします。 選択されたジョブについて、カウンタ情報を表示するジョブ名をクリックします。
[すべて保存]	リストに含まれるすべてのジョブについて、カウンタ履歴を保存する場合、カウンタ履歴リストの右上角にある [すべて保存] を選択します。 カウンタ データを [XML ファイル] または [CSV ファイル] として保存することができます。
[すべてプリント]	リストに含まれるすべてのジョブについて、カウンタ履歴をプリントする場合、カウンタ履歴リストの右上角にある [すべてプリント] を選択します。

エラーの場合の設定

はじめに

プリント ジョブで問題が発生した場合、いくつか役に立つ設定があります。

手順

1. [プリファレンス] - [システムのデフォルト] タブを開きます。
2. [エラーが発生した場合] では、以下の設定を指定できます。

設定	値	説明
[次回起動時にシステムをクリア]	[はい]	プリンタでキュー内のジョブを処理できない場合は、この設定を有効にします。システムを再起動すると、自動的にシステムからすべてのジョブが削除されます。次に、この設定を無効にして、もう一度システムを再起動します。
[受信ジョブ データをサービス用に保存]	[はい]	この設定が有効の場合、システムによって、すべての受信ジョブのデータが保存されます。[サポート] - [メンテナンス] のデータをダウンロードし、[ジョブ データのダウンロード] をクリックします。問題が発生した場合やメンテナンスを目的として、サービス担当者がジョブ データにアクセスできます。  メモ • ジョブの作成で問題が発生した場合にのみ、この設定を有効にします。 • パフォーマンスの低下を防ぐため、サービスの終了後は設定を無効にします。
[WebTools Express のジョブイベント通知を表示]	[はい]	この設定が有効の場合、システムによって、プリント ジョブに関連する注意メッセージが、WebTools Express のキュー表示に表示されます。  メモ 注意メッセージをクリックすると、使用している Web ブラウザのキュー表示からメッセージが削除されます。別の Web ブラウザの注意メッセージは、ユーザーがクリックするまで表示されたままになります。

3. 設定を指定したら、「OK」をクリックします。

監査ログ

定義

システム管理者として、システムのすべてのセキュリティ関連イベントの監査を含む CSV (カンマ区切り) ファイルをダウンロードできます。

[監査イベントのダウンロード] および [監査イベントのクリア] にあります。

システム管理者としてログインし[監査ログ]タブの[セキュリティ]を選択します。

[監査イベントのダウンロード]ボタンをクリックし、監査イベントを含む CSV (カンマ区切り) ファイルをダウンロードします。

[監査イベントのクリア] をクリックし、システムに保存されたイベントのリストをクリアします。

リモート サービス: プロキシの設定

はじめに

WebTools Express は、プリンターからサービス組織へ、またはサービス組織からプリンターへのリモートサービスを提供します。

これらの設定は、[サポート] - [リモート サービス] タブ、または [設定] - [接続] - [プロキシ設定] から編集できます。

[リモート サービス] タブには以下のオプションがあります：

- [プロキシを設定する]: プリンターとサービス組織の間に、プロキシサーバーを介した安全なインターネット接続を設定します。
- [接続を確認する]: プリンタとサービス機関の接続を確認します。
- [リモート アシスタンスを許可する]: サービス組織からプリンタへのリモートアシスタンスを許可します。

プロキシの設定

手順

1. [サポート] ～ [リモート サービス] のタブを開き、[プロキシを設定する]をクリックするか、[設定] ～ [接続] ～ [プロキシ設定]に進みます。
2. プロキシサーバー」を設定します：
 - [プロキシ有効]: プロキシ設定を知っていて、自分でプロキシを有効にしたい場合に選択します。[プロキシ ホスト名] と [プロキシ ポート]を記入しなければなりません。
 - [プロキシ ホスト名]: プロキシサーバーの完全修飾ホスト名を入力します。
 - [プロキシ ポート]: プロキシのポートを入力します。
3. 認証を設定します：
 - [プロキシには認証が必要です]: 認証が必要な場合、この設定を選択します。
 - [プロキシ認証: ユーザー]: 認証用のユーザー名を入力します。
 - [プロキシ認証: パスワード]: 認証用のパスワードを入力する。
 - [プロキシ認証: ドメイン]: 認証用のドメインを入力します。
4. OK をクリックしてプロキシ設定を確定します。

リモート サービス: 接続の確認

プロキシの構成後、プリンタとサービス組織の間で接続をテストすることができます。

手順

1. [サポート] - [リモート サービス] タブを開き、[接続を確認する] をクリックします。
2. メッセージには、回答が 30 秒以内に表示されます。正しく設定されると、[システムがリモート サービスに接続されています。] というメッセージが表示されます。
3. これでシステムはサービス機関にデータを送信できるようになりました。たとえば、Meter Manager、または [リモート サービス] 情報。



メモ

ウェブ経由でのオンライン閲覧、検針票の承認、サービスコールの入力については、当社ウェブサイトをご参照ください。Web サイトでは、アカウント (「マイ アカウント」) を作成して、両方のサービスに対するアクセスを要求できます。

リモート サービス: リモート アシスタンスの許可

必要なすべての設定が指定済みであり、サービス組織によるリモートでのプリンタへのアクセスを許可する場合、リモート アシスタンスを有効にすることができます。

手順

1. [サポート] - [リモート サービス] タブを開き、[リモート アシスタンスを許可する] をクリックします。
2. メッセージには、接続が確立されているかどうかが表示されます。正しく構成されると、メッセージ「システムへのリモート アシスタンスが有効になっており、現在、接続を受け入れています」および2つの矢印が表示されます。

サービス組織との接続が確立されると、リモート サービス オペレータ (サービス技術者) はシステムを操作して、リモートから支援を提供することができます。



メモ

- ポイントツーポイント接続を介したリモート アシスタンス セッションが確立されてからは、お客様の現場にある他のシステムではなく、この特定のシステムのみにアクセスすることができます。
- サービス組織との接続を終了する場合は、[リモート アシスタンスを停止する] をクリックします。この方法によって、お客様は常にコントロールを維持することができます。

製品のダウンロードとサポート

ダウンロード

ユーザー マニュアル、プリンタ ドライバおよびその他のリソースは、予告なしに変更されることがあります。最新の情報については、以下からダウンロードすることをお勧めします。

<https://downloads.cpp.canon>

Canon のサポート ページから、Canon プリンタのプリンタ ドライバ、ドライバに関連するユーザー マニュアルおよびその他のリソースをダウンロードしてください。

<http://www.canon.com/support/>

製品をご使用になる前に、ご使用の製品に関する最新の安全情報を必ずダウンロードしてください。「安全ガイド」のマニュアルにあるすべての安全に関する情報を必ず読み、理解したことを確認してください。

サポート

サポート情報については、お近くの Canon 代理店にお問い合わせください。

サポートの問い合わせ先については、以下を参照してください。

<http://www.canon.com/support/>



Canon Inc.

canon.com

Canon U.S.A. Inc.

usa.canon.com

Canon Canada Inc.

canon.ca

Canon Europe Ltd.

canon-europe.com

Canon Latin America Inc.

cla.canon.com

Canon Australia Pty. Ltd.

canon.com.au

Canon China Co. Ltd.

canon.com.cn

Canon Singapore Pte. Ltd.

sg.canon

Canon Hongkong Co. Ltd.

hk.canon

Canon Production Printing Systems Inc.

cweb.canon.jp/eng/corporate

Canon Korea Inc.

kr.canon